

ロータリーの友

# Rotary

2

2023

February

JAPAN

[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)



平和構築と紛争予防月間  
インタビュー

**報道写真家・千葉康由さん**

祝! 創立100周年  
**大阪ロータリークラブ**

Rotary 





# イマジン コネクション

世界を変える行動人がつながり、アイデアと解決策を分かちあい、  
成果を称えあいます。ロータリー、世界、そして自身の次章を想像  
しましょう。イマジン ネクスト！

2023年ロータリー国際大会  
オーストラリア・メルボルン  
2023年5月27日～31日



MELBOURNE  
2023

今すぐご登録を  
[convention.rotary.org](https://convention.rotary.org)



# CONTENTS

2月 は 平和構築と紛争予防月間  
23日 は ロータリー創立記念日

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>RI</b> R I 会長メッセージ | 4 |
| R I 会長 ジェニファー・ジョーンズ   |   |

|                                          |   |
|------------------------------------------|---|
| <b>特集</b> 『友』創刊 70 周年特別企画<br>平和構築と紛争予防月間 | 8 |
|------------------------------------------|---|

写真家・千葉康由  
1枚の写真を前に  
人々は何を感じ、考えるか

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 祝！ 創立 100 周年                  | 20 |
| おめでとう！<br>大阪ロータリークラブ創立 100 周年 |    |

|                  |    |
|------------------|----|
| PICK OUT PROJECT | 22 |
| END POLIO NOW    |    |

|                                                                                                                                       |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 視点 ガバナーのロータリー・モメント                                                                                                                    | 24 |
| 第 2500 地区 久木佐知子／第 2510 地区 石丸修太郎／<br>第 2520 地区 天沼久純／第 2530 地区 佐藤正道／<br>第 2540 地区 高崎恒夫／第 2550 地区 佐貫直通／<br>第 2560 地区 高橋秀樹／第 2570 地区 村田貴紀 |    |

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| よねやまだより                       | 28 |
| 米山から世界の町へ ②⑩<br>バングラデシュ・ラジシャヒ |    |

|                    |    |
|--------------------|----|
| Food for Thought ⑧ | 30 |
| ちょっと細菌、発酵食品        |    |

|                                                                                                                                               |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 地区大会略報 III                                                                                                                                    | 34 |
| 第 2820 地区／第 2520 地区／第 2600 地区／第 2620 地区／<br>第 2640 地区／第 2590 地区／第 2730 地区／第 2530 地区／<br>第 2540 地区／第 2560 地区／第 2770 地区／第 2800 地区／<br>第 2760 地区 |    |

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| NEW GENERATION                   | 38 |
| 米山奨学生 リハム アメン／<br>ローターアクター 原谷明子可 |    |

|    |                                                                                      |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 7  | ● ロータリーとは                                                                            |
| 32 | ● People of action around the globe                                                  |
| 39 | ● パズル de ロータリー／詰め将棋                                                                  |
| 40 | ● エバンストン便り                                                                           |
| 41 | ● 2023 年国際大会 <b>RI</b><br>● 財団管理委員長からのメッセージ <b>RI</b>                                |
| 42 | ● お知らせ 新クラブ／ロータリー衛星クラブ／2023ー24 年度<br>版『ロータリー手帳』のご案内／地区別クラブ数・会員数一覧表／<br>『友』3 月号主要記事予定 |
| 43 | ● 日本ロータリー分布図／奥付                                                                      |
| 44 | ● 表紙について／パズルの答え／詰め将棋の答え                                                              |
| 45 | ● 投稿規定                                                                               |



## Empowering girls is about more than creating equity

**R**ecently, I spent time in the Nakivale refugee settlement in Uganda. As the “settlement” in its name suggests, the people living there are free to move around and integrate as best they can — one thing that makes the place unique.

I had a chance to play soccer with boys and girls from about a dozen nations and talk with women who had fled areas of conflict. It was a tapestry of human experience shared through both laughter and tears.

As I walked across a school campus at the settlement with a teacher, she shared with me the dire statistics on girls’ education. Most don’t get through grade school. Many are sold into child marriage to pay for food for their families. As I looked around at these young girls, I was gutted.

Our work with empowering girls and women is much more than creating equity — sometimes, it’s about health or education. Other times it’s about providing safety. Regardless of the path, it’s always about basic human rights.

We can do more to empower girls and women, and we can expand how we share the progress Rotary members and our partners have made toward this goal.

There is no shortage of inspiring examples of our work, from interest-free microcredit loans for women in Nigeria, to projects in India that provide girls menstrual hygiene products. Hundreds of projects are taking place across all Rotary areas of focus and are making a meaningful and often lifesaving difference.

Together, we can address the needs and inequities that girls throughout the world face daily. But we must also monitor the impact of these projects and create awareness of Rotary resources and subject matter experts, including Rotary Action Groups, The Rotary Foundation Cadre of Technical Advisers, Rotary Peace Fellows, and others.

It is especially important that we tell the stories of our initiatives that have a positive impact on the lives of women and girls. This last point is near and dear to my heart. This means sharing our stories on social media, through local news outlets, in this magazine, and wherever we can inspire others.

As you do so, it’s important to provide information that helps our Rotary family connect with others who are implementing activities in their regions, as well as across the world. Let’s share our successes and learn from one another — then proudly tell our stories to a larger audience.

These are exciting times in Rotary, and the world is taking notice. As we work to empower women and girls to step into their full potential, we create new pathways for membership growth and greater collaboration with partners to create positive, lasting change. Thank you for your continued action in this vital effort.

**JENNIFER JONES**

**President, Rotary International**





## 女兒のエンパワメントは、公平性以上のことをつくりだす

先日、ウガンダのナキバレ難民居住地に滞在しました。「居住地」という名前の通り、そこで人々は自由に行き来でき、住民たちができるだけ新しい暮らしになじめるように工夫されています。このことが、この難民居住地をユニークなものにしているのです。

十数カ国から集まった少年少女たちとサッカーをしたり、紛争地域から逃れてきた女性たちと話をしたりする機会がありましたが、まさに、涙と笑いで紡がれた人生のタペストリーでした。

居住地の学校内を先生が案内してくれて、女兒の教育に関する厳しい現実を教えてくださいました。ほとんどの女兒は小学校を卒業しないまま家計を助けるために結婚させられます。そのような女兒を見て暗たんたる思いになりました。

女兒と女性のエンパワメントという私たちの仕事は、公平性を創造するというだけの話ではありません。健康や教育に関わることもあります。それに、安全性の確保に関わることもあります。アプローチは違っても、常に、基本的人権の問題なのです。

私たちには、女兒と女性のエンパワメントのためにもっとできることがあります。そして、ロータリーの会員とパートナーがこの目標に向けてどのように歩んできたのか、もっと情報発信していくべきです。

ナイジェリア女性のための無利子小口融資から、女兒に生理用品を提供するインドでのプロジェクトまで、人々に感動を与えるロータリーの活動には枚挙にいとまがありません。ロータリーの重点分野で何百ものプロジェクトが行われており、大きな変化をもたらしています。そして、それが時として人の命を救う結果になることもあります。

皆で力を合わせれば、世界中の女兒が日常的に直面している不公平という問題にも、対処できます。同時に、ロータリー行動グループ、ロータリー財団専門家グループ、ロータリー平和フェローなどを含むロータリーのリソースや専門家の意識を高めるためにも、これらのプロジェクトの影響を監視していかななくてはなりません。

女兒と女性の人生に、良い影響を与える取り組みのストーリーを発信していくことが特に重要です。この点は、個人的に深く共感しているところです。ソーシャルメディア、地元のニュースメディア、『ロータリーの友』、そして誰かにインスピレーションを与えられる、全ての機会をとらえ、ロータリーのストーリーを共有していきましょう。

また、地域だけでなく、世界中で活動しているロータリーの会員たちとの交流を促すような情報を発信することも重要です。皆の成功事例を共有し、互いに学び合いましょう。そして、より多くの人々に誇りを持って私たちのストーリーを伝えていきましょう。

今や、ロータリーは大躍進の時代を迎えており、世界中で注目されています。女兒や女性のポテンシャルが最大限に発揮できるようにロータリーが活動していけば、私たちロータリーはポジティブで持続的な変化を生み出すための会員増強とより強力なパートナーシップへの新しい道筋を切り開くことができます。この大事な取り組みのために、引き続きご協力をお願いいたします。

**ジェニファー・ジョーンズ**

2022-23年度 国際ロータリー（R I）会長

## R I 会長メッセージ

R I 指定記事

# PRESIDENT'S MESSAGE

ナキバレの難民居住地でサッカーの試合を観戦するジョーンズ R I 会長とジンバブエの俳優シボンギレ・ムランボさん。異なる国籍の住民たちの間にコミュニティを構築する取り組みの一環です



# 2月23日は、ロータリー創立記念日

1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが、友人3人と初めて会合を開いた日です。



ロータリーの創始者、ポール P. ハリス (撮影: 1915年頃)

*The rise or fall of civilization will depend upon the thoughtfulness or the thoughtlessness of men. The greatest thing that can happen to man or nation is to stimulate the individual or the national thoughtfulness.*

文明の栄枯盛衰は、人間の思慮の有無によって決まります。

人類または国家のできる最大のことは、個人または国家の考慮を促すことです。

— ポール・ハリス

『The Rotarian』1916年2月号「The Future of Rotary」より



## ロータリーとは

### ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,697、会員総数1,195,863人（2022年12月8日国際ロータリー公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

### 日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,217、会員数84,602（2022年11月末現在）となっています。

## 2022 - 23 年度会長テーマ



### イマジン ロータリー

#### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



ロングインタビュー

# AFP 通信フォトグラファー・千葉康由 1枚の写真を前に 人々は何を感じ、考えるか

世界には戦争、紛争が起こっている地域がいくつもある。  
その状況を世の中に広める上で欠かせない写真は、時として命の  
危険に隣り合わせながら撮影されたものも少なくない。  
本特集では、世界各地で撮影をしている千葉氏に、報道写真家とし  
ての使命と背景にある思いを聞いた。  
私たちは、これらの写真を前に、平和、そして報道のあり方をどの  
ように受け止め、考えるだろうか。

聞き手 = 熊谷健太郎（編集部）

⚠ 注意 このコーナーには残虐な写真が含まれます

写真：AFP / アフロ 撮影：シギー吉田



千葉 康由  
Yasuyoshi Chiba

1971年生まれ。朝日新聞社の写真記者として活躍後、フランスのAFP通信スタッフフォトグラファーに。現在ケニア・ナイロビ支局チーフフォトグラファーとして、東アフリカ地域の撮影を統括。スーダンで民政を求める若者を撮影した「Straight Voice (まっすぐな声)」で2020年世界報道写真大賞を受賞（右上写真）。

WORLD PRESS PHOTO (世界報道写真コンテスト)

[www.worldpressphoto.org](http://www.worldpressphoto.org)

2020年受賞作

[www.worldpressphoto.org/collection/photocontest/2020](http://www.worldpressphoto.org/collection/photocontest/2020)

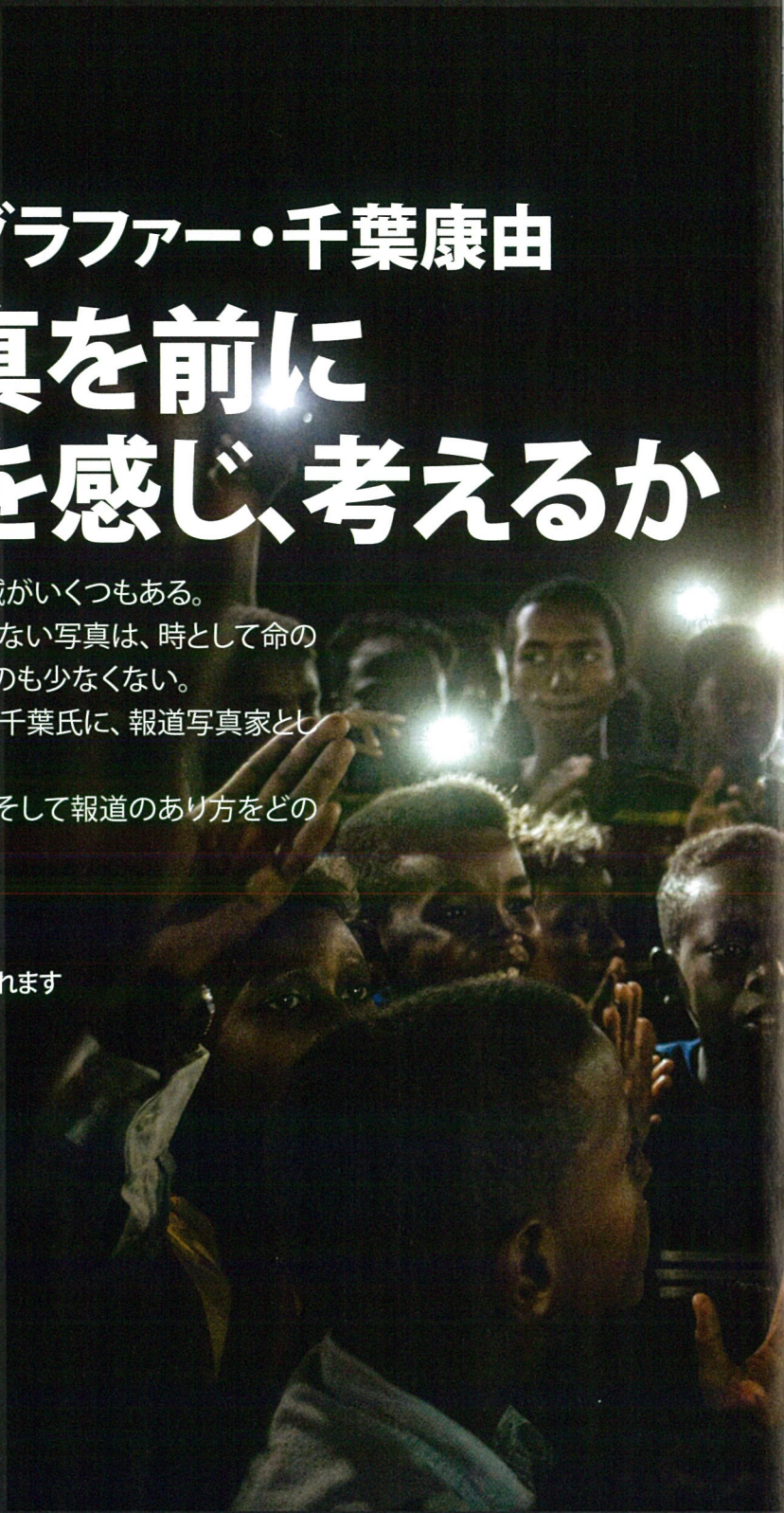






写真:AFP/アフロ 撮影:千葉康由

## 抗議する少年

独裁政権がクーデターで崩壊したスーダン。民主化を求めて人々はデモを行ったが、治安部隊が強制排除に乗り出し100人以上が犠牲となった。政府により電気、通信が奪われる中、暗闇の中で抗議の詩を歌う少年と、集会の参加者たち。

撮影日: 2019年6月19日

撮影地: スーダン ハルツーム





写真：AFP／アフロ 撮影：千葉康由

## 女性兵士

スマートフォン片手に笑みを浮かべているのは、5歳の男の子の母であるウクライナの兵士。壁には息子からプレゼントされた車の模型と絵が飾ってある。2014年のロシアによるクリミア半島への侵攻以来、ウクライナ軍における女性の存在感は増している。

撮影日：2022年5月13日

撮影地：ウクライナ 東部クラマトルスク付近の防空壕<sup>ごう</sup>

写真には、撮影時に  
感じた自分の内面が  
記録されている。

## 写真家になるまで

——千葉さんは武蔵野美術大学で映像学科を専攻され、もともとは動画に興味があったそうですね。写真家を目指すまでの道のりを教えてください。

漠然と自然・科学系のドキュメンタリー映像を撮ることができたらと思い、当時新設されたばかりの映像学科に進学しました。そこでは映像に関するさまざまな扉が用意されていて、その一つに写真がありました。私は父の一眼レフカメラを借りて撮影を始めました。エド・ヴァン・デル・エルスケンというオランダ人写真家の展覧会で、初めて写真が動いているように見えました。窓から現実の風景を見たような感じです。ミニマムな動画として写真を見るようになり、動画よりも写真に興味に移りました。

3年生の時、日本の環境N G Oの主催でネパールへ渡りました。帰国後に現像したプリントを見ると、どのコマからも自分が撮影した理由や、普通ならすぐ忘れてしまうような感情がよみがえってきました。

写真は外の対象を撮っているようで、実は自分の内面が記録されている、ということに気がきました。この感覚は今も変わっていません。



## EPISODE

### ロシアによるウクライナ侵攻

2022年2月24日にロシアがウクライナへ軍事侵攻を開始。これを受けて、ウクライナのゼレンスキー大統領は戦時体制の導入を発表し、18〜60歳の男性を原則出国禁止として一部を徴兵、交戦状態に入っただ。西側諸国はロシアの行動を強く非難し、各国が経済制裁を発動させて圧力をかける中、原油、天然ガス、穀物、レアメタルなど、ロシア原産の品目も多く、各国で物価上昇など、制裁による負の影響が出た。また、多くの先進国はウクライナへの武器提供などの間接的な軍事支援を決定。日本政府は3月に防弾チョッキ、ヘルメット、食料などの提供を決定した。

就職を考えた時、知らない世界を旅しながら写真が撮れる仕事には何があるか？ と考え、新聞記者を目指しました。結果として自宅で購読し、配達のアルバイトをしたこともある朝日新聞社の写真部を選びました。入社後は、すぐに警察署に配属。そこで見たのは、事実を集めて取捨選択し、記事を構築することで、書き手の感情を表す記者の姿でした。

## 報道写真家の仕事

——現在の仕事の内容についてお聞かせください。

現在AFP通信<sup>[1]</sup>で働いています。世界で一番古いニュース通信社で、世界151カ国に支局があります。通信社というのは、記事や写真、映像を世界中のクライアントであるメディアや国際機関などへ配信していて、新聞・テレビなどの発信媒体は持ちません<sup>[2]</sup>。良い素材は複数のメディアで使われます。そのため文字通り「世界に伝える仕事」といえますが、それだけの責任が自分たちにある、ということです。よく日本の新聞で、「AFP＝時事」の表記がありますが、これはAFPが配信し、日本の時事通信社<sup>[3]</sup>が翻訳して、さらに国内のメディアに配信している、という意味です。

2017年からケニア・ナイロビ支局で、東アフリカとインド洋の写真プロダクションを担当するチーフフォトグラファーになりました。12カ国の担当ですが、毎日どこかで何かが起きる、とても忙しい支局です。そのため、各国にいるフリーランスの写真家たちに撮影を依頼したり、撮影データを受けて編集したりする、コーディネーターとしての仕事の方が比重が大きいですね。

最近は各国政府がメディアを警戒しているせいか、ジャーナリストビザが発給されにくく、現地の写真家との連携が必要不可欠です。取材では通常、記事・写真・映像のセットで配信するため、3人ぐらいのチームで現場に入ります。記事にはならないけれど、ビジュアル的に良さそうな題材は、写真だけで取材することもあります。



## 記者の安全をどう守るか

——インターネットのニュースを見ていた時、千葉さんが顔面血だらけになっている記事が目飛び込みました。ブラジルで取材中にけがをされましたね？

2013年、ブラジルでサッカー・ワールドカップ開催への反対デモがあり、政府側が催涙ガスでデモを鎮圧する様子を撮影中、いきなり警察官にこん棒で後頭部を殴られました。実はデモを甘く見て、ヘルメットを持参していなかったのです。装備が重くなっても安全装備は省くべきでない、ということを学びました。ちなみに、周囲に他の写真家もいたため、彼らの写真から警察官の名前が特定され、後に非を認めて謝罪してくれました。無理をして良い写真を撮ろうとしないこと、諦める勇氣を持てるようになりました。

初めて「戦い」に遭遇したのは、ケニアで2008年大統領選挙後の暴動を取材した時<sup>[4]</sup>。二つの部族が丘の上で戦闘する

[1] AFP通信はパリに拠点を置く国際通信社。AP通信(ニューヨーク)、ロイター(ロンドン)と並び、世界三大通信社の一つ。

[2] 例外的に日本ではAFP通信が配信する情報を翻訳して配信するウェブサイトAFPBB Newsがある。[www.afpbb.com](http://www.afpbb.com)

[3] 時事通信社は日本の通信社。戦前から存在した同盟通信社が母体で、戦後に時事通信社と共同通信社が発足している。

[4] マサイ人とカレンジン人が丘を境界として弓矢を使って戦闘。ケニアには40以上の部族があり、民族間対立がしばしば発生する。[www.worldpressphoto.org/collection/photo-contest/2009/yasuyoshi-chiba/1](http://www.worldpressphoto.org/collection/photo-contest/2009/yasuyoshi-chiba/1)





写真:AFP/アフロ 撮影:千葉康由

## 息子の死

ルドミラさん(左)は、銃撃を受けて殺された息子のアルテムさんが安置所の遺体袋に入っていることを、夫と一緒にようやく見つけることができ、涙した。

撮影日: 2022年4月18日

撮影地: ウクライナ プチャから約5kmの地点

様子を木の陰に隠れて撮影中、望遠レンズのフードに矢が直撃して損壊しました。また、ケニアでは投石による攻撃がよく行われるのですが、同僚は石を顔面に受けて前歯をほとんど失いました。少し危険な場所では安全確保のため、その場にいる人を臨時で護衛として雇い、背後を見てももらうこともあります。カメラを取られそうになったり、携帯電話を出せと脅されたりすることはよくあるため、ボロボロのバックパックにカメラを入れたり、襲われないような工夫をしたりしています。

このたびウクライナ取材しましたが、AFP通信では危険地域取材するジャーナリストは全員、Hostile Environment Awareness Training (HEAT) という講習を受けます。テロや誘拐に遭遇した際のシミュレーションや、けがをした際の救急処置の知識、ネット上の脅威を予防するデジタルセキュリティなども学びました。おかげでウクライナでは少し余裕を持って取材に挑むことができました。とはいえ、前線では、専門のセキュリティアドバイザー(元フランス軍兵士)が同行します。例えば、「砲弾の発射音から着弾音までを数え、3秒で約1km飛ぶとすると、そのおおよその飛距離が分かる」といった話など、現場で彼らから学ぶことは多かったです。しかし、どれだけ安全対策をしても「運悪く砲弾が頭上に落ちてきたら、それを受け入れるしかない」と言っていました。



“ロシアに対するウクライナの防衛力を支援することが、  
今や、わが国の安全保障にとって最善だというのが  
私の結論だ” —— スウェーデン首相(当時) マグダレナ・アンデション

紛争当事国に武器を提供しないという従来の原則を転換し、  
ウクライナへ武器供与を発表。

(2022年2月28日)

“手ぶらでウクライナ訪問はできない。  
ケーキやスイーツの土産も求めている。  
欲しいのは武器” —— ウクライナ大統領ウオロディミル・ゼレンスキー

地下70m超の地下鉄駅内での記者会見で「アメリカのブリンケン国務長官とオー  
スティン国防長官が首都キーウを訪問予定」と発表。各国首脳に向けて訴えた。  
(2022年4月23日)

—— 記事を見たのですが、危機一髪もありましたね？

首都キーウに初めて自爆ドローン攻撃があった日、ドローンは私の頭上を通過し、建物に突っ込んで爆発しました。その時に私が撮った連続した写真は各国の報道機関で使われましたが、あのような状況では、改めて運というものを意識せざるを得ませんでした。後で確認したら、爆発地点から100mほどしか離れていなかったのです。

## 写真家の目

—— 千葉さんの写真には苦境の中でもポジティブな印象を受けられるものがあります。例えば、東日本大震災でがれきの中から娘さんの卒業証書を見つけて歓喜する母<sup>[5]</sup>など。撮影における信条はありますか？

写真は、最終的に見る人の想像力によって成り立つと思います。自分が現場で感じたことを、見る人に少しでも同じように感じてもらうにはどうしたらいいか？ 自問自答しながら撮影しています。特に命に関わるような厳しい状況や、悲しみにあふれた場面では、そのことをストレートに伝えることが求められます。しかし、その場にはポジティブに感じるものが必ず存在しています。

—— 東日本大震災がきっかけだったわけですか？

そうですね。自分の中では影響がありました。コンゴを取材中に一報を目にしました。配信されてくる写真を幾つも見ましたが、日本人以外の撮影者が含まれているせいか、地元の人とのコミュニケーションが取れていない気がしました。自分ならもっと深く撮れるのではないかと考え、上司に相談すると、行かせてくれたのです。地震発生から1カ月後のことです。

手付かずのひどい状況の中、被災者たちの、つかの間の喜びを垣間見ました。がれきの中で、その場にあった容器の下で火をたいて風呂に入っていた男性たちがいました。極限の状況下で小さな幸せを見いだしたり、小さな努力を始めたたりする人たちの姿に、人間の強さと希望を感じました。

報道では被害状況を見せる説明的な写真が必要ですが、その場にある人の生活に目を向けるのも、バランスとして大事だと感じました。以来、どんなにささいなことでも、強さや希望を感じるものはないか、探すよう心がけています。報道は客観性が大事ともいわれますが、写真撮影において、何を撮るかという主観は、人として大切なものです。

## 道徳的なジレンマ

—— 「ハゲワシと少女」<sup>[6]</sup>という、ピューリッツァー賞受賞の写真があります。飢餓により今にも絶命しそうな幼児を、後ろからハゲワシが狙う。撮影した写真家は大きな批判にさらされました。

「ハゲワシと少女」を見ると、まるで鳥が少女の最期を待っているかのように思えます。そのような想像をかき立てる構図です。想像させることは写真の持つ力ですが、実際にその場で起こっていること全てを見せているわけではない点もあり、そこは写真の限界でもあります。

この写真の例は、今もよく報道写真のジレンマとして話題になります。「撮るのか、助けるのか?」。実際に新聞社の採用面接で、こうした場面はどう行動するかと聞かれました。「その場にいないと分からない」と正直に答えましたが、今なら「まず撮影して、必要なら助ける」と答えます。実際に、これまでも何度かそうした瞬間を経験しました。戦禍から逃れるために重い荷物を運んでいる老人、側溝に落ちたラリーカーのドライ

[5] 「Aftermath of the Tsunami(津波の爪跡)」シリーズ。www.worldpressphoto.org/collection/photo-contest/2012/yasuyoshi-chiba/3

[6] ケビン・カーター(南アフリカ共和国)が内戦と干ばつで危機にひんしたスーダンで撮影。1994年ピューリッツァー賞受賞も、その後自殺。





写真：AFP／アフロ 撮影：千葉康由

## 反政府軍兵士と市民

エチオピアの反政府軍・ティグレ人民解放戦線(TPLF)の兵士は、エチオピア政府軍との戦闘で戦況を好転させ、支配地域に帰還。街は歓迎ムードに満ちあふれ、飛び付く小さな女の子。この数日後、捕虜となった数千の政府軍兵士が街頭行進させられ、沿道には多くの見物人が詰めかけた。捕虜はその後、刑務所に収容された。

撮影日：2021年6月29日

撮影地：エチオピア ティグレ州メケレ

人々が苦しむような状況にあって、自分ができることは写真を撮るだけ。

バーなど、近づきながら撮影して、すぐに助けました。写真は数秒あれば撮影できます。しかし、その数秒すら惜しい状況であれば、撮影することなく助けるでしょう。ただ、そこまで一刻を争う光景には、まだ遭遇していません。

このようなジレンマや罪悪感はいつも感じています。人々が苦しむような状況にあって、自分ができることは写真を撮るだけ。援助団体のように何かを与えたり、助けたりすることができません。しかし、「ハゲワシと少女」の写真のように、世の中の関心を引き、支援につなげ、状況を改善していくことは、メディアの一つの役割だと思います。そのような写真を撮ることが、自分に課せられた責務の一つです。

そういえば、2020年に世界報道写真大賞を頂いた写真の、スーダンで抗議の声を上げる少年は、その後オランダの高校から奨学金を与えられて、留学先で国際政治やリーダーシップ論を学んでいます。

## 紛争地帯の現実

—— 紛争地帯にも赴かれています。なぜこのような状況が起こるのか。取材して感じることは？

これは答えるのが難しい質問です。それぞれに複雑な背景



## EPISODE

### エチオピア内戦(ティグレ紛争)

2020年11月頃からエチオピア北部のティグレ州で、エチオピア政府(アビー政権)と武装組織ティグレ人民解放戦線(TPLF)による戦闘が始まった内戦。両軍の衝突で軍事施設だけでなく、市街地での戦闘や空爆が行われ、多くの死傷者を出した。また、民間人の虐殺や女性へのレイプの報告も相次ぎ、人道支援団体職員や、人道支援団体の殺害事件も発生。エチオピア政府はティグレ州への往来や通信を制限。国際的な支援活動の流入を封鎖し、飢餓が深刻化。各国メディアの関心も高まらなかった。2021年2月、日本政府は民間人保護のため、660万ドルの緊急無償資金協力を国連などを通じて行った。

\*アビー・アハメド首相は隣国エリトリアとの和平実現が評価され、2019年にノーベル平和賞を受賞していた



があり、原因や解決法は一口に語れません。また、立場によっても主張は変わるといいます。例えば2国間の戦争であれば、どちら側から取材しているかによって、見え方が変わるかもしれません。もし安全が確保されるなら、双方から撮影をしたいとは思いますが。

紛争地ではありませんが、警察が暴力的に介入してくる可能性がある現場で「この場にいてほしい」と人々に言われたり、難民キャンプで「今、なぜか中に警察隊が入ってきた。すぐ来てくれないか!」と電話で呼び出されたりする経験もしました。「何が起きても写真家が証人になってくれる」という期待を、その時感じました。見えないところで何かが起こり、それが無視されている状況ほど、恐ろしいことはないと思います。報道がなければ、なかったことになってしまうのです。

## 報道規制

——ベトナム戦争時、多くの報道写真が発表されました。しかし、その後はメディアへの規制が強くなったとの話も聞きます。

アメリカ軍への従軍取材経験がないので比べることはできませんが、例えば10年前に初めてケニアに来て東アフリカ諸国を撮影した時は、取材許可証も即日発行の国が多かったです。しかし、現在ほとんどの国が事前申請や高額な取材許可証費の請求をしており、取材が厳しくなっている印象です。また、東アフリカの多くの国で政府の意に沿わないジャーナリストやブロガーなどが逮捕される事案が起こったため、地元の記者たちが政府に忸怩を感じることがあります。国外追放された外国人記者の話も時々聞きますし、文章の言い回しなど細かい部分まで政府広報部からクレームを受けたり、インターネットが政府によって遮断されたりすることまであります。インターネットに関しては、例えば、民主化を求めているスーダン、ウガンダは大統領選挙時に大規模デモの計画抑止を理由に、エチオピアでは全国的な試験の時にカンニング防止を理由に使えなくなりました。日本では考えられないことです。

2020年末、エチオピアでは北部のティグレ州政府と連邦政府間で武力衝突が起こり、隣国エリトリア(数年前に国交回復)も越境して軍事支援したことから、混乱が起きました。私は、隣国スーダンに逃れたティグレの人たちを撮影しました。

2021年の総選挙の時には、まだ内戦状態が続く中、選挙未実施のティグレ州の州都へ入り、人道支援の現場を撮影する目的で、政府から取材許可が下りました。しかし近郊の市場への空爆が起けると、民間機のフライトが全便キャンセルになり、州境は戦闘状態にあるため、帰ることができなくなってしまいました。その後、州都を支配していたエチオピア軍が一晩で無血撤退し、代わりにティグレ政府軍が戻ってきたため、街中が喜びに満ちあふれる状況(P14写真)に立ち合うことができました。しかし、その日以降、電気や電話、インターネットが全て遮断されました。その後、戦争捕虜となったエチオピア軍兵士約7,000人が前線から連行される場所にも遭遇。最終的にはなんとか車を調達し、国連や国際NGOの人たちと車列を組んで隣州へ脱出することができました。しかし、その後メディアの取材許可が下りなくなりました。国際的にもティグレ州の様子がほとんど分からなくなっています。報道といえども、どこにでも入れるということではありません。

## 報じない側面

——「報道がなければなかったことになる」というお話がありました。とはいえ、全てを見せるのかどうか。例えば遺体を撮影する時の配慮や、写真の取り扱い方についてはどうですか？





写真:AFP/アフロ 撮影:千葉康由

## やけどを負った少女

病院で、母親(40歳)に支えられる少女(13歳)。彼女は2021年4月21日、自宅で家族と一緒に昼食の準備をしていた時、正体不明の<sup>ひしゅう</sup>飛翔体に襲われ重度の全身やけどを負った。病院では医薬品が不足している。

撮影日: 2021年6月21日

撮影地: エチオピア ティグレ州メケレ

A F P の取材ガイドラインには、「外傷や切断された手足、死体などのクローズアップを使用することは避ける。もし画像や映像が非常に生々しいものであっても、ニュースとしての価値が高いために公開する場合は、警告を表示する必要がある」とあります。私自身は直接遺体を撮らずに、その場の悲しみをどう伝えるかをまず考えます。無理に撮らなくてもいいということです。それでも撮影する場合は、顔が分からないようにし、見る人が必要以上に恐怖を感じないように配慮します。また遺族のことを考えて、死者の尊厳を傷つけないことを念頭に置いて撮影しています。

日本の新聞社にいた頃は、「朝の食卓で開いた紙面で遺体の写真を見たくはないだろう」とデスクが言っていました。今も遺体写真を載せることは、ほぼないのではないかと思います。このようなデリケートな写真は、場合によっては、報道で使われるかどうかだけではなく、そこで亡くなった事実として証拠にもなるため、その環境も含めて撮影することが自分たちに課せられた役割の一つだと思います。

——ウクライナでの撮影はいかがでしたか？ 私たちもひどい状況を連日の報道で目にしていますが。

ブチャ虐殺の件も、写真家たちが遺体を撮影していたため



に、後に、位置関係や誰が亡くなっていたのかなどを検証できました。このことで、民間人の虐殺がフェイクニュースだという論争に終止符が打たれました。

最近では、ウクライナが奪還した地域を軍同行で取材しました。市民の車列が攻撃にあった場所に行ったのですが、多くの人が車の中で銃撃され、眠っているように亡くなっていました。前線に近く、砲撃や狙撃を避けるために、わずか数分の撮影でしたが、その後、ウクライナ政府が公式にこの事案を発表。同時にこの地域では、道端にロシア兵と見られる遺体が何体も放置されていました。家族の元まで戻ることがない状況を示すことで、誰かがこの戦争に加担することに疑問を持ってほしい、と思いながら撮りました。

## 社会における報道の役割

——報道において大切なものは何であると考えますか？

報道の役割は、「より良い社会になるための情報提供」だと思います。正直に伝えることがまずは大切です。AFPの基本ガイドラインの初めに「AFPジャーナリストは、真実を追

求する義務があり、提示された情報を受動的に報道してはならない。情報源に挑戦し、事実に疑問を持つべきである」とあります。また、「AFPのジャーナリストは、正確でバランスの取れた公平な報道を行うことが期待されている。偏見、偏向、外部からの影響を受けず、独立した立場で発言しなければならない。良心に反する業務を遂行することを強制されることはない」とあります。その通りだと思えます。期待に応えるために捏造<sup>ねつそう</sup>するような行動ではなく、正直に取材現場を伝えること。自分自身が期待したような状況でなくても、それが事実だと割り切

って伝えることが、報道機関への信頼性につながっていくと思います。また、個人的には、自分の身がどうなるか分からない

自分が期待した状況でなくても、正直に取材現場を伝える。それが報道。

## “今や飢饉が発生している”

——国連人道問題担当事務次長マーク・ローコック

国連はエチオピア北部のティグレ州で推計35万人が最も深刻なレベルの飢餓状態にあるとした分析を発表。しかしエチオピア政府はこの分析を容認しなかった。

(2021年6月)

\*国連は飢饉に厳格な定義を持つが、この時点では正式に宣言するには至らなかった

## “ティグレのような地獄は世界中のどこにもない”

——世界保健機関(WHO)事務局長

テドロス・アダノム(ティグレ州出身)

医薬品の搬入が阻止されているティグレ州の現状について記者団に向けて発言。エチオピア政府を激怒させた。

(2022年1月)

い状況まで追いかけ過ぎず、安全第一と諦めることも必要だと考えています。

## 写真はうそをつくのか？

——事実として古くから写真はプロパガンダ素材でした。また、ソーシャルメディア全盛の現在、写真が安易に誤使用され、人々に悪影響を与えたり、故意にうそを流したりするフェイクニュースも問題視されています。どのように感じますか？

写真に写っているものは確かにそこにあるものですが、その伝えるメッセージは、時に違うものになります。意味の誘導ができるため、記事の書き手も読者もその部分は気を付けな

いといけません。私も自分の写真がフェイクニュースに使われたことが何度かあり、報道各社も気にかけている部分です。AFPには、インターネット上の間違っ

[7] AFP Fact Check. ソーシャルメディアでの投稿、ニュース記事、動画、声明など、世界中の情報を事実確認し、その検証結果を情報提供するウェブサイト(英語)。factcheck.afp.com





写真: AFP / アフロ 撮影: 千葉康由

## 四半世紀ぶりの弔い

家の敷地内に埋められていた、何千もの骨と衣服の破片が発掘された。ジェノサイド追悼記念日のこの日、事前に洗われた遺骨は丁寧に棺おけに収められ、慰霊が終わるとメモリアル墓地に埋葬された。今も関係者の証言を元に発掘作業が続けられている。

撮影日: 2019年5月2日

撮影地: ルワンダ キガリ郊外

## ジャーナリズム再考

—— 個人がジャーナリズムに対してできることは？ 近年は人々が「自分の信じたい事実」のみを選択、取得し、マスコミが報道しない事実があるのではないか？ という疑心から、陰謀論まで流布する時代です。日本では報道の自由度低下<sup>[8]</sup>の問題も起こり始めました。

インターネットはたくさんの情報を無料で見ることができ、便利です。ケニアからも日本のニュースを見ていますが、記事のように見せかけた宣伝(ステルスマーケティング)や、ショッキングな見出しで誘導し、実は内容がない記事をよく見かけます。

このような状況下では、人々はより多様なメディアからニュース記事を自発的に得る必要が出てきていると思います。信頼できる発信元からニュース記事を得ようとすれば、購読料を支払う必要がありますが、そうすることが結果的に健全なジャーナリズムを支えることにつながると思います。

今は誰でも情報を直接発信できる時代。個人もフェイクニュースなどをうのみにしないためにも、メディアリテラシー、デジタルセキュリティなどを学ぶ必要が、今後ますます増えていくでしょう。

日本の報道の自由度については、離れてからしばらくたつの



“ゴキブリ(ツチ)どもを血祭りにあげよう。  
心配いらない。ラジオが味方だ。  
だから武器を取って家を出よう”

——千の丘自由ラジオテレビジョン

ヘイトスピーチを含む放送は繰り返し流れてやむことなく、一般市民の憎悪感情は増幅されていった。

で答えにくいですが、例えば、人々がインターネット上に記事が掲載されることを恐れての取材拒否は、日本に限らず世界各地でも多くなってきていると実感しています。報道の現場では困ったことです。実体験として、当事国以外のメディアが取材できなかったり、特定のメディアだけ取材が許可されたりする状況も見ました。取材が許可されていないため、いまだに行ったことのない国もあります。報道機関の側だけでなく、取材される側がどうあるかによっても、結果が違ってくるわけです。東アフリカ諸国と比べれば、まだ日本は良いと思います。

### 今後、写真家をどのように育てるか

——スマートフォンのおかげで今ほど写真撮影が身近になった時代はありません。しかし、職業として写真家を選ぶ人は思いの外、増えていないのではないのでしょうか。

たくさんの人が自分で写真を撮影する時代になったこと自体はとても良いことだと感じます。

不思議なことに、良い写真といわれる写真は、どの国の人が見ても良いといえます。本当に言葉を越えた、普遍的な表現なのだと実感します。特にこの仕事は「その場で目撃する存在である必要」という難しさの半面、「その場に居合わせて記録できる」という、やりがいがあります。大きなことが起こっている現場に行くとき、どういう状況になっているのか分からないときほど、緊張感と同時に、自分がどのような写真を撮れるのか？という期待感が同居する、そういう職業です。

2度目にケニアに来るまでは、私はほとんど自分の撮影に専念してきましたが、今は東アフリカの各国にいる若手写真家に仕事を依頼しながら、彼らが撮影した写真を基にアドバイスするようになりました。彼らの取材力を上げることはとても重要です。写真だけでなく、撮影時の倫理観やキャプション

### EPISODE

#### ルワンダ ジェノサイド

1994年に発生したジェノサイド(大量虐殺)。アフリカ中央部に居住し、同じ宗教、言語の集団、フツとツチの長年の対立が原因で発生。事前に民兵が養成されたり、雑誌やラジオが殺りくをおおるプロパガンダを流したりするなど、ジェノサイドへの土壌が組織的につくられた。一説ではわずか100日間で

\*主にベルギー人が植民地時代に築いた階級。支配層(ツチ)と被支配層(フツ)から構成される

80万人が犠牲になったとされる。ジェノサイド発生の恐れが事前に認識されながらも、国際社会は少しも気にしなかった。虐殺に加担したフツを含む多くのルワンダ人が報復を恐れて国外へ脱出、巨大な難民キャンプが形成されたが、加害者が含まれることに、国際人道援助の難しさが浮き彫りとなった。



内容、また取材対象の見つけ方などもアドバイスしています。配信する写真の品質に直結しますから。まだ試行錯誤中ですが、中には写真を始めて2年弱で、写真コンテストで受賞するまでに成長した若手もいます。

そんな中、実はコーチングにも興味が出てきました。誰かのまねをしているうちは自分の写真を撮っていることにならないので、それを越えるためには、自分自身の良さを自ら見つけるか、誰かに発見してもらうことだと思います。彼らには、特に自分の国のことを撮影する大切さを説いています。自分の国を見つめる、ということです。

私もいずれ再び日本を撮影して、世界に伝えたいと思っています。将来的には日本で中高生などの若い世代を対象に、ドキュメンタリーのための写真撮影の面白さを教えることができればいいですね。

[8] 国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団」発表の「世界報道自由度ランキング(2022年)」で日本は対象180カ国・地域のうち、2021年から四つ順位を下げて71位。近年急激に悪化の傾向を示している。Reporters Without Borders (RSF) [rsf.org/en/index](https://rsf.org/en/index)



# おめでとう！ 大阪ロータリークラブ創立100周年

日本で2番目に創立した大阪ロータリークラブ(RC)の創立100周年記念式典・祝賀会が、リーガロイヤルホテルにおいて盛大に開催されました。これまでの軌跡を振り返るとともに、次の100年に向けたスタートとして、会員244人が志を新たにしました会となりました。



上山直英会長



ジェニファー・  
ジョーンズRI会長



宮里唯子ガバナー

## 海外から多数参加。国際色豊かに100周年をお祝い

大阪RCは2022年11月18日、創立100周年記念式典を開催しました。来賓203人、当クラブ会員と家族を加え、計475人もの参加者でお祝いできたことに感謝したいと思います。

式典は、上山直英会長の歓迎の辞、ジェニファー・ジョーンズ国際ロータリー(RI)会長、宮里唯子第2660地区ガバナーのあいさつでスタートしました。

今回の式典は「会員全員でサポート」という立野純三100周年記念事業委員長(2015-16年度ガバナー)の方針の下、記念事業委員会、友好委員会、国際奉仕委員会をはじめ、まさに総力で準備を進めてまいりました。その中で特徴的だったことを、2点報告します。

一つ目は、非常に国際色豊かな式典であったこと。ジョーンズRI会長、イアン・ライズリーロータリー財団管理委員長、歴代RI会長、RI理事経験者など、『ロータリーの友』の誌面でしか目にすることのないような方々が多数出席され、加えて姉妹クラブである韓国のソウルRC、オーストラリアのメルボルンRCからも22

人の皆さんが駆け付けてくれました。樋口信治元国際奉仕委員長はじめ、同委員会の尽力の成果だと思います。

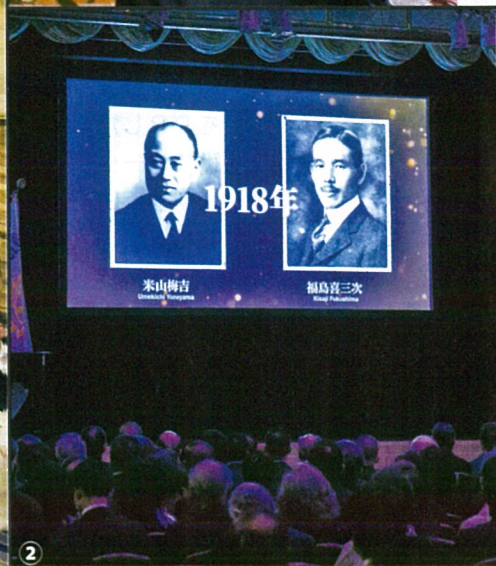
## 東日本大震災で創設した奨学金の卒業生とも交流の輪

二つ目は、東日本大震災で大きな被害を受けられた岩手県の宮古東RCと共に10年間取り組んできた「宮古・大阪みおつくし奨学金」の奨学生(全員卒業)9人、協力クラブの宮古東RC、青森RC、仙台RCから12人のご出席を得たことです。

記念式典の翌日、奨学金関係者と事業に当たった各年度の会長・幹事という顔触れで、懇親昼食会の席を設けましたが、卒業生の皆さん一人一人からの感謝の言葉には、心打たれるものがありました。長期にわたり尽力された黒田章裕委員長、稲畑勝太郎副委員長をはじめとする関係者の皆さんに感謝します。単に金銭的な支援にとどまらず、人の交流が実現できたことを大阪RCらしさとして引き継ぎ、新たな事業に向けて進んでいきたいと思っています。

式典に続き行われた祝賀会には、国内外からRI関係者12人、ガバナー、パストガバナーなど地区関係者、





東京RC、京都RC、そして神戸RCをはじめとする当クラブの39子クラブ、地区内クラブ、姉妹クラブの方々などで鏡開きや、記念ケーキ入刀など、華やかな会となりました。

100年は一つの通過点に過ぎません。私たちは、100周年の事業として、ロータリークラブの創設に関わった人たちの「生き方、考え方」を手本として、若者たちに「人生の選択肢」をできるだけ多く示すことができる活動を続けていきたい、と考えております。

(大阪RC幹事 西尾 公志・記)

## 写真

- ①「友情の証し」記念ケーキ入刀
- ②100周年メモリアル映像。日本人第1号のロータリアン・福島喜三次は米山梅吉にロータリーを紹介し、彼と共に東京RC創立会員に。後に大阪に転勤し大阪RCを創立
- ③お祝いに駆け付けたライズリー財団管理委員長、佐藤芳郎RI理事、三木明ロータリー財団管理委員
- ④100周年を振り返るパネル展示
- ⑤宮古・大阪みおつくし奨学生の、カウンセラーを務めた青森RCの方から贈られた100周年記念リング
- ⑥祝賀会であいさつする奨学生たち



# END POLIO NOW

10月24日の世界ポリオデーにちなんで、日本各地でポリオ根絶への取り組みが行われました



## @埼玉県 ポリオ根絶チャリティー クラシックカーラリー実行委員会

1920～76年に生産された、国内外の名車が埼玉県内を巡る「第2回ポリオ根絶チャリティークラシックカーラリー」を開催。総勢33台が「END POLIO NOW」のステッカーを貼り、ポリオ根絶をPRした。参加車の約4割は全国から駆け付けたロータリアンの愛車。沿道には配布された「END POLIO NOW」の小旗を振る多くの市民が並んだ。  
(10月23日 第2770地区 埼玉県)

## @高校文化祭

### 下館工業高校 IAC

3年ぶりに高校での文化祭が開催され、提唱クラブのしもだて紫水RCの協力を得て、バザーとポリオワクチン募金活動を実施。コロナ禍で保護者らが来校できない中、インターアクターたちが伝えてきたポリオワクチンの重要性を理解した生徒から多くの寄付が寄せられ、「寄付なんてしたことなかった」「これをきっかけに考え直す」などの言葉があった。バザーの売り上げはウクライナ支援に寄付した。  
(10月29日 第2820地区 茨城県)



## @美濃市運動公園陸上競技場

### 美濃RC

「みのリンピック子供運動会」を開催。会員14人が、前日からライン引きやテント設営などの準備をし、当日は子ども170人と保護者、スポーツ少年団など総勢350人が参加。会長あいさつの中で、ロータリーの奉仕事業としてポリオ根絶について説明し、協力を呼びかけた。運営指導には武義高生徒会 IACの生徒5人の協力も得られ、50m走や綱引きなどを行った。  
(11月5日 第2630地区 岐阜県)



## @大町商店街

### 郡山RC

バザーで会員から寄せられた絵画や陶器、日用品など約100点を安価で売り出した。募金活動で寄せられた浄財と合わせ、売り上げの全額をポリオプラスに寄付。「何か良いことをした!」、そんな実感が湧いた一日だった。

(11月6日 第2530地区 福島県)





## @なんば駅前広場

大阪難波RC

「道頓堀リバーフェスティバル 2022」に出展し、なんば駅前広場でポリオ根絶活動のための街頭募金活動を行った。大阪難波RAC会員の協力も得て、来場者から多額の寄付が集まった。(11月12～13日 第2660地区 大阪府)



## @西脇市市民交流施設オリナス

西脇RC

3年ぶりに開催された「にしわき産業フェスタ 2022」で、餅つきとポリオ根絶のための募金活動を実施。子どもたちが、一生懸命ためたであろうお金を、募金箱に入れてくれる姿、会員が心を込めてつくったお餅をおいしそうに頬張っている姿は愛らしく、私たちに感動を与え、多くの人の善意を感じ心温まる一日となった。

(11月20日 第2680地区 兵庫県)

## @荅北町体育センター ポリオ (小児麻痺) 撲滅

西天草RC

「電気のふるさと荅北町産業文化祭」に合わせ、ポリオ根絶キャンペーンを実施。会員24人が参加し、会場入り口にブースを設け、寄付を呼びかけた。幅広い年代から協力を得、総額12万4,405円が集まった。

(11月12～13日 第2720地区 熊本県)



## @八槻市

石川RC

4年ぶりに「八槻市」が開催されるに当たり、クラブで初めて、ポリオ根絶募金活動を実施。当日はポリオに関する資料を用意し、一般に向け現状についての啓発も行った。会員夫人の手伝いも得て、けんちんうどんを販売。収益と寄付金を合わせた総計9万6,888円をポリオプラスへ寄付した。

(11月23日 第2530地区 福島県)

## @岡山駅

岡山南RC

クラブで初めて街頭募金を実施。JR岡山駅のエキチカ広場にブースを設置し、チラシを配布しながらポリオ根絶の協力を募った。会員がチンドン屋さんとなり、寄金者には駄菓子进行品をプレゼント。子どもたちにも喜んでもらえる楽しい活動となった。他に9～10月には、デジタルサイネージによるポリオ根絶メッセージ動画を、岡山駅南地下道のビジョンスペースで配信した。

(10月24～25日 第2690地区 岡山県)





## 絆が増え 楽しみが増すところ

第 2500 地区 北海道東部

久木佐知子ガバナー (旭川西 R C)

旭川で画廊を営みながら、自分の専門的な知識や人とのつながりを生かし、地域に貢献できないかと考えていました。旭川は「彫刻のまち」。市内各所に野外彫刻が設置されています。そこで、彫刻による街づくりの一環として「旭川彫刻フェスタ」を提案したところ、関心を持ってくださったのがロータリークラブの皆さんでした。複数のクラブで卓話をさせていただいたことが 2005 年、旭川西 R C 入会のきっかけとなりました。

私のロータリー観に大きな変化をもたらしたのが、2015 年から 4 年間、地区の V T T (職業研修チーム) 委員長を務めた時の経験です。経済や環境の分野で、タイやマレーシアの人材育成のお手伝いをし、V T T は研修生の育成だけではなく、「その向こう側」にいる多くの人たちへの人道支援であると痛感しました。このご縁で、タイとマレーシアからの研修生各 2 人は、帰国後、

母国のロータリークラブに入会し活躍しています。

ロータリーにはロータリーマジックがある、とよくいわれますが、それは意識せずとも作られる世界中の人との深い絆から生まれると思います。今年度の地区大会に、R I 会長代理としてお迎えした第 2520 地区の山口淑子パストガバナー (P G) にガバナー就任時のことを伺うと「33 人の新しいボーイフレンドができたと思ったわ」「ロータリーは年を重ねるごとに楽しみが増すのよ」とロータリーの神髄をユーモアたっぷりに語られました。

こうして絆はつくられる、と。120 万人からなるロータリーのネットワークを生かし、多様で活気あふれる未来へ、新たな夢を私も紡いでいきます。(美術品商)



第 3300 地区・マレーシアからの V T T チームの仲間たちと受け入れメンバーで。研修先での思い出の一枚 (ガバナーは右端)

## 始まりは「Cadre って？」

第 2510 地区 北海道西部

石丸修太郎ガバナー (札幌西 R C)

それは単なる好奇心から。「My Rotary」でロータリー財団の資料を見ていたら「Cadre 求む」という文字が。Cadre、幹部？ 何？ と見ていくと、財団の補助金事業に対し、専門家の立場から支援する者と、実際に補助金が使われた内容を監査する者を求む、と。財務監査な



監査先の地区の皆さんと一世一代 Cadre の私 (前列右から 2 人目)

ら仕事柄できるかな、と気軽に応募してしまいました。

「応募に感謝する。については My Rotary の『Learning Center』の指定講座を済ませて」と即返信、でも 10 時間以上の講座の期日は何と 1 週間後。こりゃさすがに無理だ、と慌てて応募の取り消しを申請すると「それでは 5 週間待つので、それまでに終わらせてくれれば」。

結局、ガバナーエレクトとして国際協議会にオンラインで参加しながら、『Learning Center』のコースもせっせと受講する身となり、ようやく期日 2 日前に講座を修了すると「早速だが監査をしてほしい。できるか？」。ロータリーの癖、「ハイ」と即答してしまいました。

とはいえ、ロータリー財団の監査は初めて。一人でマニュアルを見ながら臨むと、対象事業を行っていたロータリアンは皆優しく、コロナ禍の影響で中断していた事業のための監査要請であるとする判明。お金の動きもきちんと記録されており、財務的には問題は何もない。

一点、中断しているのが事業の評価や影響についての判断が難しく、ここだけがとても困りました。何とか事案の説明文を付け、監査報告書として提出しましたが、あれで本当によかったのかな、と自問した次第です。

ロータリー生活も 20 年を過ぎて、こんな新鮮な時間を得たという貴重なモメントのご報告です。(公認会計士)



## どこかで芽吹け 青少年交換、再開！

第 2520 地区 岩手・宮城

天沼 久純ガバナー（盛岡南 R C）

新型コロナ感染拡大で停止していた、青少年交換学生の希望受付を昨秋再開しました。事業の再開が現実となり楽しみです。

私の息子も 2003 - 04 年度、ブラジルへ長期交換学生として行ってきました。当時は飛行機の接続も悪く、24 時間以上かけ、英語もろくに話せなかったのによく一人で、ホームステイ先までたどり着いたものだと感心しました。初めての一人旅、海外での生活、彼にとって貴重な体験になったことは間違いありません。もっとも、必死に学んだポルトガル語は帰国後、使い道はありませんでしたが、一生の宝となったことでしょう。

私たちも夫婦で「陣中見舞い」と称してブラジルを訪れましたが、予約の便が違っていたり、言葉も通じなかったり、やっとの思いでのホームステイ先到着でした。

恩返しのためで 2004 - 05 年度、メキシコのクリ

アカンからマリア・リサラガさんというとても華奢な女の子を預かりました。まだ私の両親が元気な頃で、私よりも世話をたくさんしてくれましたが、マリアは盛岡弁しか話さない母の日本語を覚える羽目に……。

帰国後も彼女の結婚式に参列したり、クリアカンとマサトランのロータリークラブの例会にも参加させていた

だいて、たくさんの感謝と、今後の交流の継続をお願いしてきました。今でもメールなどで、メキシコの皆さんとは連絡を取り合っています。

青少年交換事業の再開が、どこかで新たな学びと出会い、交流が芽吹くきっかけとなることを切に願う次第です。

（自動車学校）



2018 年、盛岡駅でマリア夫妻を見送る

## 時代があなたを選んだのだから迷うことはない

第 2530 地区 福島

佐藤 正道ガバナー（喜多方 R C）

私がクラブの会長エレクトだった時、私たちの分区からのガバナーノミニー選出が決まっていました。クラブの故・佐原元 P G は、候補者選定のため奔走するも、引き受けてくださる方が見つからず大難航。そのあまりな様子を見るに見かね、私は喜多方 R C から必ず選出する



在りし日の佐原 P G（左から 2 人目）と私（右端）

ので、私に下駄<sup>げ</sup>を預けてくださいませんか、と進言したのです。

そんな矢先、私は会長年度の事業視察のため、ネパールへ旅立つことになりました。その最中に、臨時理事会が開催され、私のガバナーノミニー推薦の決議がなされたのです。確かに下駄は預かったけど……と内心当惑しつつも、ガバナーノミニーの資格条件「クラブ会長を全期務めた経験」をそもそも満たしていないのだし、と高をくくっていました。書類が作られ、諸手続きが踏まれ、そして後日。「承認された」との連絡を受け、事の重大さに初めて、気が付きしました。

佐原 P G に伺ったところ、海外でも同様の案件があり、資格免除申請をすることで条件は緩和されるのだと。重責に押しつぶされ落胆している私に、明るく「時代があなたを選んだのだから迷うことはない」。激励なのか、説得なのか……。それから 1 年後、佐原 P G は急逝されました。大きな後ろ盾を失った私にとっては、会長職やガバナーノミニーも辞退し、ロータリークラブそのものも退会しようと思ったほどの衝撃的な悲しみでした。

しかし今、ガバナーとして貴重な経験を積めるのは、佐原 P G が背中を押してくださったおかげ。ご遺志を継げるよう精進していきたいと思ひます。（石材業）



## エンドポリオへの思いを

第 2540 地区 秋田

高崎 恒夫ガバナー (秋田港 R C)

ロータリアンとして長く過ごしているとはいえ、いざガバナーの身にならなければ、その気になって勉強しないものだ、とつくづく思います。「エンドポリオといえば、要は小児まひの根絶のことだろう？ 日本では発症例が近年あまりないから関心も薄いし、募金も集まら



「あと少し」への思いはガバナーになってから自然と毎日のことに

ないのは当然だよ」などと内心思っていました。もしポリオウイルスが完全になくなれば、ワクチン接種の必要もなくなり、その結果、浮くお金が全世界では膨大なものになるという試算を聞き、認識を改めました。

世界を良くするためには、ポリオワクチンの接種活動のみならず、飲み水浄化やトイレの改善など、全般的な衛生思想の底上げも必然。発展途上国での幸福な生活を推進するには、ポリオ根絶にとどまらず、衛生に関するインフラ整備や意識改革も併せて進めていくことが大切です。「7つの重点分野」は個々の課題として切り離して考えるのではなく、密接に絡め合いながら前進させていくものと考えています。

まずは実行。大館市のきりたんぼまつりと湯沢市のうどんエキスポという、いずれも 10 月に開かれる地域行事に合わせ、それぞれ旗やパネルで P R しポリオ募金活動を展開しました。第 2780 地区（神奈川県）のバスジャック活動を参考に、私が社用で使う白いバンには、ワンマン社長の横暴（？）としてエンドポリオの公式ロゴを貼り付け、任期中走り回ることになりました。「小児まひのない世界を」というロータリーの思いを伝えるべく、もう、町中を走り回っています。

私の大きなモメントになりそうです。(古紙回収)

## 職業を生かした「汗かき奉仕」

第 2550 地区 栃木

佐貫 直通ガバナー (宇都宮陽東 R C)

2018 年、宇都宮陽東 R C の創立 25 周年記念事業として、ベトナムで口腔衛生啓蒙事業を立ち上げ、現地の小学校で、歯科検診と「歯のはなし」の講演をすることにしました。初回、ざわつきながらも神秘的な表情の子どもたちでしたが、検診と講演が終わると緊張も解けたか



現状も改善されますが、未来はもっと笑顔が増えるから汗をかく！

ホッとした笑顔に。「来年も来るよ」というと、皆ニコニコ。この変化は体験しないと理解できない一コマで、疲れと終わった安堵感（あんど）はポケットにしまい、帰路へ。

約 1 年後、2 回目は初めからニコニコ、クスクス。うれしそう、楽しそう。歯科衛生士の講演を聞き、検診が終わった子どもたちは、プレゼントされた歯ブラシをうれしそうに握り締めワイワイと騒ぎ始めました。私が検診をしていた会場にもそのワイワイが伝わってきて、ついにはこちらの声がかき消されるほどの騒ぎ声。「うるさい！」と怒鳴りつけたいところを我慢、我慢。「お願いだから静かにして～」と初めは優しい私たちの声もだんだん大きくなり、最後は「ああ喉痛い」。全員の検診を終わって見渡せば、いつの間にか子どもはいない。そうです、講演をした歯科衛生士や他のロータリーの仲間たちのところで、皆で笑っていたのです。

歯科のプロではない仲間が自ら動いていた姿。これが素晴らしい。奉仕の熱意が出て、皆が「汗かき活動」になっていました。ロータリアンは自然と活動し、お互いがサポートし合うことができる素晴らしい仲間なのだ、と認識したモメントでした。「汗かき奉仕」、それでこそロータリーの精神！ 忘れ難き感動でした。皆さんも、現場に行ってみませんか！ (歯科医)



## 災害時における 会員奮闘に接して

第 2560 地区 新潟

**高橋 秀樹**ガバナー (新潟RC)



支援テント内の雑巾はロータリーの心

去年8月3日から  
の大雨で、新潟  
県北部は甚大な被  
害を受けました。  
人的被害は重傷1  
人、住宅被害は床  
上・床下浸水合わ  
せ2,000棟を超  
え、上下水道、幹  
線道路も大きな被  
害を受けました。  
激甚災害の指定を  
受けたこの被災地  
の復旧・復興には、  
まだ時間がかかり  
そうです。

災害発生時、当地区ロータリアンの活躍には目覚ましいものがありました。最も被害が大きかった地域には中条胎内RCや村上岩船RCがあり、すぐさま被災者の支援活動を開始。中条胎内RCの磯部由美子会長は、自身が被災しながらも自らを顧みず大奮闘。三条RCの関川博会員のよう、他分区ながら自社の社員と駆け付けたロータリアンもいました。何と、元ロータリアンもロータリークラブの支援テントへ急行してくれたのです。

被災地周辺のクラブは協力し、被災者用飲料水120ケースを確保。中条RCは大量のウエスや雑巾、そして決壊地補修のため1,600個の土のうを届けました。村上RCは、被災地支援活動の資金難に陥った村上商工会議所青年部へ、100万円を寄贈しました。

災害が週末に生じたことも不運で、私はとにかく地区役員、須貝八栄ガバナー補佐や各クラブ会長らに連絡を取り支援を求めましたが、恥ずかしながら、己自身は大したことはできなかったのです。ですが、被災地のクラブを訪問しますと皆口々に「ガバナー、ありがとう」。この時のことはこれからずっと忘れられないでしょう。

他にも数え上げればロータリーの支援は切りがありません。自分がこのような人々の仲間であることを、心からうれしく思います。  
(大学)

## 親睦から奉仕、 その先には感動がある

第 2570 地区 埼玉西北

**村田 貴紀**ガバナー (2570パスポートRC)

私の思い出に残るロータリー活動としては、グローバル補助金を活用した、人道的支援活動への参加が挙げられます。2019 - 20年度に4事業、2020 - 21年度に2事業、2021 - 22年度には2事業、そして今年度は2事業を申請中です。台湾、タイ、ミャンマーへの人道的支援活動が続けているのですが、DDF(地区財団活動資金)活用の重要性を感じております。DDFは貯金、というイメージがあるようですが、単年度でどれだけの人道的支援活動に活用できるかが大事では、と思っております。

ご多分に漏れず、私たちもコロナ禍により、現地へ行くことがままならない状況が続きましたが、渡航できる状況になったら再び現地へ赴き、さらに多様な感動を実感できればと願っております。「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」を体験・体感すること

がロータリーの感動につながるのではないのでしょうか。実際、現地へ行った際、100歳になるおばあさまが私の手を強く握り、涙を浮かべながら日本語で「ありがとう」と言われました。これには、活動して本当に良かったと感じたものです。親睦から奉仕、その先には感動がある。このような体験をさせていただいたことに改めて、ロータリーの素晴らしさを強く感じました。

地区内11クラブ合同で、14クラブ合同で、など海外での奉仕を続けましたが、さらにより多くの方々へ、この感動を伝えられたら。ロータリーの素晴らしい制度、事業にご協力くださったロータリーの外の世界の人々にも、心より感謝申し上げたいと思います。  
(不動産管理)



また海外で、コロナ前の世界で展開できたことを重ねたいです



# 米山から世界の町へ

20

## バン格拉デシュ・ラジシャヒ

——インドと国境を接し、面積は国内6管区で最大。養蚕業の他、マンゴーなどのフルーツ生産の盛んな地域です。



米山奨学生・米山学友の近況を、その故郷や、今、暮らしている町とともに紹介するシリーズです。今回の紹介者は……

秋田大学大学院理工学研究科准教授

カビール ムハムドウル さん

(バン格拉デシュ／1998－2000／秋田北RC)

「サラム！（こんにちは）」

バン格拉デシュは、南アジアにある国です。国土の総面積は日本の約40%で、東北地方と北海道を合わせたくらいの大きさ。しかしながら、人口は日本の1.3倍で、1億6,000万人を超えます。日本とは違い山が少なく、高い山でも1,000mほどで、国土の大半は平地です。

私の故郷ボグラは、バン格拉デシュ西部のラジシャヒ管区の中心都市です。そのボグラから10kmほど北に位置する古代都市のモハスタン遺跡群を、まずご紹介いたします。紀元前3世紀以降に栄えた仏教やヒンズー教、イスラム教の寺院跡、聖人にゆかりのある場所が点在しており、『西遊記』に登場する三蔵法師のモデルとなった唐時代の僧・玄奘三蔵が、西域の旅でインドのナーランダ僧院を訪ねた後、このモハスタンも訪れたそうです。ここには現在、国立博物館があり、古代の生活や宗教などに関する文献の数々を見ることができます。

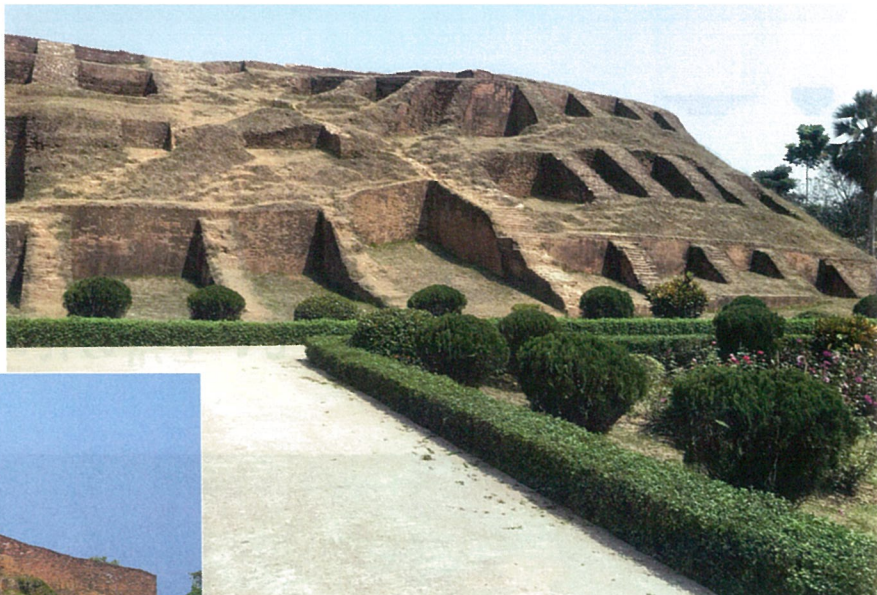
パハルプールの仏教寺院遺跡群もぜひ見てほしい名所。ヒマラヤ山脈の南にある仏教寺院で、往時はインドのナーランダ僧院に次ぐ規模を誇り、先述のモハスタンから北西に約40kmの位置にあります。1,000人の僧侶が収容可能で、下水道などの設



写真上・右：故郷のボグラで、そこに暮らす子どもたちと一緒に



備も整っており、インドや中国、ミャンマー、タイ、カンボジア、さらに日本の僧侶たちが修行に來たとされます。パハルプールの建築様式は、後にカンボジアのアンコールワットなど、国外の建造物に多大な影響を与えたといわれています。



写真左：パハルプールの遺跡。上：モハスタンの遺跡

料理といえば、カレー。牛、鶏、ヒツジ、ヤギの肉や魚介のカレー、野菜のカレーなど多種多様です。中でも炊き込みご飯の一種で、カレー味で米を煮込んだキチュリや、牛乳から取れるギーという油で米を肉や魚と炊き込むビリヤニは有名です。

スイーツでは、“甘い”の意を持つ伝統菓子のミスティがよく食べられています。種類も多く、牛乳から脂肪分を取り出し、それを使って作るのが一般的です。“激甘”ですが、ぜひお試しください。



私は1994年に来日後、日本語学校を経て、秋田大学大学院工学資源学研究科博士後期課程（電気電子情報システム工学専攻）を修了しました。そのうちの2年間を、世話クラブとして支えてくれた秋田北ロータリークラブには大変感謝しています。毎月、秋田市内のホテルで例会に出席した時のことを、今もよく覚えています。カウンセラーだった高橋豊彦さんのご自宅に招いてもらい、ご家族と交流できたのも良い思い出です。

私は現在、同大学院理工学研究科の准教授を務めると同時に、持続可能な社会の実現を目指し、「カビール研究室」を運営しています。そこで、藻類のアオコを用いた微生物燃料電池の開発や排水処理システム、動電処理によるセシウム汚染土壌の浄化などを研究しています。

また、第2540地区（秋田県）米山学友会の会長として、現役奨学生たちのサポートに加え、交流会を開くなど、仲間の輪を広げる工夫を重ねています。今後も多くの奨学生・学友とのつながりを大切に、私たちができる社会への恩返しを続けていきたいと思っています。

写真右上から時計回りに、さまざまなカレー料理、ギーで炊き込んだビリヤニ、人気スイーツのミスティ、カレー味のキチュリ



第2540地区の米山奨学生の歓送会にて

※米山記念奨学事業、または「よねやまだより」へのお問い合わせは、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで  
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281 Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp





# Food for Thought

おいしい生活のためのヒント



デザイン：加藤英一郎

## テーマ：ちょっと細菌、発酵食品

「鬼は外、福は内」。2月3日は節分。節分とは、暦の立春の前日、二十四節気において新年の始まりの前日、つまり大みそか。この日になぜ、豆まきを行うようになったのでしょうか？

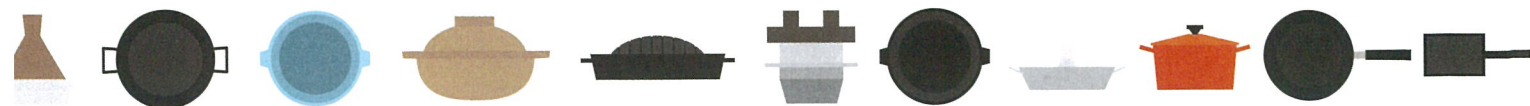
『続日本紀』によると706年、疫病が流行したこの年の大みそか、その災いをはらうための鬼払いの儀式が行われ、その後、宮中行事として定着し、

今に続いています。きっかけは疫病。コロナに振り回されている現代みたいですね。現代は、科学の時代ですから、豆まきよりワクチンなのでしょうが、感染対策にはやはり、うがいや手洗いが基本です。「ばい菌」がいなくなるといいなあ。でも、「菌」がなくなったら困ることもたくさんあるんですよ。

発酵食品は、菌断の味？

「菌」とは、細菌やカビ、酵母などの微生物のことをいい、これらが食材に作用して発酵することによってできた加工食品が、発酵食品です。例えば家でパンを作る時に「イースト菌」を使って発酵させますよね。イースト菌





久保田英男（職業分類：菓子製造販売）

鎌倉RC会員。学生時から家業関連の飲食業でキャリアを重ね、現在は大学で外食・ホテル業界での就職を目指す学生たちに自分の経験を伝えている。最後の晩餐は「アサリのおみそ汁」と言ってから、出されるたびにドキドキ。

は酵母の一種で、酵母は糖を分解して、アルコールと二酸化炭素を生み出す、パンやお酒などを作るときに欠かせない微生物です。

このように菌を使って作る食品には、他にもヨーグルトやビールなど私たちの身の回りに欠かせないものがたくさんあります。

チーズもその一つ。原料や製法によって、その種類は1,000を超えるともいわれ、ウシやヒツジ、ヤギなどの乳を原料とし、乳酸菌や酵素などを添加して作られます。さらに、カビを付けて熟成させるものも。外皮に白カビを付け熟成させたカマンベール、青カビをチーズの中で生育熟成して作られるゴルゴンゾーラなどは日本でも人気ですね。ちなみに、見た目では白カビとっていますが、カマンベールチーズに利用されるペニシリウム・カマンベルティは青カビ属です。

食べ物にカビなんて！と思われる方も多いかもしれません。でもですね、私たち日本人に欠かせない「かつお節」もカビが大事な役割を果たしています。ただし、これらは特殊な例。基本的にカビは有害なものなので、食品の保管には十分ご注意ください。

しょうゆーことだったのか！

かつお節だけでなく、私たち日本人の身近には発酵食品があふれています。西洋の話で終わったら、みそを付けてしまおうところでした。これまた日

本人にはなくてはならない、しょうゆやみそもその仲間。やはり、今回は節分の豆まきで始まったので、日本の食品の話で締めましょうか。

みその起源は中国の大豆塩蔵食品「<sup>ひしお</sup>醬」だといわれ、醬になる前の熟成途中のものが独立し、みそという食品に発展しました。このことから、みその名の由来もいまだ醬にならざるもの、すなわち「<sup>みしお</sup>未醬」と名付けられ、そこから「みそ」となりました。平安の頃は貴重品でしたが、鎌倉時代になると「一汁一菜」という武士の食事形式が定着するほど一般的になりました。

戦国時代には兵糧として各国の武将がみその生産を奨励したことから、製法が広がっていきました。江戸時代になると生産量も品質も安定し、みその文化が各地で発展していきます。米みそ、麦みそなどの「米」や「麦」とはみその熟成に使うこうじを指し、各地でその風土に合ったみそを作るようになっていきます。みそ汁だけでなく、重要で万能な調味料として、庶民の胃袋と健康を守ってきました。ちなみに先の「みそを付ける」は、かつてやけどの特効薬としてみそを患部に塗ったことから、失敗することをそのように表現するようになったという説があります。

しょうゆも醬がルーツといわれていますが、醬は肉や魚、大豆などをつぶし塩に漬けて込んで発酵熟成させたもの。秋田のしょうつつるやタイのナンプラー、ベトナムのニョクマムなどの魚

醬が知られています。しかし、しょうゆは植物が原料という点で大きく違います。しかも、正真正銘、日本生まれ。2017年「しょうゆ醸造の発祥の地」として紀州湯浅（和歌山県湯浅町）が日本遺産に登録されています。鎌倉時代、禅寺の僧、<sup>かくしん</sup>覚心が中国で学んだみその製法を村民に教えていた時に仕込みを間違えて偶然誕生したとか。

室町時代後期になると、近畿地方にしょうゆの産地が形成され、江戸時代にはしょうゆの量産化が進み、品質も向上します。上方（大坂）から江戸に送られる産物は「下り物」と呼ばれ、上方のしょうゆも「<sup>くだ</sup>下りしょうゆ」と称し重宝されていました。価値のないものを指す「くだらない」の語源はここにあって、「品質が良くなく江戸では売れない」ということ由来しています。

“SOY SAUCE”は日本の調味料として世界中へ輸出されていますが、この歴史も意外に古く、江戸時代にはオランダ船や中国船によって、主に中国や東南アジア、インドなどに届けられ、その一部が欧州にも運ばれて、極東の調味料として珍重されました。18世紀中期にフランスで発行された『百科全書』には「SOU(しょうゆ)」の記載が残っています。さすがJAPANを代表する調味料！！

しょうゆやみそは料理の要、今夜はみそ田楽で熱かんか、それともチーズとワイン……迷うなあ。おいしいお酒を飲みながらうんちくを語って、今日も平和であることに感謝しなくては。



# People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

ROTARY 2月号から



## イギリス

コロナ禍の中で孤立を感じている高齢者同士のつながりを図るため、キングス・リンプリオリー・ロータリークラブ（RC）は、地元の映画館と協力して、マチルダ・ザ・ミュージカル割引上映会を行いました。11月には60人近くの人々が「マチルダ・ザ・ミュージカル」を見に映画館に足を運びました。同クラブの前会長で上映会の主催者でもあるフィル・デイヴィスさんは「皆で観客を出迎え、チケットのもぎりをを行い、案内しました。映画館に行く醍醐味の、おそらく7割は社交の機会でしょう」と語ります。

イギリスにおける64歳超  
の高齢者の人口比率 **19%**

## スペイン

地中海の街トレビエハのプンタ・プリマ・インターナショナルRCは、地元で2019年に始まったチャリティーゴルフツアーを主催。この大会による広告収入やプレー料金、パーティーチケットとディナーチケットの売り上げで、合計1,500ドル（約20万円）以上の収益が得られました。同クラブ会員で大会主催者のグネル・トゥンストレムさんによると、収益の一部はウクライナから亡命した女性と子どもを支援する教会の慈善事業に寄付したとのこと。 「会員たちの中で熱心なゴルファーは一握りだとしても、このパートナーシップはお互いにとって実りの多いものです」と話しています。



**1764年**

1 ラウンド 18 ホール制が始まった年



## アメリカ

ワシントン州のセントレーリア・チェホールズ・ツインシティーズRCの会員たちが出演し、「殺人ゲーム〜剣と魔法による殺人ミステリーの昼食会」という戯曲の公演会を開きました。10年続くこのショーは、毎年異なるキャストによる異なる公演が特徴。4月の最新公演は完売し、障害者用スロープ、セントレーリア大学の奨学金やドリー・パートンのイマジネーションライブラリー（児童書の無料提供）といった慈善事業のため、3,400ドル（約50万円）を調達。「大抵、毎年100～140人の観客が集まります」と、今回の脚本を共同執筆し、役者として出演した6人のうちの一人、キャサリン・クリーブランドさんは言います。



# 6,000公演

2019年にアメリカで開催された  
地域公演の数



# 41%

先住民を自認する  
成人のボリビア国民の割合

## ボリビア

2016年以来、若い眼がん患者へ接着義眼を提供するビジョンプログラムの資金を調達するために、チュキアゴマルカ・ローターアクトクラブは、地域社会でイベントを主催しています。11月、同クラブが食の祭典を開催したところ、首都ラパスのプラザ・アパロアに約4,000人が集まりました。目玉は牛肉や鶏肉をパン生地で包んだ伝統料理「サルテーニャ」。「おいしくて大人気のメニューです」と同クラブ会長のメラ・タビア・サラザールさんは言います。このイベントで700ドル（約10万円）が集まりました。



## マレーシア

マレーシア国民はアジア有数の英語力を持ちますが、都市部と農村部ではその力に格差が残っています。そこで、コタキナバル・パールRCは2015年の創立直後から、元会長のノニ・サイードさんを中心に「プロジェクトREAL」を立ち上げ、英語リテラシーの格差解消に乗り出しました。20年までに、サバ州の農村部にある16校で、教師の研修、書籍、設備を提供し、約4,000人の生徒に恩恵をもたらしました。ロータリアンが参加する委員会が学校を訪問し、四半期ごとに教育指導者と会合を開き、進捗を確認しています。当初、慈善団体やオーストラリア大使館から資金支援を得て始まった同プロジェクトはその後、首都クアラルンプールと台湾のロータリーの会員との新たなパートナーシップにより、プロジェクトを拡大。対象校をさらに18校増やしました。

アジア諸国の英語力  
ランキングにおける  
マレーシアの順位

# 3位



# 2022 - 23 年度 地区大会略報

## III



イマジン  
ロータリー



## 第 2820 地区

2022 年 10 月 29 ~ 30 日  
ノバホールほか  
ホスト つくば学園 RC

大野治夫ガバナー 抜けるような秋空の下、2 日目の本会議は、筑波ジュニアオーケストラの演奏で幕を開けました。高野孫左門 RI 会長代理を迎え、ガバナーの点鐘で開会。午前中の各プログラムが予定通り、粛々で行われました。午後からは、世界的ヴァイオリニスト・川井郁子氏が記念公演として演奏を披露。満員の会場は音色だけの静寂に包まれ、日々の疲れも癒やされるようでした。これら演奏の他にも、2 日間を通じ、電子オルガン奏者やバンドによる演奏などがあり、芸術の街つくばにふさわしく、音楽に包まれた大会でした。



## 第 2520 地区

2022 年 11 月 5 ~ 6 日  
盛岡グランドホテル  
ホスト 盛岡南 RC

天沼久純ガバナー 「もっと育てよう！奉仕と友情」を合言葉に開催。2 日目の本会議ではまず、年度前半に DEI と会員増強をテーマに実施した会長フォーラム、ロータリーデー、世界ポリオデーの各奉仕活動を振り返り、年度後半へとつなげることを確認しました。記念演奏会は、ウクライナ出身のバンドウラ奏者カテリーナさんが、平和への願いを込めた演奏と歌声を披露。ウクライナ支援の募金活動も実施しました。盛岡さんさ踊りでにぎやかに始まった 3 年ぶりの大懇親会は大いに盛り上がり、交流を深めることができました。



## 第 2600 地区

2022 年 11 月 5 ~ 6 日  
信州の幸あんずホールほか  
ホスト 更埴 RC

上沢広光ガバナー 久々に対面式での大会。初日の諸会議を終え、懇親会での盛り上がりもそのままに、秋晴れの中、2 日目の本会議へ。午前中の在籍 50 年表彰では、その功績と栄誉を参加者皆で祝いました。午後はチアリーダーの演技で華々しくスタート。青少年アワーでは各プログラム代表者の報告を受け、ロータリーの青少年奉仕の重要性を実感。また、ジャーナリスト・辛坊治郎氏の記念講演「荒波を乗り越えて明日を掴む！」は、ロータリー活動の判断材料ともなる“情報”の大切さを学ぶ機会となりました。





## 第2620 地区

2022 年 11 月 5 ～ 6 日  
グランシップほか  
ホスト 静岡 RC

浅原諒蔵ガバナー 羽部大仁 R I 会長代理を迎え、対面式で延べ 1,000 人以上が参加しました。初日は地区内各グループごとの合同奉仕事業の紹介。晚餐会では、ウクライナの民族楽器バンドウラの演奏を聴き、平和への思いを募らせました。2 日目は、羽部氏から R I 会長テーマ「イマジン ローターリー」の説明を受け、指針として今後の活動に向け確認した他、各種表彰、米山奨学生やローターアクト、インターアクトの活動が紹介されました。その後、3 年ぶりとなる大懇親会もあり、リアル開催の素晴らしさを味わいました。



## 第2640 地区

2022 年 11 月 5 ～ 6 日  
ホテルグランヴィア和歌山ほか  
ホスト 和歌山北 RC

森本芳宣ガバナー 紅葉で色づきを見せる和歌山城を背に、和歌山城ホールで 1 日目の本会議を開催。水野功 R I 会長代理はクラブ活性化をテーマに講演し、「ロータリーを楽しむことが大切」と訴えました。2 日目は地元を代表する製造業、(株)島精機製作所の島正博氏が、母を助けるために始めたミシン開発について一般公開で講演。記念講演は有人宇宙システム(株)の前村孝志氏が、日本の宇宙開発の現状を映像を交えて紹介。日本人を宇宙へ継続的に送る夢を語り、参加者がより良い未来を「イマジン」できる大会となりました。



## 第2590 地区

2022 年 11 月 11 ～ 12 日  
パシフィコ横浜会議センターほか  
ホスト 川崎南 RC

志村雄治ガバナー 両日とも素晴らしい秋晴れに恵まれた今大会。井原寛 R I 会長代理を迎え、1 日目は「環境」をテーマに、プロ・ナチュラリストの佐々木洋氏の講演「身近な生き物から学ぶ持続可能な社会」に耳を傾けました。2 日目のテーマは「平和」。ミズノ(株)相談役会長で、第 2580 地区 P G の水野正人氏の記念講演「平和とスポーツ」の他、5 人の平和フェロー学友によるフォーラムが開かれ、出席者からは口々に「感動したよ！」の声。久々に対面式で開かれた懇親会にも笑顔があふれ、大盛況のうちに閉幕しました。



## 第2730 地区

2022 年 11 月 11 ～ 13 日  
川商ホールほか  
ホスト 鹿児島 RC

山ノ内文治ガバナー 今回は地区創立 70 周年の記念大会として「70 年の出会いから新しい D E I のあるロータリーが今、ここから始まる…」と銘打って開催。松本祐二 R I 会長代理をはじめ韓国姉妹地区の会員など総計 1,194 人の登録を得ました。2 日目、本会議後の 70 周年記念式典では、四宮孝郎 R I 研修リーダーが記念講演として、ロータリーの D E I (多様性、公平さ、インクルージョン) を解説。今後の方向性を学びました。また、夕刻からは 70 周年記念祝賀会が開かれ、ジャズバンドの演奏もあり、大変に盛り上がりしました。





## 第2530 地区

2022 年 11 月 12 ~ 13 日  
喜多方プラザ文化センターほか  
ホスト 喜多方 R C

佐藤正道ガバナー 「感動を共有しよう」をテーマに、菅原裕典 R I 会長代理を迎えて開催。地区リーダー研修セミナーでは、タイを中心に 4 カ国を担当する第 3350 地区ガバナーの飯田光孝氏が日本の現状を憂え、ロータリーにできることを訴えました。記念公演では、パフォーマンス集団「會舞道郷人」が会津武士道を舞で披露。会津では 4 年ぶりの大会とあって、地元 10 クラブが総力を挙げて企画。20 年ぶりに開催された会員懇親会では、特産品の抽選に会場は最高潮の盛り上がりを見せ、その余韻を残しつつ閉幕しました。



## 第2540 地区

2022 年 11 月 12 ~ 13 日  
秋田キャッスルホテル  
ホスト 秋田港 R C

高崎恒夫ガバナー 2 日日本会議は、充実の講演が目白押し。高柳育行 R I 会長代理の講話「想い<sup>おも</sup>が変化を生む」は、ロータリーへの自身の思いに加え、当地区の活動にも触れ、参加者の感動を呼びました。また、よねやま親善大使の講話から、米山記念奨学事業への関心が高まったことは言うまでもありません。元文化庁の菊池健策氏の記念講演は当地の伝統行事とユネスコ無形文化遺産登録についてのお話。そのことにちなんで、大会中は地元の祭り、土崎神明社祭の曳山や人形の展示、お囃子の披露<sup>はやし</sup>などがあり、そのにぎわいを体感しました。



## 第2560 地区

2022 年 11 月 12 ~ 13 日  
ANA クラウンプラザホテル新潟ほか  
ホスト 新潟 R C

高橋秀樹ガバナー 山田邦子 R I 会長代理を迎えての大会。初日の地区指導者育成セミナーでは、第 1 地域ロータリーコーディネーターの橋岡久太郎氏が「ロータリー財団について」、さらに前米山記念奨学会副理事長の水野功氏が「米山記念奨学事業について」と題して講演。各事業への認識を深めました。2 日目の記念講演は、地域エコノミストで(株)日本総合研究所の主席研究員の藻谷浩介氏が「これからのニッポン、新潟の地域力を高める」と題して熱弁を振るい、参加者を鼓舞。その後の親睦交流会も大いに盛り上がりしました。



## 第2770 地区

2022 年 11 月 12 ~ 13 日  
さいたま市文化センターほか  
ホスト 浦和 R C

細淵雅邦ガバナー 服部良男 R I 会長代理を迎え、「ロータリーで人間力向上を！」をテーマに開催。初日の地区指導者育成セミナー、元 R I 理事・北清治氏の「ロータリーの主役はクラブ」では、地区内クラブによる R I 行動計画への取り組み事例が紹介され、大きな刺激を受けました。翌日の本会議は、ポリオ根絶をうたう赤い衣をまとった龍神に導かれて R I 会長代理が入場。雰囲気を一気に盛り上げました。記念講演は俳優・中村雅俊氏の「震災の女川 東北を忘れない」。東日本大震災の教訓を再認識することができました。





## 第2800地区

2022 年 11 月 12 ～ 13 日  
 荘銀タクト鶴岡ほか  
 ホスト 鶴岡 RC



佐藤孝子ガバナー 吉岡博忠 R I 会長代理を迎え、対面式では 3 年ぶりの大会。佐藤ガバナーは自身で掲げた地区の基本理念「ロータリーに夢を持って行動しましょう!!」を改めて呼びかけました。初日は第 2500 地区の足立功一 P G を講師に地区指導者育成セミナーを開催。翌日はロータリーのポリオ根絶大使を務めるジュディ・オングさんの記念講演「輝いて生きる」は一般公開され、サプライズで歌声の披露も。また、講演後のインターアクター、ローターアクターによるポリオ根絶募金では約 18 万円もの協力が得られました。



## 第2760地区

2022年11月12～13日  
愛知県国際展示場ほか  
ホスト 常滑RC



箆橋美久ガバナー 辰野克彦 R I 会長代理を迎え、対面式で開催。1 日目の青少年フォーラムでは 4 人の若者が熱い討論を交わし、会場を沸かせました。2 日目は会場を愛知県国際展示場へ移動。広い会場ではトヨタ自動車(株)による脱炭素の取り組みが紹介された他、地元特産品の販売ブース、友愛の広場が設けられ、大型展示会さながらのにぎわいとなりました。トヨタ自動車・内山田竹志氏の記念講演「2050 年カーボンニュートラル実現を目指して」では、車の開発だけでなく、発電を含めたエネルギーの在り方と方向性を学びました。

輝く若者をご紹介します! — NEW GENERATION — ニュージェネレーション

ロータリーのプログラムに参加している  
(参加経験のある)若い人たちを紹介  
します。皆さんの周りで輝いている  
若者を編集部までお知らせください。  
連絡先は下記メール、または  
横組みP45の投稿規定を  
ご覧ください。



編集部 [hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp)





# NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

## 美しい国に魅了された

米山奨学生 リハム アメン

私はパレスチナ人で現在、九州大学大学院で細胞生物学を学んでいます。年齢は34歳、夫と3人の子供がいます。このような状況で大学受験を試みるのはかなり無謀なことのように思いましたが、幸い、初めての挑戦で合格することができました。九州大学は医学と創薬科学の分野で世界トップクラスの大学の一つであり、最高の教育と研究施設を備えています。そのため、私が選んだ分野の専門知識が身に付き、母国ではできなかった多くの実験ができるようになりました。



パレスチナとは時差が7時間あるため、家族や友人と連絡を取るのが難しく、少し寂しいですが、さまざまな国から来ている奨学生と交流し、日本の生活や文化の話などをしながら友情を深めています。日本は平和な生活があるだけでなく、とても美しい国です。雨期のような梅雨、暑い夏の海、紅葉の秋、雪の降る冬。特に満開の桜に魅了されます。昨年10月には世話クラブの行事として、海に海藻を植える活動に子どもたちと参加し、11月は米山奨学生の旅行に家族で行きました。宮崎県の高千穂神社、高千穂峡、神楽の見学と、なかなかできない素晴らしい体験は、良い思い出になりました。

夫は東広島の大学に勤務。私は子どもの世話と研究を一人で両立させなければならず大変ですが、大学で研究を続け、できればいつかパレスチナに日本語や日本の文化を伝えるセンターをつくりたいと思っています。

パレスチナ・ガザ地区出身。九州大学大学院薬学府創薬科学専攻博士後期課程3年。奨学期間：2022年4月～23年9月。世話クラブ：宗像RC。趣味は料理。

## ネットワークのすごさ

ローターアクト<sup>あすか</sup> 原谷明子

私がロータリーの世界と出会ったのは2012年の春、高校入学と同時にインターアクトクラブに入会したのがきっかけでした。インターアクトという名前を聞いて、当初はどんな活動をしているのか分かりませんでした。が、奉仕を通じてたくさんの人と出会い、いろいろな活動を通じて学んでいきました。

そのつながりから、18歳の時にローターアクトクラブに入会し、ローターアクトやロータリアンと話をする機会が増え、さらに視野が広がりました。分からないことや悩みがあったら気軽に聞いて、親身になって教えてくれる。それがロータリーのネットワークのすごさだと、日々感じています。

特に私が地区ローターアクト代表を務めた際には、まだ知識が乏しかったため、いろいろな場面でみんなに知

恵と力を貸してもらいました。また、全国の同期代表とも仲良くなり、今でもよく行事と一緒に参加したり、遊びに行ったりする仲が続いています。

実は、体調を崩して仕事を一度辞めたことがありました。その時、ロータリアンに声をかけていただき、経営されている会社に就職することができました。今は設備関係の仕事をしています。

私はロータリーを通して多くの経験を重ね、学ばせてもらっています。今度はそれを私よりも若い世代にレクチャーし、サポートしていくことが使命であり、ロータリーへの恩返しだと思っています。



大阪府堺市在住。(株)大豊システム勤務。精華高校IAC元会員。松原RAC会長。2020-21年度第2640地区ローターアクト代表。RYLAセミナー参加5回。趣味はドライブ、旅行、音楽。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp



パズル制作／ニコリ

難易度 ★★★★★

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   | 2 |   |   |   | 5 |   |   |
|   | 4 |   |   |   |   |   | 7 |   |
| 7 |   |   | 1 |   | 6 |   |   | 3 |
|   |   | 7 |   | 5 |   | 9 |   |   |
|   | 6 |   |   |   |   |   | 2 |   |
|   |   | 8 |   | 4 |   | 6 |   |   |
| 8 |   |   | 3 |   | 7 |   |   | 6 |
|   | 9 |   |   |   |   |   | 1 |   |
|   |   | 3 |   |   |   | 4 |   |   |

## ルール

- ①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。0（ゼロ）は使いません。
- ②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

## 問題

二重枠に入った数の合計はいくつでしょう？

答え



## 机の上で 緑を育てよう！

毎月10人に  
頭から草がニョキニョキ  
「ヘアラボ」を  
プレゼント!!

◆パズルdeロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「2月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄（縦組み）に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。  
[rotary-no-tomo.jp/puzzle.php](http://rotary-no-tomo.jp/puzzle.php)



◆締め切り◆ 2023年3月10日（金）必着（当選発表は5月号）

●パズルdeロータリー（11月号）の答えと当選者は、横組みP44に掲載しています。

## 詰め将棋

王将

## 出題

日本将棋連盟  
佐藤 秀司 八段

## ヒント

上部へ逃がさない  
7手詰め 5分で1級

●詰め将棋の解答は、横組みP44に掲載しています。  
（※詰め将棋にはプレゼントはありません）

|   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |             |
|---|---|---|---|---|---|-------------|
| 一 | 飛 |   | 角 |   |   | 【持駒】<br>角 金 |
| 二 |   | 爵 | 王 |   |   |             |
| 三 |   | 零 |   | 卒 | 卒 |             |
| 四 |   |   |   |   |   |             |
| 五 |   |   |   |   |   |             |
| 六 |   |   |   |   |   |             |





\*アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）世界本部の所在地です

## R I 会長エレクトが2023-24 年度会長テーマを発表



スコットランドのサウスケイーンズフェリー・ロータリークラブ会員であるゴードン R. マッキナリー R I 会長エレクトは、1 月 9 日、アメリカで開催中の国際協議会で講演し、2023-24 年度会長テーマ「世界に希望を生み出そう（CREATE HOPE in the WORLD）」を発表。紛争の影響を受けている人々を助け、平和を推進し、過去のリーダーたちが始めた活動を引き継ぐよう会員に呼びかけました。「私たちの目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります」

### 平和の推進

マッキナリー氏は「世界に希望を生み出す重要な方法となるのは、平和に重点的に取り組むことだ」と述べ、過去 1 年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人々を支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及。ロータリーが人道的支援に力を入れたことで、ウクライナでのロータリー会員数は増えています。しかし、ウクライナだけでなく、イエメン、アフガニスタン、シリアをはじめ世界の多くの地域で平和が実現しない限り、本当の安らぎはないと指摘しました。

「平和とは、希望が根づくための土壌です」

継続の力についても強調し、過去のリーダーの取り組みを継続するよう会員に呼びかけ、自身も、シェカール・メータ 20-21 年度会長が立ち上げた「女兒のエンパワメント」を継続し、ロータリー全体で D E I（多様性、公平さ、インクルージョン）を強調し続けていくことを約束しました。

また、ポリオ根絶に関する、最近の一連の出来事にも触れました。過去 1 年間、世界各地でポリオ症例が再発しており、ロータリー会員がポリオ根絶活動をリードすることが今まで以上に重要となっています。現在、ポリオ根絶のために寄付している会員は約 12 人に 1 人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも 5 分の 1 を下回っています。マッキナリー氏は、「ポリオのない世界」を実現するために、各クラブに改めて緊急感を促すよう、ガバナーエレクトの協力を求めました。

### メンタルヘルスへの取り組み

マッキナリー氏はさらに、新型コロナウイルスの世界的流行によって深刻化しているメンタルヘルス面での影響について、ロータリー会員が人々に希望を与えるべきだと述べました。多くの人が家族を失い、社会的つながりを断たれ、特に若い人たちの教育や育成が妨げられています。その結果、世界でメンタルヘルスの問題に直面する人が増えています。しかし、助けを求めることは弱さの表れであると考えられることが少なくありません。「真実から目を背けることはできない。助けを求めることは勇気ある行動です。健康と幸せに至る道を求めることは、さらに勇気が要ることです」

次年度以降、ロータリーはメンタルヘルスの改善に取り組んでいくとマッキナリー氏は続け、ロータリーは会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として周知されるべきだと述べました。「他の人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのです」



世界に希望を生み出そう

講演の最後には、継続と革新の理想的なバランスについて述べました。「ロータリーは、平和、機会、生きる価値のある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化を積極的に受け入れ、自身とそれを取り巻く世界の平和に力を注ぐことで、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築くことができるのです」 -Rotary International

### 統計

全世界ロータリアン総数

1,195,863 人

クラブ数 36,697 クラブ

地区数 520 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 199,073 人

クラブ数 11,412 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 437,437 人

クラブ数 19,019 クラブ

国と地域 150 以上

2022 年 12 月 8 日現在

### 野生型ポリオウイルスによる症例数

掲載ウェブサイト：

G P E I（世界ポリオ根絶推進活動）

[polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/](https://polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/)（2022 年 12 月 13 日現在）

|      |         | 2022 年 | 2021 | 2020 | 2019 |
|------|---------|--------|------|------|------|
| 常在国  | パキスタン   | 20     | 1    | 84   | 147  |
|      | アフガニスタン | 2      | 4    | 56   | 29   |
| 非常国  | モザンビーク  | 8      | 0    | 0    | 0    |
|      | マラウイ    | 0      | 1    | 0    | 0    |
| 世界合計 |         | 30     | 6    | 140  | 176  |





RI 指定記事

## メルボルン国際大会

### 家族旅行は メルボルンで

5月27～31日に国際大会が開催されるオーストラリアでは、年齢、性別を問わず、誰でも楽しめるアクティビティーがあります。

ミュージアム・プレイ・アンド・アート（MoPA）は、絵が描けて、それが本物の自動車や高層ビル街のように見える遊び場などがあり、1～7歳向けです（要予約）。

シーライフ・メルボルン水族館では、魚やワニの餌やりや、サメやエイを間近で見ることができます。スキューバを着込んで、ペンギン舎の氷上でペンギンたちと触れ合うことも。臨場感あふれる展示では、何千匹ものクラゲに（安全な環境で）取り囲まれる体験も味わえます。

ロータリー主催のファミリー向けツアーもお見逃しなく。帆船体験では、ヤラ川沿いの大会会場近くの埠頭から、ポート・フィリップ・ベイに向けて出航。川沿いに登場する観光名所について学んだり、乗組員と会話を楽しんだり、伝統料理を満喫したりできます。

メルボルン動物園の舞台裏体験もお勧めです。2時間のガイド付きウォーキングツアーの情報と予約は [rotarymelbourne2023.org/tours](http://rotarymelbourne2023.org/tours) をご覧ください。

— Eva Remijan-Toba

国際大会の参加登録はこちら  
[convention.rotary.org/ja](http://convention.rotary.org/ja)



RI 指定記事

## ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

### 平和構築のために活動する世界的な団体

ロータリーの魅力の一つに、さまざまな性質を持ち合わせているという点が挙げられます。ロータリーは行動が信条の奉仕団体です。同時に、友人たちとの楽しい交流の場であることは言うまでもなく、職業上の、そして地域社会におけるネットワーキンググループでもあります。

そして、考えてみると私たちは平和組織の一員でもあります。2013年に私は、ミャンマーの平和的な民主主義への移行を推進する国際シンポジウムに、ロータリーを代表して出席しました。事態が後退する出来事があったにもかかわらず、ロータリーがこうしてシンポジウムに参加していたことは、ロータリーがどんなに困難な問題でも恐れずに立ち向かう平和構築者として世界に認められていることの表れです。この信頼はどのように積み重ねられてきたのでしょうか。答えは、人々の知性と見解を深めるリテラシープロジェクトにあります。水と衛生プロジェクトでは、紛争地帯に暮らす人々に共通の立場をつくり出しました。平和のためのロータリー行動グループは実践的な奉仕プロジェクトを推進しており、国際大会では参加者が一堂に会して世界の調和を称賛しています。

おそらく、この分野で最も際立つのは、現在21年目を迎えているロータリー平和センタープログラムでしょう。現在、140カ国以上で1,600人以上のロータリー平和フェローが世界平和を推し進めています。2月1日には次世代の平和フェローの願書受け付けが始まります。地元の平和構築家にロータリーについて知ってもらい、この比類ないプログラムへの応募を勧めましょう。今年は、先日選ばれたパートナー大学との協力を開始するに当たり、近々中東と北アフリカ地域の新しい平和センターのフェローを募集する予定です。オットー＆フラン・ウォルター財団からロータリー財団への1,550万ドルの寛大な寄付によって実現したこのセンターは、ロータリーの平和構築のビジョンを実践的に推進しています。

ロータリー118周年、そして平和構築と紛争予防月間の今月、ロータリーが多くの方法で平和を促進していることを誇りに思いましょう。ロータリー財団なくして、そして皆さまのご支援なくして、こうしたことは何一つ実現しなかったのです。[rotary.org/donate](http://rotary.org/donate) にアクセスし、「活動分野」→「平和の推進」を選択すると、財団を通じて直接この活動を支援できます。また、平和プロジェクトを支援するために、ロータリー財団のイアン＆ジュリエット・ライズリー冠名基金に寄付することをお勧めします。

ボール・ハリスが今、私たちを見ることができれば、1905年に彼が設立した小さなクラブが、こうして全世界に善と平和をもたらす組織へと驚異の成長を遂げたことに、きっと感嘆することでしょう。

IAN H.S. RISELEY

2022-23年度ロータリー財団管理委員長

Illustration by Viktor Miller Gausa





## 地区別クラブ数・会員数一覧表

(2022年11月末現在)

| 地区        | R C 数 | 会員数    | 21 年11 月末<br>会員数 |
|-----------|-------|--------|------------------|
| 第 2500 地区 | 66    | 2,246  | 2,211            |
| 第 2510 地区 | 69    | 2,429  | 2,465            |
| 第 2520 地区 | 77    | 2,100  | 2,180            |
| 第 2530 地区 | 63    | 2,233  | 2,249            |
| 第 2540 地区 | 40    | 1,130  | 1,133            |
| 第 2550 地区 | 48    | 1,666  | 1,689            |
| 第 2560 地区 | 54    | 2,015  | 2,042            |
| 第 2570 地区 | 50    | 1,595  | 1,584            |
| 第 2770 地区 | 74    | 2,354  | 2,371            |
| 第 2790 地区 | 82    | 2,710  | 2,696            |
| 第 2800 地区 | 49    | 1,519  | 1,532            |
| 第 2820 地区 | 55    | 1,873  | 1,868            |
| 第 2830 地区 | 40    | 1,120  | 1,134            |
| 第 2840 地区 | 45    | 2,080  | 2,088            |
| 第 2580 地区 | 70    | 2,934  | 2,871            |
| 第 2590 地区 | 52    | 1,874  | 1,900            |
| 第 2600 地区 | 53    | 1,889  | 1,925            |
| 第 2610 地区 | 64    | 2,529  | 2,550            |
| 第 2620 地区 | 75    | 2,881  | 2,867            |
| 第 2630 地区 | 73    | 3,094  | 3,096            |
| 第 2750 地区 | 98    | 4,615  | 4,597            |
| 第 2760 地区 | 84    | 4,684  | 4,735            |
| 第 2780 地区 | 67    | 2,334  | 2,276            |
| 第 2640 地区 | 65    | 1,609  | 1,652            |
| 第 2650 地区 | 96    | 4,339  | 4,371            |
| 第 2660 地区 | 79    | 3,530  | 3,514            |
| 第 2670 地区 | 74    | 2,914  | 2,933            |
| 第 2680 地区 | 70    | 2,551  | 2,620            |
| 第 2690 地区 | 65    | 2,883  | 2,958            |
| 第 2700 地区 | 60    | 3,114  | 3,107            |
| 第 2710 地区 | 72    | 3,179  | 3,161            |
| 第 2720 地区 | 74    | 2,379  | 2,385            |
| 第 2730 地区 | 68    | 2,369  | 2,369            |
| 第 2740 地区 | 55    | 2,109  | 2,105            |
| 34 地区合計   | 2,226 | 84,880 | 85,234           |

日本のロータリー  
会員数 84,602 人

クラブ数 2,217

(左の表中 34 地区合計から、  
第 2750 地区の P B グループ  
を引いた数です)

ガバナー月信より 2750 ク  
ラブ数・会員数は、P B グル  
ープ 9 R C 278 人 (北マリア  
ナ諸島・グアム・ミクロネシ  
ア・パラオ)を含みます。P  
7「日本のロータリー」数は  
34 地区合計から P B グル  
ープを引いた数。21 年 11 月  
末 P B グループ 9 R C 会員  
数 276 人。

地区会員数修正 本誌 1 月  
号横組み P52(10 月末)表中、  
2840:2,074 人、34 地区合  
計会員数:84,744 人、表外  
と P10「日本のロータリー」  
最終行会員数 84,465 人。

ご案内 左記一覧表は、3  
つの地域順で色分けしてあり  
ます。表中の左端の色と、横  
組み P 43 奥付の日本ロータ  
リー分布図の色を対照し、ご  
覧ください。

\*『友』ウェブサイトの「ロー  
タリー資料館」にデータ修正  
後の表を掲載しています。

ロータリーの友  
Home Page  
www.rotary-no-tomo.jp

### 新クラブ

浜松志耀 (2620・静岡県)

2022 年 10 月 26 日承認 会員数:24 人

例会日:第 2・4 木 7:30

例会場:オークラアクティビティホテル浜松

事務所:〒430-0808 浜松市中区天

神町 21-23 田淵邦彦写真事務所内

会長:小澤邦比呂 幹事:田淵邦彦

東京イマジジジョイナス (2750・東京都)

2022 年 11 月 14 日承認 会員数:21 人

例会日:第 1・3 金 12:30

例会場:第 1 帝国ホテル東京 / 第 3

オンライン

事務所:〒107-0062 港区南青山 2-

17-3 モーリンビル 401

会長:富倉 進 幹事:荒井路子

### ロータリー衛星クラブ

大阪西南ステラ (2660・大阪府)

2022 年 11 月 2 日認可 会員数:9 人

スポンサークラブ 大阪西南

例会日:第 1・3 水 18:30

例会場:リーガロイヤルホテル

事務所:〒530-0005 大阪市北区中之

島 5-3-68 リーガロイヤルホテル 416

号室 大阪西南 R C 気付

議長:成田博美 幹事:坂口雄哉

\*\*\*\*\*

### 2023 - 24 年度版

### ロータリー手帳ご予約受付中



詳細は 2 月 1 日  
付でロータリーク  
ラブにお送りした  
ご案内状を、ご覧  
ください。ご注文  
は、ロータリーの

友ウェブサイトで  
承ります。在庫がある限りの受け付け  
となりますので、お早めに。

定価 660 円 (本体価格 600 円 送料別)

### ロータリーの友

3 月号主要記事予定

横組み 特集 地域の森を活用しよう

ロータリーと歩むローターアクト

縦組み 震災から復興へ 発酵で町づくり

(株) 八木澤商店取締役 河野通洋

この人訪ねて 萩原勇作さん (佐倉中央 R C)



### ◆お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

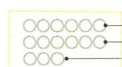
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

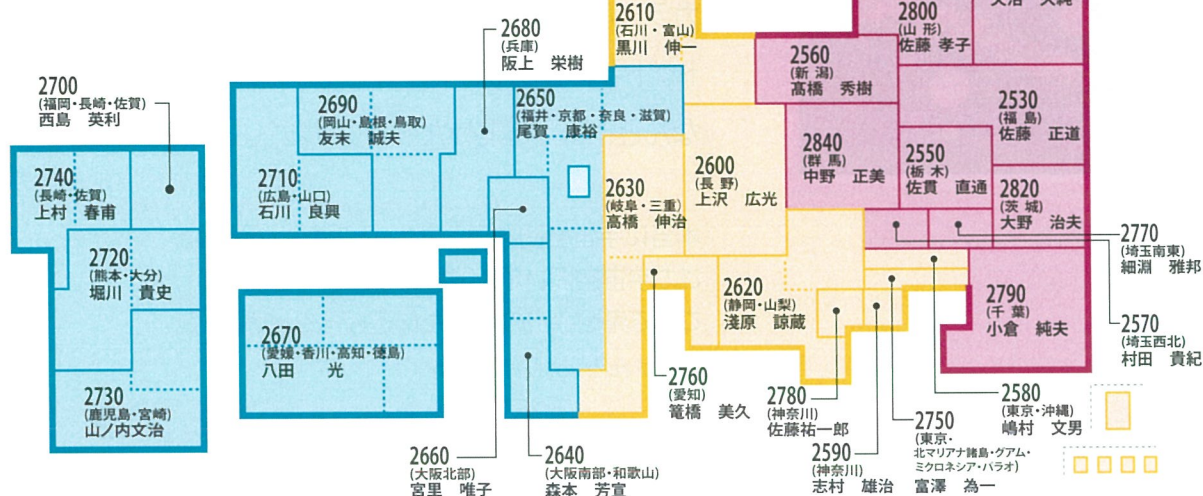


日本ロータリー一分布図  
ROTARY DISTRICTS



地区  
テリトリー  
ガバナー名

■ ロータリーの友ウェブサイト [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) に  
各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



## ロータリーの友委員会

|        |              |
|--------|--------------|
| 委員長    | 高野孫左衛門（甲府）   |
| 副委員長   | 鈴木 一作（寒河江）   |
| R I 理事 | 佐藤 芳郎（岡山南）   |
| 特別顧問   | 片岡 信彦（土浦南）   |
|        | 橋本 長平（京都東）   |
|        | 清水 良夫（横浜）    |
|        | 片山 主水（名古屋東南） |
|        | 鈴木 宏（宇都宮北）   |
| 顧問     | 矢口 信哉（東横）    |

## 顧問

小林聰一郎 (甲府北)  
塚崎 寛 (長崎中央)  
栃木 一夫 (東京北)  
宮崎陽市郎 (東京三鷹)  
神崎 正陳 (茅ヶ崎湖南)  
上野 孝 (横浜)  
安平 和彦 (姫路)

## 地区代表委員

2500 井内 正樹 (旭川西)  
2510 伏木 淳 (札幌西)  
2520 藤原 繁 (盛岡南)

2530 星 富士雄 (喜多方)  
2540 山本 隆弘 (秋田港)  
2550 天川 主税 (宇都宮隔東)  
2560 小林 悟 (新潟)  
2570 齊藤 勇司 (鶴ヶ島)  
2770 山内 一浩 (浦和)  
2790 中澤 雅彦 (松戸)  
2800 菅原 成規 (鶴岡)  
2820 菅原 俊 (つくば学園)  
2830 石川佳共子 (青森)  
2840 岡部 幹雄 (前橋)

|      |       |         |
|------|-------|---------|
| 2580 | 佐藤 文則 | (東京四谷)  |
| 2590 | 伊藤道一郎 | (川崎南)   |
| 2600 | 小林 晃  | (須坂五岳)  |
| 2610 | 芝田 実  | (富山南)   |
| 2620 | 成田 伸行 | (長泉)    |
| 2630 | 山田 清秀 | (岐阜)    |
| 2750 | 金澤 洋  | (東京新橋)  |
| 2760 | 尾本 和弘 | (名古屋東南) |
| 2780 | 端山 創之 | (藤沢西)   |
| 2640 | 榎谷 知樹 | (和歌山北)  |
| 2650 | 赤井 紀之 | (近江八幡)  |

|           |    |     |         |
|-----------|----|-----|---------|
| 2660      | 青山 | 快玄  | (大坂北梅田) |
| 2670      | 真屋 | 正明  | (高松北)   |
| 2680      | 木本 | 玲子  | (宝塚)    |
| 2690      | 福原 | 徹   | (津山)    |
| 2700      | 藁田 | 二三男 | (小倉南)   |
| 2710      | 戸倉 | 茂雄  | (徳山)    |
| 2720      | 山角 | 智秀  | (熊本西陵)  |
| 2730      | 尾形 | 栄   | (延岡)    |
| 2740      | 牟田 | 清敬  | (佐賀)    |
| 編集長 野崎 恭子 |    |     |         |

月刊  
ロータリーの友

第71卷 2月号

2023 年 1 月 31 日印刷  
2023 年 2 月 1 日發行

定価 275 円  
(本体価格 250 円 送料別)

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店  
口座番号 (普通) 7450015  
郵便振替 口座番号 00180-8-694591  
印刷 大日本印刷 (株)  
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人  
ロータリーの友事務所

■ 社

佐藤 芳郎 (岡山南)  
嶋村 文男 (東京東江戸川)  
富澤 為一 (東京品川)  
佐藤祐一郎 (津久井中央)  
宮里 唯子 (茨木西)

## ■ 理事会

代表理事 高野孫左工門（甲府）  
理事 鈴木 一作（寒河江）

理事

片岡 信彦 (土浦南)  
橋本 長平 (京都東)  
清水 良夫 (横浜)  
片山 主水 (名古屋東南)  
鈴木 宏 (宇都宮北)  
矢口 信哉 (東根)  
小林聰一郎 (甲府北)  
塚崎 寛 (長崎中央)  
栃木 一夫 (東京北)  
宮崎陽市郎 (東京三鷹)  
横山 武志 (東京北)  
恵川 一成 (大宮シティ)

理事

|    |            |
|----|------------|
| 羽田 | 伊助 (東京目黒)  |
| 慶野 | 保夫 (小山中央)  |
| 野中 | 茂 (川崎)     |
| 榊原 | 一久 (東京豊島東) |
| 渡辺 | 誠二 (東京みなと) |
| 野崎 | 恭子         |

監事

宮嶋 康明 (新千葉)  
高野伊久男 (横浜西)

## ■ 眞實

|     |              |
|-----|--------------|
| 所長  | 渡辺 誠二（東京みなと） |
| 副所長 | 渡辺 剛         |
| 編集長 | 野崎 恭子        |
| 編集  | 稲川やよい        |
|     | 黒野 稯二        |
|     | 山名 愛         |
|     | 飯田亜由香        |
|     | 熊谷健太郎        |
| 管理  | 富澤 美子        |
|     | 半田 弥生        |
|     | 草野 淑美        |

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階  
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956  
編集部メール [hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp) (本誌の内容・投稿)  
管理部メール [keiri@rotary-no-tomo.jp](mailto:keiri@rotary-no-tomo.jp) (購読・注文)

ロータリーの友   
Home Page   
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)



●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください  
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



## 表紙について — 今年度は多才な障害者アートをお届けします

イラストレーション

渋谷区くるるえびす  
チームくるるえびす



### 「金棒ロケット」

みんなで色を塗った紙を  
ペタペタ、ペタペタ貼り合わせ、  
カラフルな鬼の金棒が出来上がり。  
トゲトゲの部分は、  
なんと、公園で集めたドングリたち。

本当に宇宙空間を漂うロケットみたいですね。  
この宇宙空間、実は作業場の床なんです(笑)。  
これで鬼も宇宙のかなたに逃げることでしょう。

アートディレクション/五十嵐仁之

## パズルdeロータリー 11月号の答え

正解は  
「3つ」



### ■解説

文字の中に、周囲を線で囲まれた部分があるかを数えていた。「あ」に2つあり、「ぱ」に1つあるので、合計3つになる。

応募総数 104人 正解者 81人

当選者(敬称略・順不同)／澤田昌文(尾道RC)、山村明(米沢おしょうしなRC)、杉村雅男(静岡東RC関係者)、坂口義孝(鳥栖RC)、木村譲(三条南RC)、安井健次(岡崎東RC)、柳本大輔(西尾KIRARA RC)、難波稔(岡山城RC)、佐々木忠彦(武生RC)、桑田徹也(江田島RC)

### ◆ P39 詰め将棋の答え ◆

▲2二角成△同玉▲1一角△3二玉  
▲2一飛成△同玉▲2二金まで  
7手詰め

この問題に関するお問い合わせは、往復はがきに、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-39-9(公社)日本将棋連盟普及課ロータリーの友詰め将棋係までお送りください。

| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   | 王 | 角 | 一 |
|   | 将 |   | 金 |   | 二 |
|   | 歩 |   | 歩 | 歩 | 三 |
|   |   |   |   |   | 四 |
|   |   |   |   |   | 五 |
|   |   |   |   |   | 六 |

【持駒】なし

### ◆ 解説 ◆

3三に玉が逃げられますと捕まらなくなるので工夫が必要です。▲2二角成と捨てて▲1一角と打つのが「打ち換え」と言われる手筋。これで3三からの脱出は阻止しました。△3二玉に対して▲2一飛成がトドメの一手。△同玉に▲2二金の「頭金」で詰みとなりました。





## ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定

### 友愛の広場 ★

- ・ エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など。

原稿：1,000 字以内 写真：あれば添付

### ロータリー・アット・ワーク写真編 ★

- ・ ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。活動後 1 カ月以内にご投稿ください。

原稿：150 字程度（必ず活動日を入れてください）

写真：集合写真、カメラ目線の撮影以外で、活動の様子が分かるもの

### ロータリー・アット・ワーク文章編 ★

- ・ 紹介内容は写真編と同じ。活動後 1 カ月以内にご投稿ください。

原稿：600 字以内 写真：あれば添付(写真編に同じ)

### ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・ 1 人 1 カ月にはがき 1 枚 3 句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。歌壇・柳壇は、友ウェブサイトの投稿フォームからも受け付け可。

### 私の一冊 ★

- ・ 会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）をお願いします。

原稿：320 字以内。原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を付記してください。

### うちの子 ★

- ・ 自慢のペットを写真で紹介。

原稿：100 字以内（ペットの名前を明記してください）

写真：ペットそのもののアップの写真

### パズル de ロータリー ★

- ・ 2 種類の問題（数独、パズル）を毎号順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは原則、発行月翌月の 10 日。

### 内外よろず案内

- ・ 会員間の趣味の交換、催し物の案内など。

原稿：200 字以内。資料があればお送りください。

### 声 ★

- ・ 『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の 10 日締め切り。

原稿：150 字以内。対象記事を明記してください。

★は友ウェブサイトの投稿フォームでも受け付けています

### 情報もお待ちしています！

#### NEW GENERATION

- ・ ロータリーのプログラムに参加している（参加経験のある）若い人たちを紹介。推薦対象者（インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼します。

#### 特集記事

- ・ ウェブサイトで特集記事の情報を募集することがあります。チェックしてください。

#### 『クラブ週報』『クラブ会報』

- ・ 「卓話の泉」掲載用として、クラブの『週報』『会報』を継続してご送付ください。メール配信のクラブは、メーリングリストに友編集部メール（hensyu@rotary-no-tomo.jp）を加えてください。紙のみで発行のクラブはご郵送ください。

※投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます。

※写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、（一社）ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載する場合があります。

※掲載は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後 6 カ月をめどにご判断ください。

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友  
Home Page

[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)



送り先・お問い合わせ

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15  
黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958

E メール [hensyu@rotary-no-tomo.jp](mailto:hensyu@rotary-no-tomo.jp)

ロータリーの友ウェブサイト投稿フォーム

[www.rotary-no-tomo.jp/form.php](http://www.rotary-no-tomo.jp/form.php)



# 声

11月号の  
感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

## 【対象記事】

特集・ロータリー財団月間「冠名基金ってなに?」(横 P 14~17)

【感想】ロータリーで「〇×基金に協力を」と聞けば、できるだけ協力してきましたが、冠名基金は初めて耳にしました。2万5000ドル以上は少しハードルが高いですが、考えてみようと思います。

米子中央RC 都田 修史

## 【対象記事】

「A capital destination 向かう先はメルボルン」(横 P 18~25)

【感想】食の都、文化の都、スポーツの都、ショッピングの都、どれも魅力的で、トラムに乗っている回ってみたいものです。個人的にはアルバートパーク湖周りのゴルフコースにも行ってみたいです。

板柳RC 太田 昇

## 【対象記事】

清水ヶ丘学園IACの「インターアクター 政治の仕組みに触れる」(横 P 26~29)

【感想】素晴らしい企画だと思えます。若者にとってこそ政治が身近なものであるべきです。もっともっとこの輪が広がることを期待します。

浜松東RC 松野本祐司

## 【対象記事】

特集・バックナンバーでたどる『友』70年 1970~80's 「女性入会への道筋」(横 P 38~39)

【感想】現在の一般的なロータリークトでは男女が自然に共存し、役職に就く際も性別は関係ありません。ロータリーへの女性の入会に関して、当時の記事には裁判所、違法、審議といった文字が並んでいて、驚きました。しかし、いまだに女性がいなくても、入会を拒否しているクラブもあると聞きます。いろいろなクラブがあってもよいと思いますが、現代において、女性の入会を拒む意味はあるのでしょうか?

静岡RAC 富永 里紗

## 【対象記事】

フッドフォースト⑤「異国生まれの日本育ち」(横 P 42~43)

【感想】おながが減り始める17時前後に読んでいたら、何か食べたくなりました。

帯広西RC 辻田 茂生

## 【対象記事】

スピーチ・中山理氏の「人との出会い人とのつながり」(縦 P 4~8)

【感想】『ウェルビーイング』の実現を目指す皆さん、よく生きている皆さんは、他者への貢献の仕方を持っている」との言葉に、感銘を受けた。

徳島RC 杉原 孝典

## 【対象記事】

この人 訪ねて・札幌幌南RC・羽部大仁さん(縦 P 9~12)

【感想】70歳を過ぎて英会話に挑戦するなど、すご過ぎます! 私もまだまだやれる、と感銘を受けました。

横手RC 高橋 喜晃

## 【対象記事】

卓話の泉・郡山アーバンRC・井上厚氏の「今どきの探偵業」(縦 P 13)

【感想】なかなか知り合えない業種の方の話なので、目に留まりました。もっとダイクな職業と思っていましたが、やはり法令の下に働いているのだと、改めて理解できました。

三条南RC 木村 譲

## 【対象記事】

ロータリー歌壇(縦 P 14~15)

【感想】上野東RC・長谷川真嗣氏の作品「長男は控え選手で三年間最後の試合妻と観戦」に涙が出た。

豊川宝飯RC 樺山 修一

## 【対象記事】

友愛の広場・斜里RC・武藤香苗氏の「知床遊覧船事故と献花に思う」(縦 P 16)

【感想】心痛む事故でした。プロの業者なら予見できた状況にもかかわらず、あのような惨劇となりました。ロータリーのお仲間が献花台を設営されたとのこと。そのような行為を自然に体现できる。素晴らしい話でした。

浜松南RC 鈴木 基義

●本文150字以内 本文とは別に、対象記事名(例…○月号「友愛の広場」、○さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトにて!





宇部西RCの金子淳子さんが素晴らしい講演

ぶりに再開することにしました。

11月26日に広島市で開催し、パストガバナーをはじめ5人の来賓と、地区内から女性会員72人が集まりました。今回が第15回。趣旨は会員増強策の模索に加え、自己研さんと、親睦を図ること。当日はまず、『ロータリーの友』21年8月号の「この人訪ねて」で紹介された当地区・宇部西RCの金子淳子さんの講演「子どもの居場所づくりと人と人をつなぐ」に耳を傾けました。

懇親会では、低塩・高カリウム（食塩相当量2.3<sup>g</sup>、カリウム2.9<sup>g</sup>）のメニューを用意し、おいしくて、体にも良い食事をいただきました。

その後、事前に行ったアンケートを基にディスカッション。今後の「集い

の在り方などを話し合いました。

まとめとして①女性会員数の目標としてまずは10割を目指す、②「女性ロータリアンの集い」を来年度も開催する、③今年5月に開催予定のG7広島サミットで提供される料理として「おいしい低塩・高カリウム料理」を提言する、の3件を決議・採択しました。

最後に記念撮影を行い、今回の集いが女性会員の増強へとつながるきっかけになればと期待しつつ、刺激的で楽しい会はお開きとなりました。

（柳井西RC 秋田京子・記）

## フェアトレード商品で 貧困家庭支援

岡山西南ロータリークラブ  
第2690地区・岡山県

岡山市には、児童扶養手当や就学援助などを受けている人を対象に、食料品や日用品を支援する公共冷蔵庫「北長瀬コミュニティフリッジ」があります。人目を気にせず利用できるよう

ショッピングモールの片隅にあり、24時間いつでも、電子キーロックを解除して入室し、支援を受けることができます。現在450世帯を超える利用者があり、支援者は1000組を超えるそうです。



支援品を寄贈し、施設の説明を受ける会員たち

当クラブが提唱している岡山県立興陽高校IACは毎年、高校の文化祭でバザーを開き、チョコレートやカレーなどのフェアトレード（公正な貿易）認証を受けた商品を販売しています。その際の売り上げは、日本赤十字社や人道支援団体のAMD<sup>アムダ</sup>Aに寄付してきました。そこで、当クラブも興陽高校IACに倣ってフェアトレードによる食品を購入し、11月26日、インターアクターたちと共に、「コミュニティフリッジ」に届けてきました。

当日は、設備運営のスタッフから県下の貧困家庭の現状やその支援についての説明を受けました。支援者から寄せられた大量のお米を、1<sup>キログラム</sup>ずつ小分けにする作業も手伝ってきました。

日本の子どもの約7人に1人が貧困

下にあるといわれていますが、「相対的貧困」は目に見えません。望まず食事を抜く子どもの存在を、クラスメートもなかなか気付いてあげることができません。目には見えにくい格差を感じ、ロータリアンがいかに奉仕をしていくのか、深く考える機会になりました。

### Annotation

#### 地区補助金 (District Grants)

ロータリー財団の使命を支える、比較的短期で小規模のプロジェクトに使用できる補助金です。人道的支援や奨学金、青少年プログラム、職業研修チームの派遣など幅広く活用できます。

#### 米山奨学生

ロータリー日本国内全地区合同プロジェクトである、米山記念奨学事業の奨学金を受ける学生たちのことです。対象は日本で学ぶ外国人留学生で、各奨学生には世話クラブが選ばれ、会員の1人がカウンセラーとなって日常の相談役となります。

#### インターアクトクラブ (Interact Club)

学校や地域社会での課題に取り組むため結束する12〜18歳の青少年のためのクラブです。その主な目的は、奉仕活動を行い、リーダーシップのスキルを身に付け、新しい友人をつくることです。





八田ガバナーの始球式でスタート

した。われわれにとっても、米山奨学生やインターアクトの意見や本音を聞くことができ、今後の活動の参考になりました。

### 3年ぶりに

### 選抜野球大会を開催して

松山南ロータリークラブ

第2670地区・愛媛県

野球を愛する全国のロータリアンが集う第17回「グレン&千杯 田中作次旗 ロータリー選抜野球大会」を、当クラブがホストを務め、10月21〜23日に地元・松山市で開催しました。

2004年、当時のグレン・エステス国際ロータリー（R）会長と千玄室R理事から記念カップを頂き、松山でスタートした大会です。12

13年度には、田中作次R会長から優勝旗が贈られ、幾度も逆境を乗り越えつつ、今日まで継続してきました。

前夜祭には、八田光ガバナーと全国16クラブから集った選手をはじめ、副知事や松山市長らも出席。3年越しの開催とあって、コロナ禍によって、どれだけ皆さんが大変な思いをされたことか……と互いを思いやり、友情を温めました。失われたものもあり、当たり前のことが当たり前のようにならなくなっていました。しかし、ロータリアンとしての確かな気質と、この時代を生きる思いを持って、必ず困難を乗り越えていくという覚悟を持つ同志たちと、野球を通じて結束を固めていたのではないかと思います。

大会初日は八田ガバナーの始球式でスタート。2日間にわたる熱戦の末、今年度でRからの脱会が予定されているという八尾東ロータリークラブ（RC、大阪府）が優勝し、有終の美を飾りました。準優勝はわがクラブ。3位は鹿沼RC（栃木県）と八代RC（熊本県）という結果でした。

大会は10月24日の世界ポリオデーの直前とあって、ロータリアンらしく前夜祭で寄付を募りました。ポリオ根絶への思いも含め、仲間たちが同じ志をもって過ごした3日間でした。

（浮田宏行・記）

### 未来につなぐヒノキの植樹

岡山城ロータリークラブ

第2690地区・岡山県

当クラブは2019年、創立30周年記念事業として、桃太郎伝説の起源ともいわれる吉備津彦命を主神とする、吉備津神社の敷地内で、岡山市立鯉山小学校の6年生と一緒に植樹。以来毎年、同校6年生と植樹を続けています。

4回目となった昨年11月4日の植樹では、ロータリーの公共イメージ向上と認知度を高めようと、ロータリーデーとして実施。岡山市教育委員会の後援を受け、報道機関にも取材に来てもらって、ヒノキの苗木50本を植えました。

国宝である吉備津神社本殿の檜皮葺



50年後を見据えて、子どもたちと植樹

きの屋根は、50年に一度葺き替えられます。葺き替えには樹齢70〜80年のヒノキの成木が約2万本必要とされており、この事業は、地元で生まれ育った子どもたちが将来、自分たちで植えたヒノキで国宝の屋根を葺き替えられる様子を見届けてほしい、という願いから着手しました。さらに、ふるさとを愛する心、森林保全への気持ちや育み、地域のために役立つ人になってくれるよう期待しています。

事業開始の翌年から新型コロナウイルスが流行し、学校行事の多くが中止となりました。当時の児童からすれば、ヒノキの植樹は数少ない野外学習の機会となったようです。児童たちの思い出づくりになればと、事業は今後も続けていく計画です。

（網島良・記）

### 女性ロータリアンの集いを再スタート

第2710地区

広島県・山口県

当地区は昨今、会員増強において低迷が続く、さらに女性会員の占める割合は約6割にとどまっています。そこで、女性の会員割合を世界平均の20割以上に少しでも近づけるべく、2018〜19年度以降、休止していた「女性ロータリアンの集い」を久し



その年度の11月9日に急逝され、計画を再考せざるを得なくなり、師の一周忌までに顕彰碑を建立することを思い立ちました。

建立に向け、長年にわたり師と親交のあった美術家・横尾忠則氏の協力を得ようと手紙を書いたところ、「そちらの計画通りに進めてください」と快諾していただき、全会員とも大感激。横尾氏の作品から2009年10月4日、日本経済新聞掲載の「奇縁まんだら」のために描かれた作品を提供していただくことに決まりました。

師の肖像画を鳴門市の陶板名画美術館「大塚国際美術館」の作品を手掛ける企業で陶板に写してもらい、長い期間を経て色あせない記念碑の核となりました。さらに、土を強く突き固める版築という手法を用い、師の生涯を、10年を一層として10層で表現。そうして晴天で迎えた11月5日の除幕式。「瀬戸内寂聴生誕百年記念碑」として、徳島市へ寄贈することができました。

## オレンジ色のおんがく祭

高槻東ロータリークラブ  
第2660地区・大阪府

すがすがしい秋晴れとなった10月30日、約22haの敷地を有し、緑あふれる安満遺跡公園を会場に、当クラブは地



オレンジリボン運動推進のためコンサートを開催

区補助金事業として「オレンジ色のおんがく祭」を開催しました。

児童虐待防止を目的とする「オレンジリボン運動」を普及させるため、全国でゴスペル音楽による活動「オレンジゴスペル」が展開されており、今回はこの活動を主軸に、多彩なアーティストや一般募集の歌い手を迎え、啓発イベントとして実施しました。実はこのイベントは3年ぶり3回目。新型コロナウイルスの流行に伴う自粛期間を経て、国の定める11月の「児童虐待防止推進月間」を前に、初めて屋外での開催となりました。

児童虐待は、殴る、蹴るといった身体的なものばかりでなく、ネグレクト（育児放棄）や言葉による暴力など心理的なものも含まれます。また、児童虐待死のうち、親子心中の件数も決

して少なくないとされ、加害者側である大人たちも社会における被害者である、との見方も捨てられません。

そこで、子育て世代の親たちが独りで悩みを抱えないよう、ステージ上で専門家によるディスカッションを行ったり、子育て応援ブースとしてテント会場を設けて気軽に相談できる場を提供したりしました。

子どもたちに囲まれ、芝生の上で食事しながらステージを見上げる家族連れ。にこやかに音楽を聴いたり、専門家の話に耳を傾けたりしていました。忙しい日常から離れ、家族で温かく有意義な時間を過ごしてくれたなら、こちらもうれしい限り。そんな期待を胸に、今回のイベントを終えました。（朝香光雅・記）

## 在大阪ベトナム領事を迎え交流例会を開催

神戸垂水ロータリークラブ  
第2680地区・兵庫県

10月20日、在大阪ベトナム総領事館のレ・フイー・ホアン臨時総領事とグエン・ミン・ソン領事を例会に招待したのに合わせ、当地区のベトナム出身の米山奨学生5人とそのカウンセラー、さらに当クラブ提唱の神戸国際大学附属高校インターアクトクラブ（IAC）

の6人と顧問教員2人も招き、交流例会として開催しました。

会場はライトアップされた明石海峡大橋が見えるホテル。各奨学生が自己紹介や今後の目標について語った後、ホアン臨時総領事からは日本とベトナムについて、古くは奈良時代の渡来僧から相互に深い交流があるとの卓話を聴きました。奨学生たちも知らなかったエピソードが多く、留学生活にも有益な情報でした。

続いて、米山奨学生5人、ホアン臨時総領事とソン領事が「日本とベトナムのために為すべきことは何か」をテーマにディスカッション。最後はインターアクトから奨学生や領事らに「日本人のいいところ、よくないところ、と思うところは何か」といった質問も出て、非常に意義深い交流ができました。



両国の交流について語ったホアン臨時総領事





視察当日はハロウィーン&amp;誕生日会

ここでは企業などの支援を受け、(公財) すみれ学級が運営する食堂で、県下に計6カ所(大分市3、別府市2、豊後大野市1の各所)があります。

今回訪問したすみれ学級(数戸教室・進学教室)は、月曜から土曜の午後5時から8時まで開かれ、夕ご飯を提供し、集まった小中学生に大分大学の学生が勉強を教えてくれています。学習指導は大分大学経済学部のカリキュラムに組み込まれているとのこと。学生たちは別府市内の学級でも教えているそうです。

視察当日はハロウィーンでもあり、飾り付けされた明るい雰囲気の中で、中学生5人、小学生1人が、大生3人と一緒に勉強していました。毎月末には誕生日会が開かれるそうで、この日のメニューはカレーライスでした。

た。子どもたちが楽しそうに夕ご飯を食べ、勉強に取り組んでいる姿が印象的でした。

一方で、子ども食堂は貧困層の支援を目的の一つに掲げていることから、体面を気にして子どもを通わせない保護者もいるそうで、「支援の手が届かない子どもさんもいる」というスタッフの悩みも耳にしました。こうした課題の解決には、この学級のような草の根の活動に対し、支援の輪を広げることが大事だと、切に感じました。

## 古民家の再活用から 街の課題を考える

龍野ロータリークラブ  
第2680地区・兵庫県

10月27日、たつの市龍野重要伝統的建造物群保存地区で、町家を改造した食事どころで昼食を済ませた後、同地区内の一棟貸し切りの古民家ホテル「kurasu」を例会場とし、ホテルの代表者である、アーデン歩さんの卓話を聞きました。

龍野は城下町で、明治時代に建てられ太い柱や梁を残した木造住居が立ち並ぶ閑静な街。しかし、高齢化と過疎化がじわりじわりと進み、目に見えて空き家が目立つようになりました。この地で生まれ育ったアーデン代表は、



ホテルに改装された古民家内を見学

高校在学中にアメリカ留学。帰国後はホテルに就職しましたが、グラフィックデザインを学ぶために再び海外へ。結婚を機にイギリスで暮らすなど、各国の文化と人に触れてきました。出産のため一時帰国中、夫が「タイムスリッブしたような街」と、龍野の街並みに一目ぼれして移住を決意。程なく地域活性化の一助になればと、コロナ禍の中、古民家ホテルを創業しました。

アーデン代表も故郷を離れたことで、改めて龍野の魅力を実感。子育てしながら、「城下町・龍野での日常を、コンクリートの中で住まう多くの人にとっての非日常の体験にしたい」と奮闘しています。街を見てほしいの思から、ホテルでは食事を提供せず、周辺のレストランやカフェなどを含め散策してもらうことで、訪れた人たち

の六根(眼・耳・鼻・舌・身・意)の刺激に役買っています。地域に新風を吹き込むその姿に、われわれも刺激を受けました。どのようにバトンをつなぎ、街を生かすためにどう関わればよいのか、身近な街の課題を考える時間となりました。(片岡孝次・記)

## 瀬戸内寂聴生誕百年記念碑

徳島南ロータリークラブ  
第2670地区・徳島県

当クラブの創立会員に瀬戸内寂聴師の甥である瀬戸内敬治氏がいたため、2021年に99歳で亡くなった寂聴師と交流がありました。

昨年度、創立50周年を迎えるに当たり、記念事業として師の100歳をお祝いする事業を準備してきましたが、



寂聴師の記念碑をお披露目



# ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

## ひとり親困窮家庭に食料支援

和歌山アゼリアロータリークラブ

第2640地区・和歌山県

長引くコロナ禍で給料の減少や失業といった状況に置かれている人がいます。そこで、クラブでは前年度、特に乳幼児から高校生までの子を持つひとり親の家庭に、食料を支援しようと計画しましたが、感染拡大を受け、実行を断念せざるを得ませんでした。

当クラブの奉仕の原点は地域ファースト。地域が災害に見舞われるなど、災厄が降りかかった時には、何を置いても人々に手を差し伸べなければなりません。その理念の下、今年度はクラブ創立25周年の記念事業として予算を増やし、改めてひとり親の困窮家庭にサポートを当てることにしました。

具体的には新米3斗（一家庭につき



支援品の袋詰め作業に汗を流す会員たち

5キロ）に乾麺、レトルトカレー、図書券なども加え、各戸5000円相当を600セット用意しました。まずは和歌山市に広報をお願いし、児童扶養手当の更新に来られるひとり親家庭の方に向け、受付の横に引換券付きチラシを置かせてもらいました。食料の運び込み、袋詰め作業など、10月8〜11日の手渡し日を前に、クラブが一丸となって準備に努めました。

会員による手渡し期間終了後、あるお母さんからメールが届きました。「このたびは、ご支援いただきありがとうございました。ございました。仕事、育児、コロナ禍のストレス、自分の時間もなく、日々の生活の疲れから、心も体も疲れ果てていました。支援の品を子どもと開けて、とてもうれしく喜んでいきます。（中略）最近、いろいろなことに対して限

界がきていました。皆さまの温かい心に触れ、また頑張っていこうと思えます。名前も名乗らず、失礼しました。本当にありがとうございました。」このメールを見て、会員一同、報われた思いです。この感動を忘れず、次なる奉仕につなげよう！と誓いました。

## 里親と子どもたちと一緒にBBQ大会！

東京臨海西ロータリークラブ

第2580地区・東京都

当クラブは今年度、地区補助金事業「江戸川区児童相談所と里親支援プロジェクト」を展開。プロジェクトチームを立ち上げ、児童相談所に絵本や教材を贈った他、児童相談所と関わりのある里親や里親候補者への支援を行っています。10月29日には事業の一環として、NPO法人東京養育家庭の会せせらぎ支部との懇親バーベキュー（BBQ）大会を開きました。

せせらぎ支部は一昨年発足した江戸川区初の支部で、クラブとしては何をするのが良いのか、代表者と打ち合わせを重ね、当日を迎えました。会員と同支部から総勢60人が参加し、私たちからは里親と候補者に養育家庭に関する書籍や、子どもとの意思疎通を図る玩具などコミュニケーションツール、



BBQを楽しみながら交流

家庭の会のシンボルになるフラッグを寄贈。嶋村文男ガバナールも駆け付け、大いに盛り上がりしました。

当クラブとしては、プロジェクトの目的の一つであった児童養護や養育家庭についての制度や現状を知ることができ、何より各家庭の方々と子どもたちと触れ合えたことが収穫でした。これから地域の里親との支援の輪を広げていくと同時に、こうした機会を通じて、ロータリーの取り組みをPRしていきたいと思っています。（伊藤宏之・記）

## 子ども食堂を視察しました

大分ロータリークラブ

第2720地区・大分県

10月31日に会員6人で大分市の子ども食堂「すみれ学級」を視察しました。



# ROTARY AT WORK



**ママさんバレーボール  
大会開催** 〈成田RC〉  
成田市内の体育館において、「第2回成田RC杯 ママさんバレーボール大会」を開催した。2回目となった今大会は、前年度よりも多い、11チーム170人が参加し、トーナメント戦が繰り広げられた。試合は白熱し、時間を延長しても勝負がつかず、決勝戦の表彰式は借りられる時間の上限を超えたため、体育館の外のホールで行われるほどだった。  
(10月18日 第2790地区 千葉県)

ROTARY AT WORK



**合同奉仕プロジェクト  
マラソンランナーに潤いを** 〈第2790地区第5グループ〉  
4年ぶりに開催されたアキラライオンマラソンをサポートしようと、第5グループ内から48人の会員がゴール地点の2カ所で、完走したランナーに木更津特産のブルーベリー150kgを無料配布。ランナーに喜ばれた上、クラブやグループ間の交流、親睦を図ることができた。各クラブはのほりを掲げ、たすきなどを身に付けて、ロータリーの公共イメージ向上にも貢献した。  
(11月6日 千葉県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**つなげよう！  
日本の伝統文化を** 〈東京青山RC〉  
地元自治体の文化祭にて、会員たちが日本舞踊の発表で参加した。当クラブ副会長で、日本舞踊家の片木瑠璃子会員の指導を受け、日本舞踊を次世代につなげようと練習を重ねた。当日は世代を超え、日本の心、奉仕の心が伝わっていくことを願いつつ、舞を披露した。  
(10月29日 第2750地区 東京都)



ROTARY AT WORK

**子どもたちの花を展示** 〈東京新宿RC〉  
19年前から新宿区立小学校の1年生に花の種を贈ってきた。9年前からは児童が種をまき、育て咲いた花の絵を集め、展示会として例会場のホテルのギャラリーに飾っている。今回は4校230人の作品を1カ月展示したが、嶋村文男ガバナールは公式訪問時に展示作品の入れ替え作業に参加。オープンスペースで、児童や保護者、先生がいつでも見学できると好評を得ている。  
(10月21日 第2580地区 東京都)



ロータリーの奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真（集合写真）は掲載できません。



# ROTARY AT WORK



## 外国籍の市民を対象に 自転車教室を開催（江田島RC）

創立30周年事業として、地元在住の外国籍の市民に向けた自転車交通安全教室を、会員の経営する自動車学校で、自治体や警察の協力を得て催した。参加者は、自転車に関する交通ルールやマナーを学んだ後、実際に自転車に乗り、標識や交差点での走り方を学んだ。母国とは異なる交通事情を知ること、今後の交通安全、事故防止の一助になることを会員一同願っている。

（11月3日 第2710地区 広島県）

ROTARY AT WORK



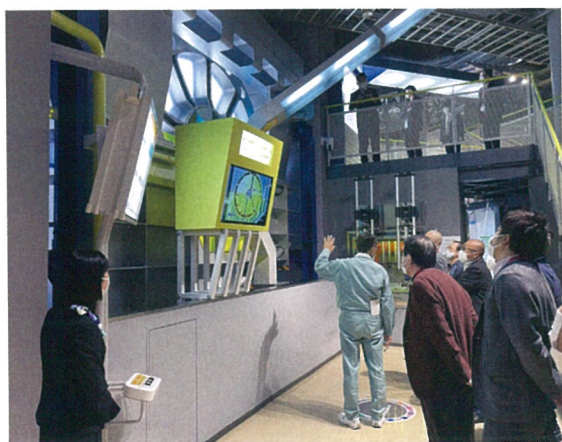
## 鹿児島三大行事・妙円寺詣りに参加

（伊集院RC）

伊集院町妙円寺詣りでの、武者行列保存会による恒例行事、武者行列「妙円寺詣り」が3年ぶりに行われ、会員も参加した。10月22日夕方、火のたかれた参道を通り、妙円寺（現・徳重神社）を参拝後、大将役の東清剛会員が祭文を読み上げた。戦国大名・島津義弘をしのぶ行事とあつて、鎧兜（よろいかぶと）を着けた参加者も多く、翌日、会員も陣羽織姿、クラブののぼりを掲げてロータリーをPRしつつ子どもたちと共に進んだ。

（第2730地区 鹿児島県）

ROTARY AT WORK



## 支援学校に褒め言葉 トラップカードを贈る

（東京東江戸川RC）

都立白鷺特別支援学校に、（一社）日本褒め言葉カード協会が作った「褒め言葉トラップカード」を寄贈。贈呈式では、生徒を代表し、生徒会役員4人の歓迎を受けた。「長引くコロナ禍の中ですが、元気で笑顔になれるように、家族の皆さんと褒め言葉トラップカードを使って褒め合ってください」とあいさつし、各代表生徒に手渡した。

（11月17日 第2580地区 東京都）



## 原子燃料サイクル施設を 視察

（岩内RC）

クラブの所在地域が、高レベル放射性廃棄物の最終処分場として文献調査が行われている2町村のちょうど中央に位置していることから、昨年8月、NUMO（原子力発電環境整備機構）関係者による卓話を実施。その縁で青森県の六ヶ所原子燃料サイクル施設を訪問。視察によって卓話の理解が深まり、貴重な体験となった。

（11月14日 第2510地区 北海道）

ROTARY AT WORK



# ROTARY AT WORK



**市民ランナーを全力応援**  
〈福岡東南RC〉

3年ぶりに「福岡マラソン」が開催され、福岡東南RACを含むロータリーファミリー総勢17人で大会を支援。福岡市西区のJR今宿駅周辺で、駅へ向かう歩行者がマラソン大会のコースを安全に横断できるよう誘導する「ランパス」を行った。加えて、コース沿道の資材や機材の設置から撤去までを手伝い、大会中はランナーへの声援を送り続けた。  
(11月13日 第2700地区 福岡県)

ROTARY AT WORK



## 地元の山で バードサンクチュアリ

〈函館RC〉

函館八幡宮の裏山にて、野鳥の森保護活動・バードサンクチュアリを実施。会員と地域の留学生らも参加し、計28人で巣箱の清掃や再設置、観察小屋周辺の整備を行った。営巣状況はわずかに1カ所だったが、巣箱の入り口を南向きに設置し直し、高さも2m以上のところに付け替えた。来年度は、より多くの巣箱に鳥がすまうことを期待している。  
(11月5日 第2510地区 北海道)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

## 瀬戸内海をきれいにしよう

〈小野田RC／サビエル高校1AC〉

昨年度に続いて、きららビーチ焼野で合同清掃活動を実施。実際に海岸での清掃に取り組むことで、参加者はマイクロプラスチック汚染を身近に感じられ、汚染の元となるごみを出さないこと、分別を徹底することが大切だと再認識した。今後も継続を予定している。  
(10月29日 第2710地区 山口県)



ROTARY AT WORK

## 米山梅吉法要例会

〈横浜鶴見北RC〉

米山梅吉翁が眠る曹洞宗大本山總持寺にて、米山梅吉法要例会を開いた。大祖堂での法要後、例会を開き、地区米山記念奨学委員長の齊藤正彦氏が年譜を追いながら、梅吉翁の当時の考えをたどった。最後は梅吉翁の墓参。ロータリーの奉仕の精神を再確認した一日となった。  
(10月23日 第2590地区 神奈川県)







### 児童養護施設に自転車寄贈

〈東松山RC／熊谷東RC〉

児童養護施設・おおりに幼児用自転車6台を寄贈した。施設ではこれを受け、敷地内に自転車ロードを造る予定。近年は児童養護施設への入所児の過半数が虐待を受けた子どもとこと。寄贈した自転車に乗って、子どもたちが笑顔で走り回ってくれるよう会員たちは願っている。  
(11月8日 第2570地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK

## ROTARY AT WORK



### eスポーツで青少年育成

〈大宮RC／大宮RAC〉

大宮RC・大宮RAC杯「U18 Champion Challenge 2022 EEA-TURNING FORTNITE」を大宮ソニックシティで催した。この大会の対象は高校生以下。世界的に注目されているeスポーツ（オンラインゲームを使った対戦）を通して、青少年育成とロータリーのPRを行っていくと開催。今後、県内の東西南北対抗戦へとつなげていく。  
(10月22日 第2770地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK



### 貧困に苦しむ子どもたちのために

〈倉敷水島RC〉

「未来の子どものために私たちが大人が出来ること」と銘打って講演会&参加型対談を開催。前半は、地元で子ども食堂と常設の子どもの居場所・ハルハウスを運営する井上正貴氏と、廃棄前の食材を使って缶詰を作り、施設などに無料配布している三好千尋氏の講演。後半は、会員らも加わり、会場からの質問に応じた。今後も貧困に苦しむ子どもたちの支援に力を入れていく。  
(10月30日 第2690地区 岡山県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

### 第1回インターアクト国内研修

〈第2790地区〉

3年間休止しているインターアクト海外研修の代替案として国内研修を実施。13高校、総勢120人で、千葉マリンスタジアムやホテルザ・マンハッタンを見学した。ホテルではコンシェルジュの卓話を聴き、マナー講習を受けながらフルコースの料理を堪能。食事を楽しみながら、お互いの奉仕活動について情報交換するなど交流を深めていた。  
(11月1日 第2790地区 千葉県)







# ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編  
AT WORK

このままだと  
いなくなってしまう！

豊橋ゴールドデンロータリークラブ

第2760地区・愛知県

2022年11月6日、年間来園者が90万人に上る豊橋総合動植物公園で、環境保全のための啓発活動を実施しました。来園した市民や子どもたちに、絶滅危惧種の動物について知ってもらうと、種の保全を訴える看板を寄贈したのです。

1年ほど前、絶滅危惧種の啓発を行う佐々木シュウジ氏がクラブで卓話。人気のある動物は、実はほぼ絶滅危惧種であること。要因は人間で、例えばオランウータンのすみ森は、アブラヤシの畑にするために伐採され、すみ場所が奪われているといったことを学びました。「今の環境を変えられるのは人間だけ。まずは動物の真実を知るところから始めましょう」という佐々木氏の言葉が、本活動を企画するきっかけとなりました。

看板には国際自然保護連合（IUCN）による評価基準、深刻な危機（CR）・危機（EN）・危急（VU）などを記載。その他、園内にいる絶滅危惧種の獣舎には2次元コードを記載して、スマートフォンなどから動物の詳しい情報へアクセスできるようにしました。

寄贈式には園長の他、豊橋市長も出席し、クラブ会員と家族、来園中の市民が見守る中で実施。園長からは「まずは動物たちの現状を知ってもらうことが大切。このような取り組みには感謝したい」との言葉を頂きました。当日はチラシを配り、絶滅危機にある動物を園内で3種以上見つけた子どもには、お菓子をプレゼント。楽しみながら学べる機会を提供しました。親御さんは「子どもたちの良い勉強になります」と喜んでくれ、子どもたちも、ただ見学するだけではなく、目的があることで、楽しんで回れたようでした。

（石原聖季・記）



## うちの子

2021年5月、野良猫が助けを求めてきました。肉球は剥がれ、足は血だらけ。病院の治療を続けました。老猫は大変な思いで生きてきたのでしょう。私の家族になり、昨年1月、幸せな顔で虹の橋を静かに渡りました。



芹澤 和子（静岡県・沼津西RC）

献できる存在であると再認識した次第です。さらに、博士論文審査会の主査は勝間靖教授で、彼の義理の曾祖父は、東京RCの芝染太郎氏。1938〜40（昭和13〜15）年に、日本のロータリークラブの「専任幹事」を務められ、1939年6月には全権を委任されて一人、アメリカのクリーブランド国際大会に出席し、日本ロータリーの生き残りを懸け「日満ロータリー連合会」を誕生させた人です。そのようなロータリーとのご縁を持つ教授が論文審査に当たってくれる、という奇跡もありました。

今回の博士学位取得により、日々奉仕の現場で汗を流している多くのロータリアンに自信と希望を与えることができれば、この上ない喜びです。

（第2820地区 茨城県 ホテル）

## 美しい自然と 偶然の出合いに感謝

鶴ヶ島 渡辺 道雄

2022年の夏も、3年越しとなるコロナ禍でどこにも出かけられないでいたところ、自宅に程近い埼玉県比企郡鳩山町にハスの花が咲き誇る池があるという話を聞き、居ても立ってもいられず出かけてみた。

その池は、自然豊かな里山に戻すために、環境整備計画に基づく公園化が進められている場所にあった。こんもりした丘には、夏の日差しを遮る林の散歩道が、見晴らしの良い展望台まで通じている。公園の中央部にはさらに涼しさを感じさせる池が3カ所あり、池の周囲は芝生が美しく敷き詰められて、真夏でも心地よく涼を感じられた。

池は、水面全体が緑色の大きな葉で覆われ、赤や白、淡い桃色のハスの花が咲き誇り、そこでカメラを構えているのは私だけというぜいたくな時間を満喫することができた。

池の周りを一人で散策していると、緑の葉の陰に淡い桃色のつぼみがあり、そのつぼみに小さな小さなアオガエルが乗っているのを見つけた。その光景は、夏の厳しい暑さの中で涼しい場所を探し当てて小休止をしているかに見え、何ともほほ笑ましい一瞬に感動し、無我夢中でシャッターを押した。

ハスの花には、カエル以外にも涼を求めてトンボなどが羽休めをしており、広角レンズで見ると池全体のハスが風に揺られ、水面に幾重も



ほほ笑ましい一瞬を写真に収めました

のカーブを美しく描いている。私は時がたつのも忘れてファインダー越しの涼を楽しみ、撮影の喜びに浸り、ユーモラスな作品にも出合えて大満足な一日となった。

仏教ではハスの花は極楽浄土の象徴としてあがめられているが、まさに極楽の撮影となり、美しい自然と偶然の出合いに心から感謝した。

（第2570地区 埼玉県 電気工事）

### Annotation

世界ポリオデー（World Polio Day）

10月24日。毎年、この日の前後には世界中のロータリークラブや地区、ポリオ根絶に取り組む団体が、ポリオ根絶を目的としたイベントを実施し、啓発活動を行っています。



うちの子



5歳の男の子です。  
「マッシュー」は神様からの贈り物という意味です。コロナ禍の中、いてくれてありがとうございます。大切な家族です。

マッシュー  
(トイプードル)

伊藤 和子 (山形県・山形中央RC)

ただ、寄付が高額ということで表彰されるのは、実はさほどうれしいものではありません。その理由には、当クラブでは寄付の多くを年会費と共に一括で集めているため、実感が乏しいという面があります。

しかし、そんなことより、財団補助金事業の指針にもあるように、「汗をかけ」がロータリーの基本なら、「これだけ集めました」より「このような活動をしました」という報告の方が、はるかに聞く価値があると思います。集めた「功績」より、活用した「功績」の方が意義は大きいと考えます。寄付の高額さに皆で喝采を送るのは、日本人のメンタリティーになじみません。

今年度の地区大会においても「このような活

動をしました」についての各クラブのパネル展示はありましたが、展示場所は通路や別室であつて、どうしても「添え物」感が拭えませんが、これらの成果を大会の壇上でお披露目しないのでしょうか。

例えば、各種の学会でもポスターよりオーラルプレゼンテーション（口頭発表）の方が格上と捉えられます。さらに、今回の当地の例で言うなら、私は津山洋学資料館に行ったことはありましたが、1日目の地区指導者育成セミナーで名誉館長さんに講演を頂き、その意義が何倍もよく理解でき、津山の洋学に親しみが湧きました。ポスター展示などはどうしても訴える力が弱いと思います。

もし、大会の会場にマスコミや一般の方がおられたとして、「寄付をこれだけ集めました」と、「こんな奉仕活動をしました」のどちらがロータリーに対する公共イメージのアップにつながるでしょうか。ロータリアンの「定型」を捨て去り、インクルーシブ化を進め、ある面では自由度が大きくなってきている昨今、いつまでもこのような儀式的な地区大会が展開されるなら、若手会員は参加しなくなるのではないのでしょうか。

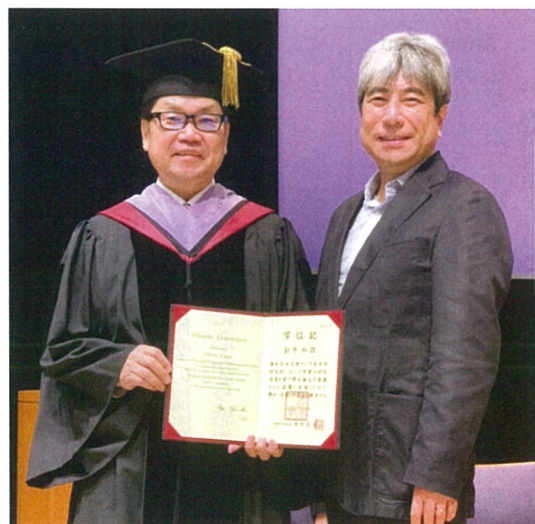
(第2690地区 岡山県 歯科医)

## 奉仕活動で博士号取得

下館 新井 和雄

このたび、早稲田大学より三つ目の学位となる博士号（学術）を頂きました。

芝染太郎を義理の曾祖父に持つ勝間教授(右と



2021-22年度、第2820地区ガバナーを務めながらしたためた博士論文のタイトルは「自然災害と教育援助」。万人のための教育を達成するために、ネパールで行ってきたロータリーの奉仕活動を、実証研究としてまとめたものです。

全5章、15万字に編集した論文のうち、第1章は理論ですが、第2章から第4章で行った三つの実証研究は、全てロータリーの奉仕活動を根拠に結論付けられたと自負しております。

そして科学的根拠を示す統計解析をするに当たり、現地でのデータ収集は、第3292地区（ネパール）のロータリアンにひとかたならぬご協力を賜りました。その研究結果が評価され、ロータリーの奉仕活動は学術的にも貢献できることを証明できたことに、感慨ひとしおです。また、ロータリアンは、社会面（実務）と学術面（理論）の境界域において、双方の融合に貢



例会を盛り上げた会員の作品が一つに

## 創刊号 しおさい

～会員による俳句・短歌・川柳作品集～  
2021～2022年度

次週の『クラブ週報』で作品を掲載しました。季節感のある俳句、作者の微妙な心情を表した短歌、時節の話題を捉えた川柳など、会場から「オー！」と歓声が沸いたり、思わず漏れる笑い声が響いたり、例会の雰囲気は和み、気分転換に一役買うことができた、安堵（あんぶ）しているところです。

そして、せっかく集まった会員の作品ですから、一つにまとめたという思いで今回、『しおさい』創刊号を作りました。今はいつの日か、第2号ができるのを夢見ているところです。

思えば、『ロータリーの友』の「俳壇・歌壇・柳壇」の愛読者ですが、私自身これまで詠んだこともなく、今回初めて勉強するありさまでした。それなのに、クラブでここまでできたこと自体、さすが異業種集団であるロータリークラブならではのことで、感心しております。

また、旅先で詠んだ俳句を絵はがきで送ってくれた会員もいて、何でもメールでやりとりする現代の中にあっても、こうした昔からの文化は、人と人との心のつながりを紡ぐ大切さを教えてくれていると感じました。特にこのコロナ禍にあって、そのことが心に染みえています。

（第2820地区 茨城県 歯科医）

## 緊張を和らげようと 体験例会でギター演奏

大阪船場 小島 常男

大阪船場RCでは、会員増強委員会が年に数回「体験例会」を開いています。会員候補者に例会に参加してもらい、クラブの雰囲気を知っていただくこと、企画したものです。

一人で例会を見学するよりも、複数人で参加すれば人會しやすく、同期意識が芽生えて会員維持に役立つのではないかと、この狙いもありました。実際に、この体験例会が功を奏し、若く優秀な会員が男女共、次々に入会しています。同期時には一度に5人の入会がありました。同期同



歌の力で例会を和やかに

士で、会合を持っているようです。

彼らの緊張のハードルを少しでも下げられたいと、この体験例会では私がギターを弾いて、一曲歌っています。ロータリーに縁のある曲ということで、前回は姉妹クラブのシンガポールRCに伺った時、聞いて印象に残った「君の友だち」（キャロル・キングの曲）を歌いました。今年度の体験例会では、RI会長テーマ「イマジネーション」から、ジョン・レノンの「イマジン」を歌っています。

（第2660地区 大阪府 眼鏡小売販売）

## 地区大会の在り方への 疑問

岡山後楽園 岡村 和則

在籍30年ほどの、地方のロータリークラブ会員の疑問です。

地区大会の本会議には、スタイル（フォーマット）があるのでしようけれど、現在のままでよいのでしょうか。物故者への哀悼、永年在籍者への称賛はどんな組織においても大切だと思えますし、ガバナーやRI会長代理のスピーチ、トピカルな特別講演も重要でしょう。ただ、これ以外のセレモニーは、本当に必要でしょうか。昨年10月に開催された当地区の地区大会における各種表彰の中で、当クラブは、いの一に登壇させていただき、RI会長代理からお褒めの言葉とともにバナーを頂きました。当年度クラブ会長としては、もちろん大変晴れがましい思いでした。





基隆東R Cの例会に参加する次女の和叶さん（中央）

代で行われた「土屋旗柔道大会」に台湾の中学生が参加するなど、多くの共同事業を重ねてきました。2018年4月、八代市と基隆市が姉妹都市を締結する際には、両クラブが橋渡し役となるなど、行政間の交流にも寄与しました。

この姉妹都市締結を記念して、会員家族の子どもたちの短期交換留学事業を実施。基隆東R Cから5人の子どもたちを受け入れました。わが家でも7日間ホームステイしてもらい、家族全員で友好を深めました。

その翌月には八代南R Cの会員の子どもたち6人が基隆市へ短期留学。台湾でのホームステイで、素敵なおもてなしを受け、さらに友好を

深めました。私の次女・和叶<sup>わか</sup>もこの事業に参加し、この素晴らしい経験を通して、娘の世界観が広がったと実感しました。事業が終わった翌年にも、わが家にホームステイした子どもたちが再び訪問してくれるなど、現在も家族ぐるみの交流が続いています。

この事業がきっかけで、次女は2021年、台湾の大学に進学することができました。入学に至るまでに、基隆東R Cの皆さんにさまざまなアドバイスや協力を頂き、大学進学後も基隆東R Cのクリスマス会や諸事業、通常の例会にも参加させてもらっています。

親としては、海外留学ということもあり、最初は心配な面もありましたが、現地の仲間の心配りで、安心して送り出すことができました。心から基隆東R Cの皆さんに感謝するとともに、ロータリーの偉大さを実感しています。

（第2720地区 熊本県 生花販売）

## 会員の俳句・短歌・ 川柳で盛り上がる例会

水戸 牧 厚志

コロナ禍の影響で、私たちのクラブの例会もオンライン例会になったり、リアルで開催されてもマスク着用と黙食と、会話も途絶えがち。さらに、毎年会員が楽しみにしている新年例会や納涼例会でも懇親会がなくなったりと、すっかり様変わりしてしまいました。

そんな中、昨年度会場監督（SAA）だった私は、クラブ内の会員同士の話題づくりや、例

会を盛り上げる目的で、会員から俳句や短歌、川柳を募集してみてもどうか、という提案を理事会に出し、承認を得ました。

ただ、会員約120人のクラブといえど、果たして何人の会員が作品を送ってくれるだろうかと、正直不安は拭えませんでした。毎週の例会は無理でも、月1回でも作品が出てくれば、せっかく頂いた例会中の新コーナーも何とか維持できるのかなと、期待しつつも、心細く思っていました。

ところが、何とうれしいことに、スタートした2021年11月から22年6月末まで、全てのリアル例会で、作品が途絶えることがなかったのです。例会開始直前に届く作品を、私の勝手な即興でのコメントを添えて詠み上げ続け、

## うちの子



ベイブ  
（マイクロブタ）

わが家に来て、はや1年7カ月。来たばかりの頃は7kgだった体重が今では35kg。大きくなっても変わらずかわいいです。ベイブはご飯の時間が一番の幸せです。

古澤 泰明（群馬県・前橋南R C）



# 友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など、1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

## 施設の子どもたちに もらった幸せな時間

東松山 山口 和範

鉄道開業150年に当たる2022年、当地区は世界ポリオデーの企画として、財団委員会と子ども家庭委員会を中心に「ポリオ根絶SLジャックプロジェクト」を開催した。10月16日、羽生市内の児童養護施設の子ども27人を招待し、他ロータリアンの家族など総勢約160人が参加。秩父鉄道SLパレオエクスプレスの一部車両を貸し切りにして、約2時間の列車の旅を楽しんでもらった。熊谷駅での出発式では、ロータリーのポリオ根絶活動について紹介した。

私は、児童養護施設とは両親のいない子どもが入る施設と思っていたが、同施設では、親がいても、虐待などにより一緒に住めない子が

半数以上を占めるということだった。それを聞いて、会う前は「心を病んでいる子が多いのかな?」「なじめなかったらどうしよう?」などと心配したが、いざ会ってみたら、全くそう感じさせない子どもたちだった。皆元気で、無邪気で、かわいくて。

車両内ではお菓子にかじり付き、SLに手を振る人たちに手を振り返し、長瀬の絶景に見入り、昭和のおじさん・おばさんたちの「銀河鉄道999」の熱唱は聞き流し……(笑)。そしてわれわれロータリアンともいろいろ話をした。

秩父駅に到着すると、秩父ロータリークラブ(RC)の皆さんから子どもたちへプレゼントのサプライズが。秩父神社で昼食の秩父尽くし弁



SLから長瀬の絶景に見入る子どもたち

当をおいしくいただいた後、ポリオチームと別れて長瀬に戻り、子どもたちにとって初めてのロープウェーで宝登山に登り、小動物公園で楽しいひとときを過ごした。

「ねえ、走っていい?」「これ(メーテルの金髪)かぶっていい?」「ヤマゲッチ、これ(お菓子)あげる」……。今回の旅はロータリーが子どもたちに与えたようっていて、実はわれわれが子どもたちから多くの幸せな時間を与えてもらったのだ、と気付いた。

宮沢賢治の小説「銀河鉄道の夜」にこんな一節がある。「僕もうあんな大きな暗の中だつてこわくない。きつとみんなのほんとうのさいわいをさがしに行く」。こう語ったジバンニ少年のように、今回の旅を通じて施設の子どもたちがたくましく、そして優しく育ってほしいと願った。(第2570地区 埼玉県 不動産鑑定士)

## ロータリーの友情と 娘の留学

八代南 下田 和利

八代南RCと台湾・基隆東RCが友好クラブを締結して42年になります。当時、国際ロータリー(RI)が提唱していた「世界理解週間」を受けて、八代南RCは「お隣の国の理解から国際奉仕活動を始めよう!」と、クラブの規模、誕生日、八代と同じ港町である基隆東RCに連絡を取り、勉強・視察のため訪問。これを機に、両クラブの交流がスタートしました。

これまでに、児童合唱団の交換演奏会や、八



鮎落とし山は眠らぬ魚野川

新潟東 本間 徳蔵

コスモスや野鳩の声は争はず

埼玉・日高 佐藤 隆夫

白鷺の白が眩しき稲刈機

茨城・古河東 小山 幸子

電話越し遠く聞こえる運動会

東大阪東 迫谷 聡太

地図帳の線路をたどり日向ぼこ

香川・高松 大平 昇

揉むほどに疎抜大根海の色

埼玉・日高 引間 禿牛

うつむいてハロウインの子通り過ぎ

静岡・浜松南 杉浦 仁

剥製のガラスの目玉烏渡る

岐阜西 眞鍋倭文子

切り通しの葛踏まれても踏まれても

富山南 升田 義次

教卓のコスモス揺らす始業ベル

大分・日田 梅野 啓子

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に葉書で一人三句まで ◆締切二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆文字明確に ◆『友』俳壇係宛

夕飯のこの一切れの箸休め  
栗味かぼちゃに恋をしました

茨城・古河東 小山 幸子

芝生にはモミジの落ち葉よく似合う  
緑と赤のコントラストが

北海道・別海 山口 長伸

垣根越しに落葉焚きする人が見ゆ  
母によく似た咳をする人

愛知・豊橋 長屋 孝美

彼岸過ぎ夜毎に集く虫の声  
秋を呼ぶ声秋が呼ぶ声

大阪天王寺 高見篤志郎

どうがんじ  
渡岸寺の仏に逢はむ金木屋  
銀木屋のかほる細道

東京ワセタ 福地桂之助

神棚は奥の座敷に鎮座せり  
寒くはないかストーブを焚く

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰

これ見ると自歌を差し出す仲間増え  
クラブの中に発会の動き

茨城・日立 鈴木 一良

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に一人三首まで ◆締切二〇日必着 ◆作品横にクラブ名・氏名、電話明記 メール可 ◆文字明確に ◆『友』歌壇係宛

町内は老老介護花盛り

大阪大淀 長谷川孝華子

近所のプールも、元気なお年寄りでいっぱい。  
皆さん泳ぐより、会話が花盛り。

保護犬が出会いをくれる散歩道

東京日本橋東 井口 弘子

知らない人との会話も、ワンちゃんがいればス  
ムーズに。助けたと思ったら助けられですね。

とぼちちり母娘喧嘩で孫見れぬ

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

孫に会いたい、巻き込まれるのはいやだし。  
でも女同士、けんかするほど仲がいい証拠。聞き  
役はあなたです。

サンタ見てもうすぐ俺も赤い服

埼玉・入間南 粕谷 武司

私も来年還暦です。でも今の時代、60なんてひ  
よっこです。サンタ気分でプレゼント配りましょ  
う。

カン捨て場同じ銘柄ちと嬉しい

神奈川東 池田 広樹

こんな小さな幸せが良いですね。コンビ二で  
同じおにぎりに手を伸ばす、お同士よ。

笑わない男が笑う寄席帰えり

青森・五所川原中央 小野 順蔵

浅草演芸ホールに出ますが、ムツとしている  
おじさんがニコツと笑う。芸人やってて良かった  
よ。皆さんもぜひ、寄席にお越しください。

投稿規定 ◆雑詠 ◆会員、家族、ロータリー家族 ◆一カ月に一人三句まで ◆締切二〇日必着 ◆作品横にクラブ名・氏名、電話明記 メール可 ◆文字明確に ◆『友』柳壇係宛





夏井いつき



駐車場ケラケラ笑い飛ぶ枯葉

秋田・能代 佐藤 健一

閑散（かんさん）と寒い、だだっ広い駐車場が思い浮かびます。乾いた枯葉が風に吹かれて、立ち上がり、ぐるぐる飛び回り、舞い落ちる。その動きと響きを「ケラケラ笑い」という、冬の怪人のような、ちよつと不気味でユニークな擬人法を使って、視覚化したのが面白いですね。冬ざれの町の一角に小さなドラマが生まれました。

字を忘れ花の名忘れ柿を食ふ

埼玉・日高 猪俣 嘉夕

「字を忘れ」「花の名忘れ」と、全てが薄ぼんやりとかすむような老の心境をしみじみと述べた上で、「柿を食ふ」という下五を据えています。今ここにあるこの柿、この甘さ、この歯触り、この香りは確かなものだとの実感があります。老を逆手に取ることで、眼前にある季語「柿」が鮮やかに際立っています。

消防の服干す櫓秋高し

愛知・名古屋北 吉田 正克

この「櫓（やぐら）」は火の見櫓で、消防隊の服が干してある実景でしょう。澄み切った高い秋空に向かい、櫓が聳（そび）え立っています。消防士といえば、銀色やオレンジ色の防火衣なのでしょうが、子どももの頃に仰いだ火の見櫓の雄々しいイメージのせいでしようか、懐かしい消防団の黒や紺の法被も浮かんでくるのです。



佐佐木幸綱



ご造替の春日若宮の昏き闇  
神官の声高く響けり

奈良 松森 重博

二〇二三年十月に、春日若宮で二十一年一度の式年造替が行われました。大きなしかも荘重な儀式を一首に歌うのはとても難しいのですが、闇の中の「神官の声」に焦点を合わせ成功しました。

もう一つ福祉施設を作るため  
ゴルフもやめて夢を掲げる

岐阜加納 鶴飼 武彦

「夢」がふわふわしたのではなく、その手触りが歌に読める点に注目しました。さらに「もう一つ」に、慈善活動家として知られる作者ならではの、これまでの実績を読み取ることができます。

一枝に五つ六つとなる柚子の  
黄色輝く冬となりたり

千葉・富里 寒郡 政雄



三遊亭白鳥



寒さが一段と厳しくなってきました。私は雪国の生まれですから、吹雪の中、雪下ろしをさせられました。雪の晴れ間の昼飯は筋子（すじこ）のおにぎり。ご飯が桜色に染まって美味（うま）かったなあ。  
故郷思つて、ひねつてみましょう。

天 光射す母の口元里帰り

福岡イブニング 甲斐総治郎

宗教画のようです。お母さんの口元がほほ笑んでいますね。何歳になっても子どもは子ども。母のいる場所が故郷です。

地 雲隠れ天王星は月隠れ

群馬・伊勢崎 野田 理

地球と月と天王星が一直線に並ぶ奇跡。漆黒に広がる宇宙にきらめく地球。全ては一つから生まれたのでしょうか？ 雄大な句です。

人 秋の肥え半端じやないよ足見えず

埼玉・川口中央 納口 川俊

秋の味覚を詠んだ句は多数ありましたが、衝撃度ナンバーワン。せめてつま先見えるくらいにダイエットしましょう。川柳を考えながら歩くのがよいですよ。



## 卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主を選んで要約、掲載しています。

## 骨髄バンクのドナー候補者になったら

翠松園(株)取締役  
骨髄バンクドナー 吉田 勉

骨髄バンクに登録し患者とHLA(白血球の型)が一致すると、日本骨髄バンクから「ドナー候補者になりました」と連絡が来ます。その後、日本骨髄バンクから自宅に意思確認の書類が届き、コーディネーターから電話で説明を受ける流れとなります。

HLAが一致するのは、兄弟姉妹の間では25%、非血縁者間では、わずか数百〜数万分の一の確率です。ドナーとしての候補者に選ばれても、この時点で断ることは可能です。受諾する場合は、確認検査を行い、本人と家族、コーディネーター、検査に関わる医師、弁護士などが立ち合い、最終同意書に署名します。この最終同意書で、患

者は移植に向けて抗がん剤や放射線治療などの処置が始まるため、ドナーは署名、押印後、提供意思の撤回はできません。最終同意の確認をした後、採取前の健康診断を受け、提供のために数日間入院します。

ドナーが提供するものは、骨髄と末梢血幹細胞の2種類ですが、後者の提供の場合、体内の末梢血幹細胞数を人工的に増大させるための薬剤を毎朝1回接種します。この薬剤の副作用は人によって異なります。患者の必要とする細胞数が取り出せたら終了で、その数時間後には移植手術が始まります。後日、再度通院し、検査した上で、日帰り入院で追加で末梢血幹細胞を採取し同患者に提供、ということもあります。

自治体によってはドナーとなった人への助成金制度があります。現在、骨髄バンクに登録している患者数は約7000人、ドナー登録者数は54万人を超え、患者の約8割がHLA適合者を見つけることができるそうです。しかし、ドナー候補者を選ばれても会社を休めなかったり、家族の理解を得られない、休業補償をしてもらえないなどの理由から辞退となるケースは多いそうです。社員や身近にドナー候補者がいる場合には、快く送り出せるような環境を多くの企業が整えることが必要でしょう。

(第2570地区・埼玉県入間RCにて・同RC会員)

## 私の一冊

「また、必ず会おう」と  
誰もが言った。

岩内RC 成田 賢一



「デイズニールランドに行ったことがある」とうそをついてしまった田舎の高校生が、うそを取り繕うために夏休み一人で東京へ。そこから始まる人々との出会いによって、一生忘れられない思い出を手になることとなる。話の流れが5日間に分かれていて読みやすい。日を追って変わっていく彼の心境は、誰もが「自分にも当てはまる」と感じられるところが多く、共感しやすいのではないかな。私は本書を20冊常備し、相談に来た方やこれから読書にハマってほしい人に渡している。昨年4月には作者を招き、地元の高校生のために講演をお願いした。

「旅は人生を変えるきっかけになります。人生は誰と出会うかで決まるのです」。作者が高校生に話す姿を見て、自分の人生もその通りだと思った。(第2510地区 北海道)



喜多川泰 著  
サンマーク出版  
2010年11月刊





例会場の奈良ホテルの前で。前列右から、父親の松岡さん、乾会長、柳澤さん、中野バストガバナー

育代さんはアメリカ在住当時の2008年にニュージャージー州イングルウッド・ロータリークラブ(RC)に入会している。初の日本人会員だった。90周年に当たった2013-14年度にはクラブ会長も経験した。

## 震災復興に夫婦で貢献 奈良RCの国際派で活躍

「会員は75人ほどで半分は女性でした。カジュアルで堅苦しいところはなく、奉仕活動に熱心でした」

11年の東日本大震災の時は、育代さんにイングルウッドRCや同地区の会員から被災地支援を申し出る相談が相次いだ。アメリカの同時多発テ

ロ事件の被災者の会からも「私たちは日本から支援をたくさん頂いた。震災支援で何かできないか」と声が上がったそう。

震災2週間後、育代さんは父の松岡さんが所属する奈良RCに連絡を取り、郡山西RC(福島県)と合同で支援体制を整えた。当時マウントサイナイ医科大学の内科医だった夫のロバートさんは、震災の1カ月半後に岩手県陸前高田市の避難所でDMAT(災害派遣医療チーム)の心身ケア医療チームに参加、日本の医療との橋渡しを担当している。震災復興支援には夫婦で貢献した。

震災支援として、2001年9月11日の同時多発テロで崩壊した世界貿易センタービルのがれきで9・11家族会が作った鉄の折り鶴を、郡山市の開成山公園に寄贈、来目する仲介役も務めた。第二次世界大戦で被爆した佐々木禎子さん(原爆の子の像のモデル)が作った折り鶴を基に製作したもの。絵本も作った。巻末に米国日本人医師会を代表してロバート貴裕さんが原稿も書いている。

現在は育代さんが15歳の長女と奈良で暮らし、ロバートさんが13歳の次女とマンハッタンのマンションで暮らしている。別々の生活が続いているが毎年3回、合わせて2カ月半はニューヨークで4人一緒の生活をするようにしているそう。

育代さんは奈良に戻ってきて15年に奈良RCに入会した。海外のロータリークラブからの移籍は、奈良クラブでも初だった。50年以上在籍している父と親子二代会員である。育代さんはアメリカでも行っていたグローバル補助金事業に力を注ぎ、国際奉仕の分野でも活躍、国際派の実力を存分に発揮している。若手が主催する地区ロータリーアクトの会合にも参加するなど活動的である。このパワーはどこから出るのか。

「奉仕とは何かを、若い人に理解してほしいと思って……。日本とアメリカでロータリー活動の違いも感じることはありますが、私ができることをやっていきたい」

取材最終日に奈良RCの例会に参加させていだいた。さすがに基幹クラブだけあって奈良ホテルの大きな会場に約1000人の参加者が席を並べた。乾昌弘会長に話を伺うと、

「柳澤さんは海外のクラブで活躍されて、ロータリー財団についても詳しい。これからもクラブ



に新風を吹き込んでいただきたい」

と大きな期待を寄せている。クラブ最長老は94歳の中野重宏バストガバナー。柳澤夫妻の仲人でもある。

「ロバートさんの父上とも交流がありました。素晴らしいカップルです。お二人はアメリカと日本とに離れていながら、相携えて活躍されています」

◇柳澤育代(奈良RC会員)(株)菊一文殊四郎包永代表取締役社長。1967年奈良県生まれ。93年帝塚山大学大学院修士課程修了後、結婚して渡米。97年菊一の現地法人を設立。2008年イングルウッドRC入会。2013-14年度会長。15年奈良RCに移籍。





クのマンハッタンビル大学に1年間留学した。この時に電撃的な出会いがあった。ニューヨーク在住の父の知り合いの家族からイースターの食事に招待され、その次男でブラウン大学医学部2年生のロバート貴裕さんと仲良くなったのだ。帰りに大学寮に送ってもらって、それをきっかけにデートを重ねるようになった。

商社マンだった父の転勤で、ロバート貴裕さんはニューヨーク生まれ。3歳から小学5年まで父の実家のある奈良で育っている。育代さんの小学校のすぐそばで育ったそうで、話はずも盛り上がった。留学を終え日本に帰ってから育代さんとロバートさんは国際電話で毎日のように連絡を取り合った。電話代が月に30万円を超えることも。海外の友達に会いに行くと、言って親には内緒でニューヨーク経由でニューヨークに飛びロバートさんに会いに行ったこともある。

92年12月に2人は婚約した。翌年、育代さんは結婚してブラウン大学のそばで新しい生活を始めた。育代さんは旅行会社で働いたり、ボランティアで小学校で日本語を教えたりしたこともあったそうだ。

ただ、育代さんの心の中には実家の経営がうまくいっているかどうか、心配が居座り続けていた。そんな時に夫が、

「アメリカで包丁売ったらええやん」

と語ってくれた。勇躍して、育代さんは動き出した。ボストンにある包丁店に菊一の包丁を持ち込み、組合のネットワークを通してさまざまなところに紹介してもらった。折しも日本食ブーム。ニューヨークに寿司店がたくさんできた時期だったことも幸いした。97年には現地法人をつくって、包丁の売り上げを伸ばした。

有名レストランのシェフが菊一の包丁を愛用し、『ニューヨークタイムズ』が取り上げてくれた。食品会社とタイアップして寿司店に包丁を卸した効果も大きかった。育代さんは著名シェフ主催のさまざまなパーティーに呼ばれて、

「キクイチのイクヨ」

と人気者になったそうだ。アメリカでの菊一の包丁販売数は右肩上がりであり、日本国内の販売数と肩を並べるまでになった。

「アメリカでもコロナ禍で巣ごもり需要が高まり、別荘やクルーザーで料理するホームシェフに包丁が売れ始め、以前と比べて200%アップの売り上げを記録したこともありました。これまでのアメリカのオールステンレスの包丁に比べて、菊一の包丁は『合わせの包丁』と呼ばれ、よく切れると評判になりました」





若草山から奈良市街を臨む

その育代さんが高齢の父を助けるために奈良に戻ることを決断したのは2014年。奈良市内などに4支店を持つ同社だったが、経営状態は決して良いものではなかったそうだ。

「修学旅行生や団体客などあつて、それなりに営業していましたが、来るものだけをこなす『大仏商法』(笑)。一見、客が多くて忙しそうでも、もうかっていない。業績的には赤字でした」と育代さん。

帰国前に育代さんはアメリカで現地法人を立ち上げ、菊一の包丁販売を爆発的に伸ばしていた。その手腕に経理担当者などが、

「日本に戻ってきて菊一を立て直してほしい」と懇願したのは当然だった。だが育代さんには

家族がある。離れ離れを余儀なくされることへの悩みは深かったに違いない。それでも帰国し、最初に始めたのが「収益性を上げるマインドを社員に持つってもらうこと、それと奈良ならではの価値ある一品を売ること」だった。アメリカという外からの視点で、育代さんは「世界から見た奈良の特性はシカと自然」と考えた。

奈良公園を中心に、ここには約1200頭のシカがいる。青信号の道路も、シカが通れば車は止まる。奈良にあつてシカは「神様の乗ってきた聖なる存在」として守られてきた。当時、シカをかたどった土産物菓子がほとんどなく、育代さんは奈良名物となるようなシカをかたどったお土産を作った。

父親のアドバイスもあつて春日大社の宮司に

相談した。奈良名物になればと、宮司さ

んから肯定的な助言をもらったという。

1000万円ほどかけて、店頭でまんじゅうを焼くための機械を導入し、2016年

に「春日鹿まんじゅう®かのこ」を販売

開始。1個190円、雄雌つがい2個

330円。白あん、カスタード、チョコレ

ート、瀬戸内レモンの4種をそろえた。マス

コミに取り上げられたこともあつて売り上

げを伸ばし、5年で設備投資分を回収し

た。1日1000個売れる日もあつて、土

産物の全売り上げの43%を占める主力商品

になったという。

「特にコロナ禍で観光客が激減した時は土産物自体の売り上げがなくなった。うちは店頭で焼く『かのこ』があつたので助かりました」

この他「季節をアイスる♡かのこ」(アイスの入ったかのこ)や、ピザを山のカフェ

で販売したり、伝統工芸士による「包丁研ぎ体験

教室」を始めたなどアイデアを次々に具体

化してヒットを飛ばしている。店内でプロが包丁

を研ぎ、切れ味を確かめる技も見せてもらった。

## 大学留学中に電撃の出会い 菊一包丁を米国で販売急増

そんな育代さんだが、小さい頃は恥ずかしがり

屋で、親の陰に隠れている

ような子どもだったそう

だ。11歳の時に兄が亡くな

り一人っ子になった。飼



左：名入れをする職人さん  
右下：春日鹿まんじゅう



犬や近くのシカと遊ぶような日々。中学から帝塚山学園に通った育代さんを変えたのは、高校時代に経験した語学留学である。2回短期留学した後、高校3年の時には休学し、1年間カナダの高校へ。「跡取り娘という重責を感じていたので、常に奈良から逃げ出したい気持ちでいっぱいでした」カナダの田舎で、生活に適応しにくくなった時期もあったそうだが、留学を途中でやめるのが嫌で、自分の意思でオンタリオ州の高校に行き直した。

「ホームステイを経験し、日本でヌクヌク生活していたら駄目だという思いが強くなった」

帝塚山大学3年時の1989年にはニューヨ



# 柳澤育代

さん

● 奈良ロータリークラブ



## 包丁店経営を継ぐため 家族と離れ米国から帰国

奈良の東大寺大仏殿から春日大社まで、二つの世界遺産をつなぐ道を40分ほど歩いて奈良公園の中を行く。車に注意し、あとはシカのふんを踏まないように気遣いさえすればすてきな散歩コースだ。その真ん中、若草山の麓に今回の主人公、柳澤育代さんが社長を務める菊一文珠四郎包永本店はある。包丁販売店だが、土産物店やレストランも併設。創業は1870（明治3）年だが、もともとは750年以上に及ぶ刀鍛冶の歴史がある。父で前社長の松岡泰夫さんは言う。

「包永の名は鎌倉時代の古文書にも残っています。現在、包丁鍛冶は（大阪の）堺で行われ、作ったものをここで販売しています。娘がニューヨークから戻ってきて跡を継いでくれました。安心して全て任せています。よくやってってくれています」

松岡さんは奈良では有名人だ。観光業界の会長を長く務め、春日大社の氏子総代を今も務めている。跡取り娘と見られていた育代さんはニューヨーク留学中に知り合った日本人医師と結婚して渡米、娘2人にも恵まれ、20年を現地で暮らした。



民が納得しませんよ」ときつぱりと言ってしまったことがあります。

役員の皆さんは内心、こんちくしょう、若造め生意気な、と思われたらしい。でも、二本松で身近な、人を慈しむ人々に開かれて育った私には、「国民のため」はある意味、自然な感覚でした。逆に言うと、当時の日本銀行トップ・総裁にとつては、とてもインパクトのある直截的な訴えだったようです。私は3人の総裁に仕えましたが、「日銀の目的は、国民のためにある」という思いは通じたと思っています。

顧みて、自分が企業のトップにいた時には「お客さまのため」、東洋大学に行った時からは「学生のため」というように、対象となる人は変わりましたけれど、他者のために生きる、ということを変えていません。

## なんじの俸 なんじの禄は 民の膏 民の脂なり

アジア通貨危機、長銀の改廃問題、どのように解決したらよいのか。人生何度も難しい問題に直面しました。現在は新型コロナウイルス、ウクライナとロシアとの戦争、温暖化により多発する自然災害など、大学の理事長として熟慮して対応すべきことに遭遇しています。そんな時、繰り返しになりますが、どんな問題にも、ある信念、と申しますか、「自分のためには働かない」という心持ちで対処してきました。

コロナ禍により親やスポンサーの手元不如意が生じ、学費が心もとなくなった学生たちが出てきました。皆をどう救うか。大学として、奨学資金

を確保しました。

そうこうしていると、戦争が勃発しました。再び平和が脅かされる世が来るとは。東洋大学はウクライナから学生の受け入れを決めました。

一方、在学生の中には、納得できない、私たちも苦しいという層も、もちろんいますので、公募でお金を集めました。そして、学生にはウクライナからの留学生と同じ寮に入ってもらいました。日本の学生も海外からの学生も、一緒に生活をしてもらっているのです。

施策は無機的・機械的には行わない、ということが肝要です。戦時でも平和な時でも、世の中に真実をさらけだして、オープンにすること。内部的にもオープンにして議論し尽くしてから「それでやろう」「それはやめよう」。人生は、常にそんなことの繰り返しです。毎日、繰り返すのです。

「他者のために自己を磨く」とも、井上円了は言っています。考えてみてください。そもそも人は自分のためだけに働いてはいません。他者のために働いているのですから。

宿命の出会い、選択した出会い、人生には二つの出会いがある、と初めにお話ししました。ロータリークラブのお仲間たちとの出会いは「選択した」出会いなのか「宿命の」出会いなのか。お考えになられると面白いと思います。出会いの中から、皆さんは何を得られたでしょうか。

さて、最後にご紹介したいことがあります。母校・安達高校の近くには、「戒石銘碑」というものがあります。今は、国指定史跡です。高校時代、ちよつと団子を食べに行くと、私は帰り道に必ずその碑の前を通ったものでした。

かつて、二本松城の東手には藩庁があつて、藩

士の通用門がありました。その前に長さ約8.5尺、最大幅5尺ほどの花崗石の碑があり、そこに十六文字刻まれているのが「戒石銘」です。五代藩主・丹羽高寛（1708～69）が藩儒学者の岩井田昨非（1699～1758）の進言により、藩士の戒めとするために命じ、刻ませたもので1749（寛延2）年に完成しました。

爾俸爾禄 なんじの俸 なんじの禄は

民膏民脂 民の膏 民の脂なり

下民易虐 下民は虐げやすきも

上天難欺 上天は欺きがたし

大意は、「お前の俸給は、民があぶらして働いた賜物から得たものである。これを忘れ、弱い人を虐げたりすると、天は欺けない」。でも、高校生の私には、団子を食べる時に前を通る碑、というくらいの記憶しかありませんでした。その碑の銘文なんて、覚えていませんでした。

ところが、日本銀行の新潟支店長になり、小千谷市の市長に会いに行きましたら、「君訛つてるけど、どこのご出身ですか？」と聞かれました。「福島です」「福島はどこですか？」「二本松です」「ちよつと待って、私の部屋に」

戒石銘碑の拓本を、小千谷市長さんは自分の部屋の後ろに飾っておられました。「当然、これを守っておられるということですね」と。市長さんはこれを指針とすべく飾っています、と言われしました。

46歳の時でした。以来私は、ふるさと二本松の教えに従うべく、碑の言葉を心に留め、他者のために歩んできたと思います。



争入札により、アメリカの投資ファンド・リップウッドを中心とした投資組合に売却され、2000年に新生銀行に改称しています。

でも、破綻に至らせてしまった国もいけない、と日本銀行理事となっていた私は思いました。こんなやり方では、国全体の信用がなくなってしまうし、失われつつある信用を回復しなければ、とも思いました。

結局、98年に長銀頭取に就任し、破綻処理に当たりました。バブル後、日本経済は誠に大揺れでした。「そんな大変なことをしなくても」と人は言うかもしれませんが、企業人として生きていくにしても、人のため、他者のためになるかどうか？ で私たちは進んでいくべきではないか、と私は考えたのです。

また企業人としては、2000年にイトーヨーカ堂の顧問を経て、01年、現在のセブン銀行の初代社長に就きました。ここでは、コンビニエンスストアのATMの手数料を収益の柱とする、という手法を採りました。銀行の新しいビジネスモデルを提示できたと思っています。ここでも心にあったのは「他者」という概念です。祖母や友人たちが示してくれていた、人のためになるか？ という観点です。全て、お客さまの立場でものを考えてみて、この手法を考えつきました。

お客さまファーストの次は、従業員。その次は社会に役立てるかどうか、だと思えます。このあたりは企業理念にも記しました。

私は株主のために直接には働きません。お客さま、それから従業員、そして社会のために働きます。その結果は、最終的に株主のためになるはずですから。この信念は変わっていません。何事も、

お客さま本位です。そして、従業員が評価しない企業は駄目なのです。

このように企業人として働いた後、09年、

私は東洋大学の理事を務めることになりました。東洋大学の創立者は、新潟出身の井上円了（えんりょう）（1858〜1919）です。お坊さんの子どもでしたが、仏教思想のみで生きた人ではありません。多方面に深く、物事を考えた人でした。哲学者ですね。東洋大学の建学の精神の一つに、「諸学の基礎は哲学にあり」が掲げられています。哲学者としての井上円了にルーツのある言葉ですが、これを私は「他者のために生きる」と理解しています。

大学は他者のために自己を磨く場です。大学時代は、他者のために自分を磨き続けることが肝要ですね。ただし、大学というところは、4分の1ずつ、対象とする学生が、がさつと入れ替わっていく所です。私のことを覚えてくれたな、と思うと卒業していなくなってしまう。そういうもどかしさがありますし、身近にいる子たちが、確実に4分の1ずつ変わることの恐ろしさも味わっています。

ます。どのようにすれば、「他者のために生きる」ということを身に付けて、学生は社会に出てくれるだろうか。

これに対し、私は理事長メッセージというスタイルで、時々発信をしています。学生たちもメッセージを受け止め、何かしらが蓄積されることにより、哲学するということを身に付けて卒業していつてほしいからです。

二本松の世界を出て、大学で自分なりに自己を磨いた後、日本銀行、そして民間金融機関で働き、今は学問の世界の理事長と、私は大きく立場を変えて生きてきました。自分の心境の中で変わらなかったことは、「他者のため」という視点です。井上円了の言葉でもあり、私の祖母の、友人たちの生き方でもあります。これはどの立場に移り変わっても、私の中で変わりませんでした。

日本銀行にいた頃、若気の至りと申しますが、役員会に出席し、上席の役員が話していた時にきよろきよろしていると、当時の総裁が「安齋くん、何か言いたいんだろ」。後ろの方の席に座っている私を指名するのです。そこで、「それでは国



■ セブン銀行特別顧問・東洋大学理事長 安齋 隆

1941年 福島県二本松市生まれ。63年 東北大学法学部卒業後、日本銀行入行。94年 日本銀行理事。98年 日本長期信用銀行頭取。2000年（株）イトーヨーカ堂顧問。01年（株）アイワイバンク（現セブン）銀行初代社長。10年 同行代表取締役会長。18年 同行特別顧問、東洋大学理事長、現在に至る。



故郷での宿命の出会いとして、もう一つは、旧制安達高校の友人たちとの出会いがあります。

学校に行くには、渡し舟に乗っていく時代でした。バスの時間に間に合うように舟に乗るのですが、ぴったりのまいかないこともしばしば。そこで、友人がバスの運転手さんに「今日は試験の日だ、安齋君を乗っけてやって」。友人たちがバスを止めて待っていてくれたのです。一事が万事、このような友人たちの配慮がなければ、高校も卒業できなかったでしょう。

「君が高校を卒業して大学受験できたのは、僕らのおかげだよ」と後年、彼らは笑って言っていました。いや、実際そうだと思います。こんな優しい友人たちの、常に変わらぬ情、友人のことを思い、友人のために生きるという心は、今振り返ると実に大きいものであった、と思います。

もう一つ、人との出会いで挙げたいのは、塩川正十郎（1921～2015）氏。「塩爺<sup>しおぢい</sup>」と親しまれ呼ばれた政治家を、皆さんも覚えておられるかと思います。のち、私がセブン銀行設立時に初代社長に就任した時には、塩川さんが財務大臣だったというご縁、東洋大学に私を呼んでくれたご縁もあります。

1997年に「アジア通貨危機」が始まり、当時、日本銀行に勤めていた私は、帝国ホテルでの危機について講演をしていました。すると、一番前に座って何回も質問してこられた方がいたのです。それが塩川さんでした。

講演者と講演を聞きに来ていた人、というご縁でしたから、塩川さんから見れば「この人の講演を聞きに行こう」という選択をした出会いだったのかもしれませんが、講演者の私からすれば、宿

命の出会いとなりました。その時の質疑応答が出会いとなって、彼とは親しくなりました。

このように、人生の途中で出会った方ではありませんが、塩川さんとは、本当にたくさんの会話を重ねました。その会話の中で私も多くの知見を得ました。いろいろな意見があるとは思いますが、塩川さんの人生は、国という他者のために生きた人生だったと思います。

2002年、新紙幣の肖像を誰にしようか、と検討していた頃。私が話をしたから決まった、というわけでもありませんが、塩川さんに私は野口英世の話をしたものです。ちよつと遠回しでしたが「野口英世を見いだした血脇守之助<sup>ちまきしゆすけ</sup>という人は、私が今、住んでいる我孫子の出身で……」と。

血脇守之助（1870～1947）は、野口英世（1876～1928）を援助して、東京で勉強させた歯医者です。「現在の東京歯科大学の創立者」としてご存じの方もおられるかもしれませんが。野口を資金的にずっと援助し続け、アメリカに留学もさせました。

あれだけの名声を博した野口ですが、帰国した後も、血脇にお金を返済しなかったそうです。「こんな話をする、福島県人がみんな借金を棒引きにするかのように思われますが、もう一人、福島には偉人がいます、朝河貫一<sup>あさかわくわんいち</sup>です」と塩川さんには申し上げました。

朝河貫一（1873～1948）は歴史学者です。日本人初のイェール大学教授にして、現在の県立安積高校の出身でもあります。朝河も周りの資金援助に支えられ、アメリカで大成しました。彼は借金したものを全部、きれいに返済したことも知られています。

こうして塩川さんに、福島県が誇る二人の偉人を、ひそかに新券の肖像候補者としてアピールしてみました。そんな話ができるくらいの仲となっていました。お札に刷る顔は国の紙幣として、その国が重ねてきた時の重みを背負いつつ、現代、今という瞬間で使われていくものです。一個人の思いで決まったりするようなことはありませんが、最終的に野口英世となりました。

余談になりますが、朝河貫一については、講演で話したこともあります。その時、会場のフロアから手を挙げる人がいました。

「私にお話しさせてください。うちの祖父も朝河先生に資金援助しました」「朝河貫一の借金の証文、イェール大学の記念館に飾ってあったのを見たら、わが家の祖父に対するものでした」その時は本当にびっくりしました。

## 人のため、 他者のためになるかどうか？

私は学窓を巣立ってから、先に触れましたが、63年に日本銀行へ入行しました。私はそこで、バブル景気を挟んで働いたことになりました。皆さんも体験されたごとく、実にいろいろな出来事が起こりました。その一つに日本長期信用銀行（長銀）の破綻があります。当時、長銀は積極的な融資拡大路線をとっていたのですが、それがあだとなり、バブル崩壊後の不況で巨額の不良債権を抱えてしまいました。

最終的には、98年に経営破綻して一時国有化されますが、山一證券や北海道拓殖銀行と並ぶ大型倒産事例となっていました。その後は競





TAKEZO / PIXTA (ピクスタ)

父の軍服を直して、私のために小さなリュックを作ってくれたのです。それから足袋。私の足袋だけではありません。家族全員に正月用の新しい足袋を準備してくれました。それがまた、不思議に皆にぴったり合うものを作ってくれました。

ある意味では、私の少年時代、ずっと祖母が一番身近にいてくれ、こまごまとした世話をしてくれ、人としての教育もしてくれたのだと思います。祖母は私が中学3年の時、家の土蔵で亡くなりました。私と祖父でみとりました。学校は皆勤賞をもらえるはずだったけれど、その一日だけ休みました。今でも忘れられない一日です。

福島県の私の生まれた地域は、今は途絶えてしまいましたが、平安時代からいわゆる陸奥紙みちのくがみ、時間がたつにつれて白さが増してくることで有名な紙すきの里でもありました。戦時下の1943年の芥川賞受賞作は、ここ二本松が舞台の東野辺薫とうのへ（1902〜62）の『和紙』です。

その小説のモデルは近くに住む母方の叔父で、叔父の父、私の祖父も描かれています。小説を読むと祖父の面影に触れるようです。祖父もまた、本当に周囲の人のために過ごした一生で、その祖父から学んだこと、祖父の生き方も、私の生涯の指針の一つとなっています。



# 人との出会い 他者のために生きる

自分が企業のトップにいた時には「お客さまのため」、東洋大学に行った時からは「学生のため」、というように対象となる人は変わりましたが、他者のために生きる、ということとは変えなかったと思います。

セブン銀行特別顧問・東洋大学理事長 **安齋 隆**  
Takashi Anzai

## 生まれは宿命そのもの

人生での人との出会い、これは極めて重要なことですね。先ごろ亡くなった小説家の瀬戸内寂聴（1922～2021）さんが、20年近く前、新聞に「人との縁 私の宝」といったタイトルでエッセーを書かれていました。

「人生とは出会いである。人との出会い、風景との出会い、動物との出会い、どの出会いも、私の栄養となり、心身を育んでくれた。なかでも人との出会いこそ、私の生きる証である」

こんな趣旨の文章でした。私が理事を務める東洋大学の卒業式で、社会に出ていく学生に贈る言葉にも、寂聴さんのこうした表現を使わせていただきました。「ここで出会い、一緒に学んだ友を忘れるな」と語りかけたものです。人は、人生で出会った人から学んでいくものだ、と80年生きてきて痛感します。

ところで、人生における人との出会いには、宿

命的なもの、それから自分の選択で出会うものの、この二つがあると私は思っています。生まれ、親、兄弟、この辺はもう、宿命ですね。自分に選択の余地は全くないでしょう。特に私の育った時代には、今のように塾もなければ、いい学校に行くために勉強する、といった発想さえもない。生まれは宿命そのものでした。進学することになった高校ぐらいから、選択で出会う対象が増えてきたと思います。

宿命的な出会いの一例として、私の一番身近な例、祖母との出会いを挙げましょう。亡くなったのは62歳。私が祖母というものを意識した時、彼女はまだ40代でした。

この祖母はまだ幼い私に、「これやってくださいね」と頼み事をよくしたものです。農家ですから、取れた小麦を粉にするため、袋に入れて製粉会社まで持っていく仕事があります。でも、頼まれた私は小学校2、3年生。まだ自転車にきちんと乗れず、20～30キログラムほどの小麦の袋を後ろに積むと、バランスがうまく取れなくて、自転車が途中でひっくり返ってしまいました。

そんな苦勞をしながら帰ってくると、祖母はとても感謝してくれて「ありがとう」と、お小遣いもくれました。自分の幼い孫にも、人として丁寧に接してくれて、「あ、僕も役立ってるんだ」という意識が私の中に芽生えていきました。

両親が農作業で忙しいこともありましたが、運動会のおにぎりも、祖母が作って持ってきてくれました。遠足に背負うリュックサックも手作りしてくれました。戦後1947年、昭和22年くらいには、子ども用リュックなんて、まだ物資が不足していて売っていません。すると祖母は、私の



## 人との出会い 他者のために生きる … 4

セブン銀行特別顧問・東洋大学理事長 安齋 隆

## シリーズ この人訪ねて … 9

柳澤育代さん 奈良RC(第2650地区)

記事・山本朋史 撮影・工藤隆太郎

## 卓話の泉 … 13

骨髓バンクのドナー候補者になったら 入間 吉田 勉

## 私の一冊 … 13

岩内 成田賢一

## ロータリー 俳壇 … 14

ロータリー 歌壇 ◆夏井いつき 選 … 14

ロータリー 柳壇 ◆佐佐木幸綱 選 … 14

## 友愛の広場 … 16

施設の子どもたちにもらった幸せな時間 東松山 山口和範

ロータリーの友情と娘の留学 八代南 下田和利

会員の俳句・短歌・川柳で盛り上がる例会 水戸 牧 厚志

緊張を和らげようと体験例会でギター演奏 大阪船場 小島常男

地区大会の在り方への疑問 岡山後楽園 岡村和則

奉仕活動で博士号取得 下館 新井和雄

美しい自然と偶然の出会いに感謝 鶴ヶ島 渡辺道雄

◆うちの子

## ロータリー・アット・ワーク … 21

このままだといなくなってしまう！

豊橋ゴールデンロータリークラブ

大宮・大宮RAC/東松山・熊谷東/

第2790地区/倉敷水島/函館/福岡東南/

小野田/サビエル高校/ACC/横浜鶴見北/

伊集院/江田島/東京東江戸川/岩内/

第2790地区第5グループ/成田/東京青山/

東京新宿

ひとり親困窮家庭に食料支援 和歌山アゼリア

里親と子どもたちと一緒にBBQ大会！ 東京臨海西

子ども食堂を視察しました 大分

古民家の再活用から街の課題を考える 龍野

瀬戸内寂聴生誕百年記念碑 徳島南

オレンジ色のおんがく祭 高槻東

在大阪ベトナム領事を迎え交流例会を開催 神戸垂水

3年ぶりに選抜野球大会を開催 松山南

未来につなぐヒノキの植樹 岡山城

女性ロータリアンの集いを再スタート 第2710地区

フェアトレード商品で貧困家庭支援 岡山西南

## 声 … 31

11月号の感想

表紙 横組み「金棒ロケット」

渋谷区・くるるえびす チームくるるえびす

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 五十嵐仁之

◆本誌中のRCはロータリークラブ、Rは国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた3ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

◆表紙については横組み44ページを参照。



一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友  
Home Page  
www.rotary-no-tomo.jp



締切迫る 2/28

『ロータリーの友』  
創刊70周年特別企画

# 俳句コンテスト

テーマ ロータリー

思わず笑みがこぼれるようなこと、  
いつまでも心に残っている出来事や、次に生かしたい反省、  
ハプニングなど……。そんなロータリーにまつわる出来事を  
「季語」にのせて五・七・五で詠んでみませんか？  
たくさんのご応募お待ちしております。

\* 句の中に必ずしも「ロータリー」と入れる必要はありません

# 俳句

作品募集中

季語

例えば……

雀の子

春休み

霜柱

卒業

春の波

渡り鳥

畑焼く

草餅

湯豆腐

花火

落花生

鮎

節分

八重桜

豆撒き

なまはげ

千歳飴

木菟(みみずく)

雛あられ

生姜湯

ズワイガニ

鮭

ヒヤシンス

バレンタイン

眼張(めばる)

選  
夏井いつき



写真: 御厨慎一郎

## 募集期間

2022年9月1日～2023年2月28日

## 応募資格

ロータリアン、その家族、ローターアクト、インターアクト、  
米山奨学生などロータリーのプログラム参加者・学友

## 受賞発表

『ロータリーの友』2023年6月号誌面上

## 注意事項

ご応募はお一人1回。3句まで

## 応募方法

ウェブサイトもしくは、ハガキ郵送

### ○ウェブ応募

以下のサイトにアクセスし、応募用ボタンをクリックして  
画面に入力

<https://rotary-no-tomo.jp>

### ○ハガキ応募

作品の横にクラブ名、氏名、電話番号を明記してください  
〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15-4F

ロータリーの友事務所 70係





ロータリーの友

# Rotary

JAPAN

[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

2

2023

February

SPEECH

安齋 隆さん

人との出会い

他者のために生きる

この人 訪ねて

柳澤育代さん

奈良ロータリークラブ



Rotary

